

Smart Netcommunity

α ZX Home

取扱説明書



技術基準適合認証品

このたびは、スマートネットコミュニティ α ZX Home をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。






安全にお使いいただくために 必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご利用にあたってのお願い

- 本書は、スマートネットコミュニティαZX Home 標準電話機を例として記載しており、本文中では、特に断りがないうえに「内線電話機」という表現を用いております。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（P8）にしたがって消去願います。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 電話機操作についてご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

設置について

警告

- 主装置、電話機、モジュージャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。主装置、電話機、モジュージャックや電話配線に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 主装置、電話機やモジュージャックは次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



- 主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、主装置の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

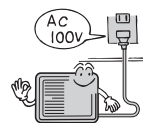
- ・通風孔のある面を下にして主装置を置く、逆さまにする。
- ・主装置を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- ・主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
- ・主装置にテーブルクロスなどをかける。
- ・主装置の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

お取り扱いについて

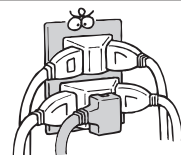


- 電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、主装置の誤動作の原因となることもあります。



- お客様による主装置の設置工事、配線作業、修理、移動、交換などは危険ですから絶対におやめください。主装置の設置工事、配線作業、修理、移動、交換などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。お客様による作業は、火災・感電の原因となることがあります。

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 万一、主装置を倒したり、主装置キャビネットを破損した場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 主装置や電話機から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

- お客様による主装置の電源コードおよび電話機までの配線の移動、取り外し、また、電話機の取り外しなどは、火災・感電の原因となることがあります。必ず当社のサービス取扱所にご依頼ください。

- 主装置、電話機、モジュージャックや電話配線に水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 主装置の通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどの異物を内部に差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 万一、主装置内部、電話機、モジュージャックや電話配線に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

警告

●主装置や電話機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置や電話機は修理に応じられない場合があります）。



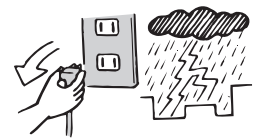
●主装置のキャビネットは開けたり、外したりしないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。



●主装置の電源コードおよび電話機までの配線などを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードおよび配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードおよび配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●主装置の電源コードおよび電話機までの配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●近くに雷が発生したときは、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、主装置の電源スイッチを切って、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

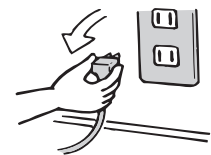


●雷による直接被雷があった場合、以下のことに注意してください。

- ・落雷により通信回線が使用不可になった場合は、該当ユニットを継続使用せず、代品への交換を行ってください。
- ・落雷で故障したユニット類は修理できません。落雷を受けたユニット類は、製品としての品質保証対象外です。
- ・落雷や雷サージによる製品の損傷は広範囲に及ぶ恐れがあり、複数のユニット類の交換が必要になります。

●主装置や電話機、電源コード類を熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



●コードレス電話機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

●お客様が用意された機器を主装置および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために 必ずお読みください

設置について

⚠ 注意

●主装置や電話機は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- ・振動、衝撃の多い場所。



●主装置や電話機を卓上設置する場合や壁掛け設置する場合は、専用の取り付け用品によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

●屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

お取り扱いについて

⚠ 注意

●主装置や電話機の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●主装置や電話機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●主装置は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けになることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

●電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

●温度・湿度条件は、主装置および周辺機器の動作条件内でご使用ください。また、薬品や化学物質などを扱う場所では、使用しないでください。故障・火災の原因になります。

●「ユーザ ID」「パスワード」は大切な情報です。取り扱いには十分注意してください。パスワードの安全性を高めるため、定期的に変更してください。

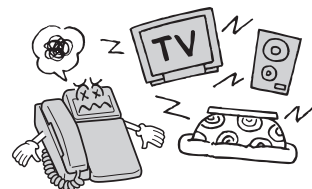
●主装置および周辺機器の故障、誤動作、電池パックの消耗、または、停電等の外部要因で電話機が使えなかったことで生じた損害等の補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

設置について

STOP お願い

●主装置や電話機を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。



●主装置や電話機は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

●主装置や電話機などをぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



●停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。

●停電のときは、停電用電話機を使用してください。

- ・他の内線電話機は使えません。
- ・ドアホンは使えません。
- ・発信電話番号表示機能は使えません。

●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

●ハンドセットは逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。

●電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●主装置や電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



■ソフトウェアライセンスについて

本商品にはオープンソースソフトウェア（以下「OSS」といいます）が含まれております。これらOSSの使用条件の詳細、およびお問い合わせにつきましては、下記URLをご参照ください。

■ NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

SmartNetcommunity αZX Home :
<https://business.ntt-east.co.jp/support/zxhome/>

■ NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

SmartNetcommunity αZX Home :
https://www.ntt-west.co.jp/smb/kiki_info/manual/

■海外でのご利用について

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

■VCCI規定について

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

■商標登録について

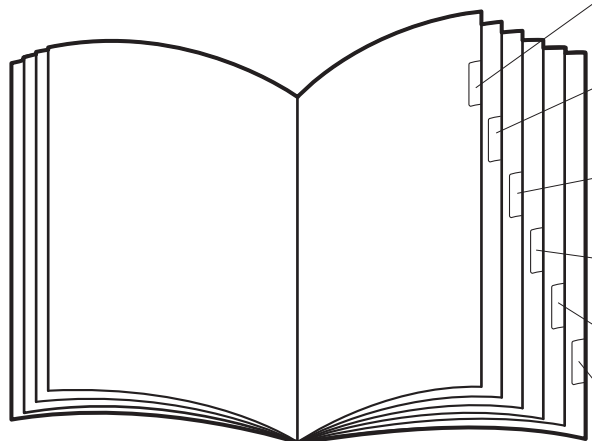
Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国および、その他の国における商標または登録商標です。

■廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。下表にしたがって消去または当社のサービス取扱所にご相談ください。ただし、システムデータに保持されているお客様固有情報は下表の処置では消去されませんので、消去されたい場合には当社のサービス取扱所にご相談ください。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
発信履歴	P2-13を参照し、発信履歴をすべて消去してください。
着信履歴	P2-13を参照し、着信履歴をすべて消去してください。
個別電話帳登録	P4-4を参照し、個別電話帳登録をすべて消去してください。
共通電話帳登録	P4-19を参照し、共通電話帳登録をすべて消去してください。
ワンタッチボタン登録	P4-10を参照し、ワンタッチボタン登録をすべて消去してください。
転送先登録	P3-15を参照し、転送先登録をすべて消去してください。
Web通話履歴	当社のサービス取扱所にご相談ください。

この取扱説明書の構成



- 1** お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。
- 2** 電話をかける／受ける／保留する
電話をかけたり、受けたり、保留したりする基本機能について説明しています。
- 3** その他の機能
1～2章までの内容の他に、多様な機能について説明しています。
- 4** いろいろな機能を登録・設定する
内線電話機の操作で行う登録や設定について説明しています。
- 5** オプションを使う
ドアホンなどのオプションをお使いのときの操作などを説明しています。
- 6** ご参考に
付属品などの説明、「故障かな？」と思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明のページの構成

章タイトル


章ごとにタイトルが付けられています。

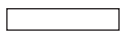
タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明しています。見出しの枠を次のように区別しています。

 : お買い求めただいすぐにご利用になれる機能


 : 「システム設定」によりご利用になれる機能

<サンプル>



ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。次の3種類のマークで項目を区別しています。

- : お買い求めただいすぐにご利用いただける機能の補足説明
-  : 「システム設定」することによりご利用いただける機能の補足説明 (「システム設定」を行いたいときは、当社のサービス取扱所にご相談ください)
- : その他の補足説明

お願いまたはお知らせ <お願い>

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

<お知らせ>


この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。



「6 ご参考に」にQ&A形式で詳しく説明している事項を示しています。

ガイダンス

<例>

 ダイヤリングサービスを行います。…
音声で流れるガイダンス内容を示しています。

特番 (～用の特番)

機能ボタンや決定ボタンなどのあとに押し、各種機能を利用できるようにする番号です。特番は、「システム設定」で変更することもできます。この取扱説明書では、特番について次のように表しています。

<例>

外線転送割込みの特番 (5) (2) [] の順に押す

お買い求め時の
番号

「システム設定」で変更した場合の番号を記入してください。

目次

はじめに

安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	2
各種規制について.....	8
この取扱説明書の見かた.....	9
目次.....	11

1 お使いになる前に

バックアップについて.....	1-2
バックアップデータを復元する.....	1-3
構成図.....	1-4
特長.....	1-5
セットを確認してください.....	1-6
各部の名前.....	1-7
メニューの操作について.....	1-14
メニュー番号を入力して設定する.....	1-14
メニュー項目を順番に表示させて設定する.....	1-14
日付、時刻を設定するには.....	1-15
日付を設定する.....	1-15
時刻を設定する.....	1-16
音量を調節するには.....	1-17
着信音量を調節する.....	1-17
スピーカ音量を調節する.....	1-17
ハンドセット受話音量を調節する.....	1-18

2 電話をかける／受ける／保留する

電話をかけるには（外線発信）.....	2-2
ハンドセットを取りあげてかける.....	2-2
ハンドセットを置いたままかける （オンフックダイヤル）.....	2-3
電話番号を確認してからかける （プリセットダイヤル）.....	2-5
電話帳を使って電話をかける（電話帳ダイヤル）.....	2-6
ワンタッチボタンで電話をかける.....	2-11
履歴を使って電話をかける （発信／着信履歴発信）.....	2-12
自動発信可能な外線の中から選んでかける （空き外線自動発信）.....	2-14
外線グループの中から選んでかける （外線群指定発信）.....	2-15
ハンズフリーで電話をかける.....	2-16
電話を受けるには（外線着信）.....	2-17
電話を受ける.....	2-17
ハンズフリーで電話を受ける.....	2-19
内線でお話しするには（内線通話）.....	2-20
内線でお話しする（内線通話）.....	2-20
ハンドセットを置いたまま内線でお話しする.....	2-22

電話を保留するには.....	2-23
保留する（共通保留）.....	2-23
他の電話機で取れないように保留する （個別保留）.....	2-23
お話しを他の内線電話機に転送する.....	2-25
お話しを他の外線に転送する.....	2-27

3 その他の機能

電話帳を登録するには.....	3-2
電話帳を登録する.....	3-2
文字を入力する.....	3-5
着信拒否を登録するには.....	3-7
お話し中に相手の方の電話番号を登録する.....	3-7
お話しが終わってから着信履歴で登録する.....	3-7
ワンタッチボタンによく電話をかける番号を 登録するには.....	3-9
ワンタッチボタンに登録する.....	3-9
よく使う機能をワンタッチ機能ボタンで操作するには （サービスボタン）.....	3-11
サービスボタンの機能を変更する.....	3-11
電話機の名前を登録するには（内線ネーム登録）.....	3-12
電話機の名前を登録する.....	3-12
電話を転送するには（内線へ転送）.....	3-13
不在着信転送を登録する.....	3-13
不在着信転送を解除する.....	3-14
電話を転送するには（外線へ転送）.....	3-15
転送電話の転送先リストを登録する.....	3-15
転送電話の対象とする回線を設定する.....	3-16
転送電話をセットする.....	3-17
その他の転送電話の活用.....	3-19
3人でお話しするには（会議通話）.....	3-20
外線通話中に口頭で会議通話を伝える.....	3-20
外線通話中に内線で会議通話を伝える.....	3-22
電話に出られないときは（お待たせメッセージ）.....	3-24
お待たせメッセージを流す.....	3-24
外出先から電話をかけるには（コールバック）.....	3-26
携帯電話からコールバックを利用して内線電話機と 通話する（システム内線着信）.....	3-26
携帯電話からコールバックを利用して外線発信する （中継発信）.....	3-28
外出先からリモコン操作するには （自動応答サービス）.....	3-31
自動応答サービス利用の準備と流れ.....	3-31
外出先からリモコン操作をする.....	3-33
時間帯や曜日で設定を変えるには （システムモード）.....	3-36
システムモードを利用する.....	3-36
着信音を鳴らす時間帯をシステムモードごとに 設定する.....	3-37
ecoモードを利用するには.....	3-38
ecoモードを手動で起動する.....	3-39
ecoモードを自動で起動する.....	3-39

目次

使用できる機能を制限するには (サービスロック)..	3-40
サービスロック対象を設定する.....	3-40
サービスロックを起動する.....	3-41
サービスロックを解除する.....	3-41
ご利用になれる各種ネットワークサービス.....	3-42
アナログ回線の対応状況.....	3-42
INSネット64の対応状況.....	3-43
ひかり電話サービスの対応状況.....	3-45
ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を 利用する.....	3-46
非通知着信拒否を登録する.....	3-49
キャッチホンサービスを利用する.....	3-51
お話し中にかかってきた電話に切り替える.....	3-51
ブッシュホンサービスを利用する (DP→PB切替).....	3-52
DP信号からPB信号に切り替える.....	3-52
発信専用制御サービスを利用する.....	3-53
発信専用制御を設定/解除する.....	3-53
外から特定の電話機を呼び出す (ダイヤルイン サービス/i・ナンバーサービス).....	3-54
ボイスワープを利用する.....	3-55
ひかり電話のボイスワープの転送先電話番号を 登録する.....	3-55
転送先リストを指定する.....	3-56
ボイスワープの転送を開始/停止する.....	3-56
4 いろいろな機能を登録・設定する	
内線電話機を使って登録・設定をするには	
(メニュー設定).....	4-2
電話機毎設定.....	4-4
システム一括設定.....	4-18
パソコンを使って登録・設定をするには	
(Web設定).....	4-32
主装置と接続する.....	4-32
初期パスワードを変更する.....	4-33
ユーザデータ設定項目を登録・設定する.....	4-34
電話機毎ユーザデータ設定項目一覧.....	4-36
システム一括ユーザデータ設定項目一覧.....	4-38
システム設定によりご利用になれる機能.....	4-40
発信.....	4-40
着信・応答.....	4-40
保留・転送.....	4-41
その他.....	4-41
主装置ソフトウェアを更新するには.....	4-42
最新ソフトウェアがあるかどうかを手動で チェックする.....	4-42
最新ソフトウェアを手動でダウンロードする.....	4-43

5 オプションを使う

ご利用になれるオプション装置/オプション	
ユニット.....	5-2
単体電話機を利用するには.....	5-5
電話をかける (外線発信).....	5-5
電話を受ける (外線着信).....	5-6
相手の方に待っていただく (保留).....	5-6
電話帳を使って電話をかける.....	5-7
その他の操作.....	5-8
ドアホンを利用するには.....	5-9
ドアホンからの呼び出しに応答する.....	5-9
ドアホンの周囲の音を聞く (ドアホンを 呼び出す).....	5-10
外部スピーカーで一齐放送するには.....	5-11
外部スピーカーで一齐放送する.....	5-11

6 ご参考に

特番を使って操作するには.....	6-2
特番一覧.....	6-2
パソコンを使って電話帳を編集するには.....	6-9
設置と接続について.....	6-12
付属品などをご利用になるには.....	6-13
主装置の電源を入れる/切るには.....	6-16
停電になったときは.....	6-17
電池交換が必要になったときは.....	6-18
こんな音がしたら.....	6-19
故障かな?と思ったら.....	6-20
Q&A.....	6-21
登録・設定.....	6-21
電話帳.....	6-21
回線.....	6-23
保留/内線通話/保留転送.....	6-24
通話.....	6-24
表示.....	6-25
その他.....	6-25
用語の説明.....	6-27
索引.....	6-30
仕様.....	6-36
保守サービスのご案内.....	6-37

お使いになる前に

バックアップについて	1-2
構成図	1-4
特 長	1-5
セットを確認してください	1-6
各部の名前	1-7
メニューの操作について	1-14
日付、時刻を設定するには	1-15
音量を調節するには	1-17

■商品の自動更新およびデータバックアップ機能について

本商品は、プログラムの自動更新およびデータバックアップの機能を有しております。

本商品が NTT 東日本、NTT 西日本の「音声利用 IP 通信網サービス契約約款」で定める「音声利用 IP 通信網サービス」を利用している場合、お客様は、商品の提供機能の維持・追加および NTT 東日本、NTT 西日本のサービス提供に必要な設備の管理・改善のために、NTT 東日本、NTT 西日本から提供される更新プログラムが定期的に確認され自動的にダウンロードおよびインストールされること、本商品に保存されたデータが NTT 東日本、NTT 西日本のサーバーへバックアップされることに同意するものとします。

また、NTT 東日本、NTT 西日本のサーバーにバックアップされたデータのうち、本商品の設定内容に関する情報や商品に登録されている回線に関する情報については、NTT 東日本、NTT 西日本は、個人を特定しない統計情報として、電気通信サービス等の企画・開発等の業務の実施に必要な範囲内で利用します。

バックアップデータを復元する

ひかり電話をご使用の場合は、お客様固有の設定データ等を定期的に自動バックアップしています。必要に応じてバックアップデータを主装置に復元することができます。復元について詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

■ 電話機からの復元

主装置データを手動で復元するには、内線電話機で次のように操作します。

1 機能ボタンを押す。

1月11日(月) 午後 3:05
└─ 内線 ─┘
機能



2 バックアップデータ復元の特番 (0) (2) [] を押す。

復元
最新バックアップデータ
オフライン設定データ



3 上下ボタンで「最新バックアップデータ」を選択し、決定ボタンを押す。

復元開始
いいえ
はい



4 上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す。

1月11日(月) 午後 3:05
└─ 内線 ─┘
復元データダウンロード中
電源オフしないで下さい



1月11日(月) 午後 3:05
└─ 内線 ─┘
復元データダウンロード完了
電源オン/オフして下さい

5 主装置の電源を一度切ってから入れ直す。 (P6-16)

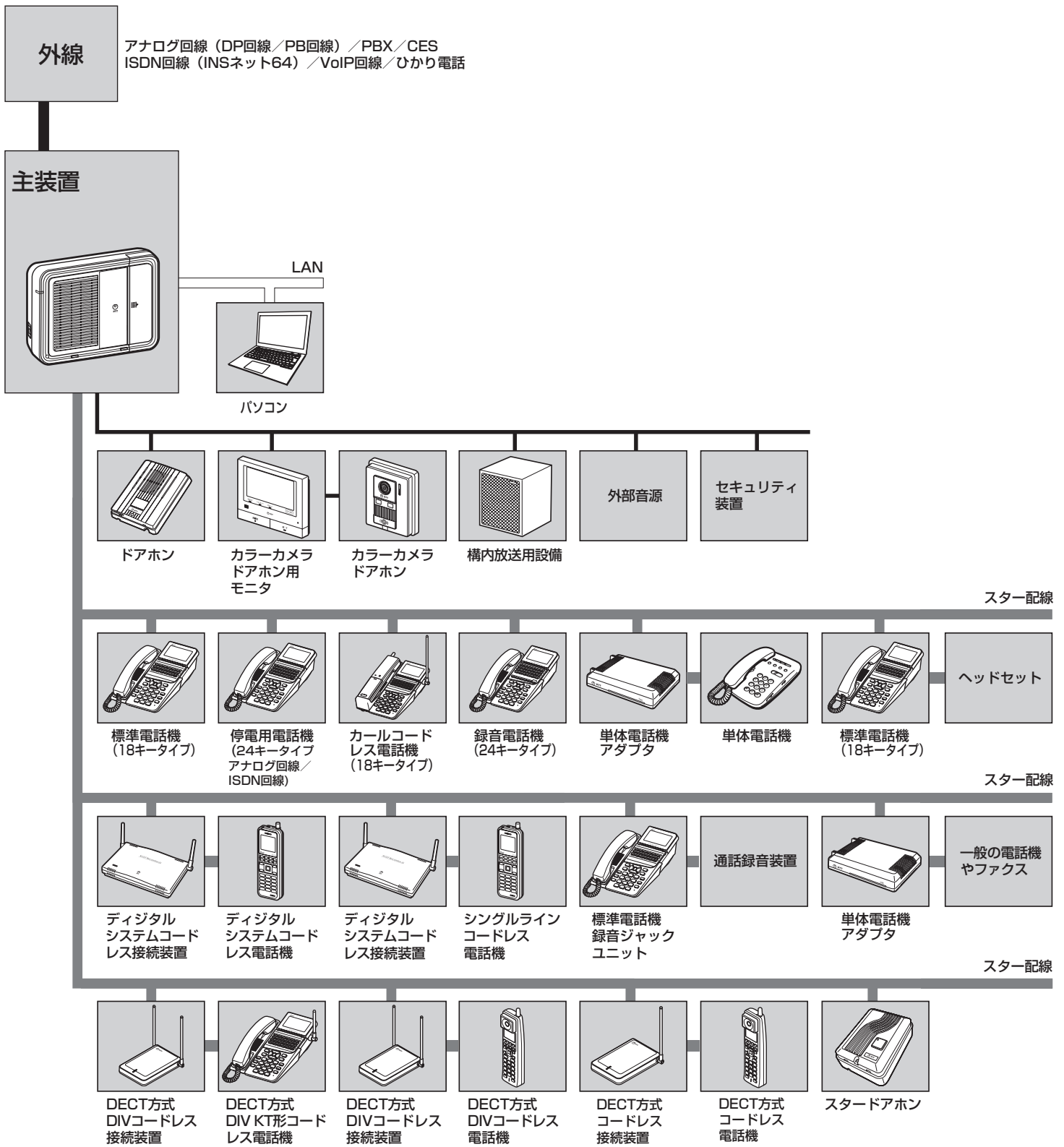
バックアップデータの復元が完了します。



お知らせ

- データバックアップ/復元の機能は、ひかり電話をご使用の場合のみご利用になれます。

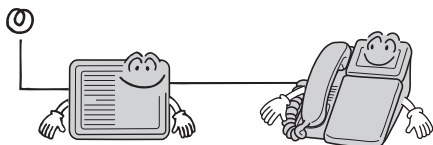
構成図



お知らせ

- 使用回線によっては、主装置にオプションの追装が必要になります。当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 各オプション装置をご利用いただく場合は、各機器の取扱説明書をご参照ください。

最大4回線で8台までの電話機を接続可能
 スマートネットコミュニティαZX Home には、8台までの電話機、2台までのドアホンを接続できます。



パソコンを使って行えるWeb設定
 LANで主装置にネットワーク接続したパソコンを使って、個々の電話機やシステム共通の登録・設定が行えます。

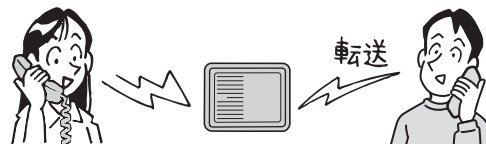
簡単に行えるメニュー設定
 電話機のディスプレイに表示されるメニューを操作して、さまざまな登録や設定が行えます。

ナンバー・ディスプレイ
 着信履歴を記録したり、相手によって着信先や着信音を変えるなど、発信電話番号を利用したさまざまな機能を活用できます。サービスのご利用には、別途当社との利用契約が必要です。

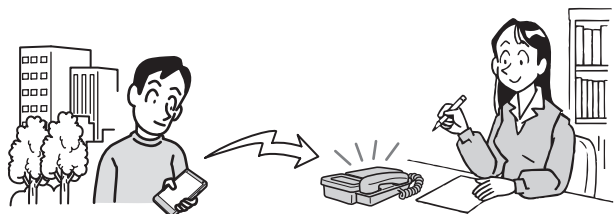
データバックアップ・復元
 必要なデータをバックアップしてのご利用になります。主装置の故障時や交換時にスムーズにお客様のデータを復元することができます。ご利用には、ひかり電話の接続が必要です。

外出先・ご自宅からオフィスの電話で発信
 特定の電話番号からの着信に対して、システムが自動的にコールバックする機能を利用すると、外出先からでもご自宅やお店（システム設置所）の料金負担で通話できます。（P3-26）

オフィスへの電話を外出先・ご自宅へ転送
 外出時などに転送をセットすると、かかってきた電話を携帯電話や外部の電話で受けることができます。また、特定の方からの電話やダイヤルイン着信した電話を、あらかじめ登録した電話番号に常時転送させるように設定しておくこともできます。



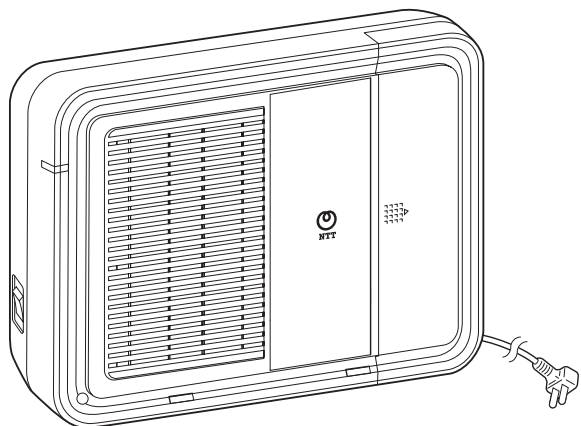
外出先・ご自宅からオフィスの電話を操作
 外出先からのリモコン操作で特定の内線電話機を呼び出したり、転送電話やシステムモードの切り替えなどを行うことができます。



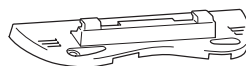
セットを確認してください

主装置

■本体（1台）



■添付品

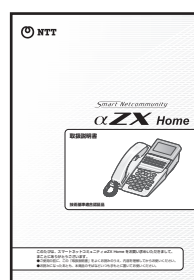


壁掛け卓上脚
（2個）

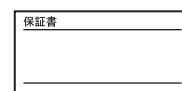


壁掛け用ネジ
（4個）

■付属品



取扱説明書
（1部）



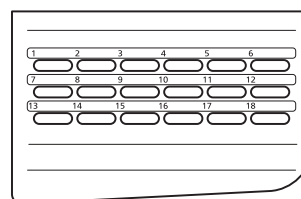
保証書（1枚）

標準電話機

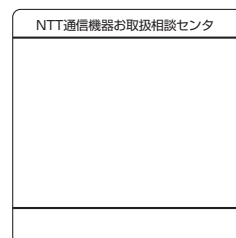
■本体（1台）



■付属品



示名条（1枚）

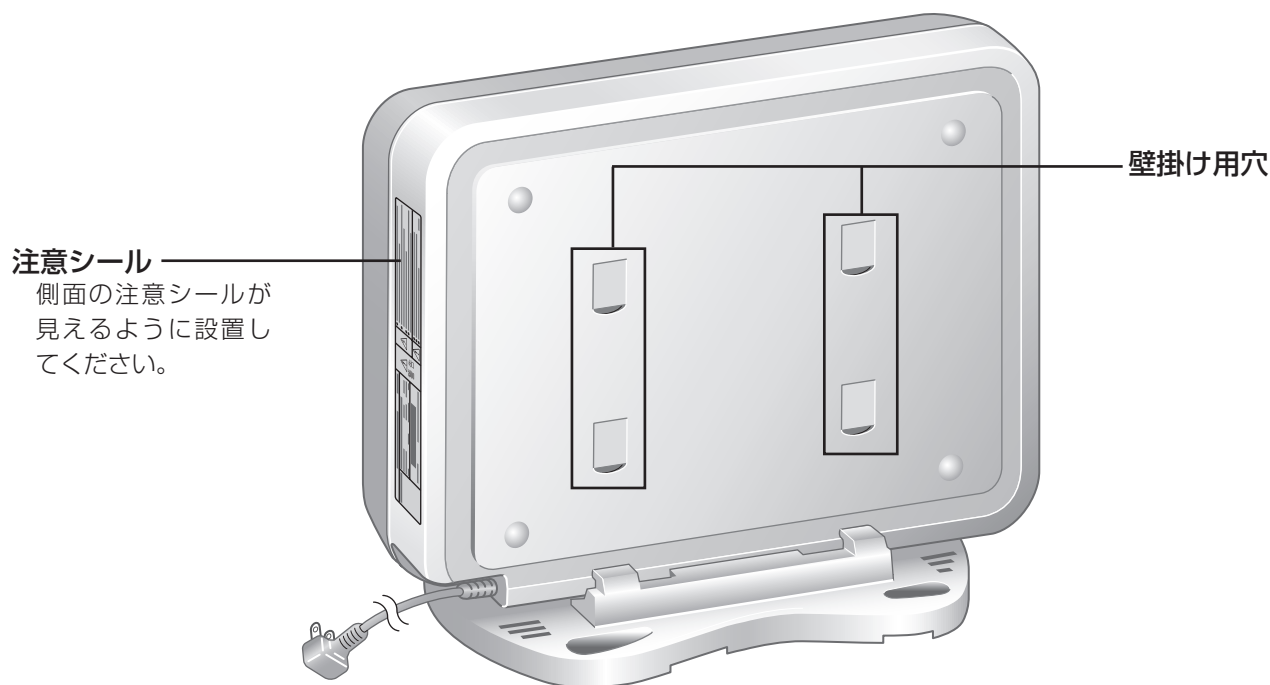
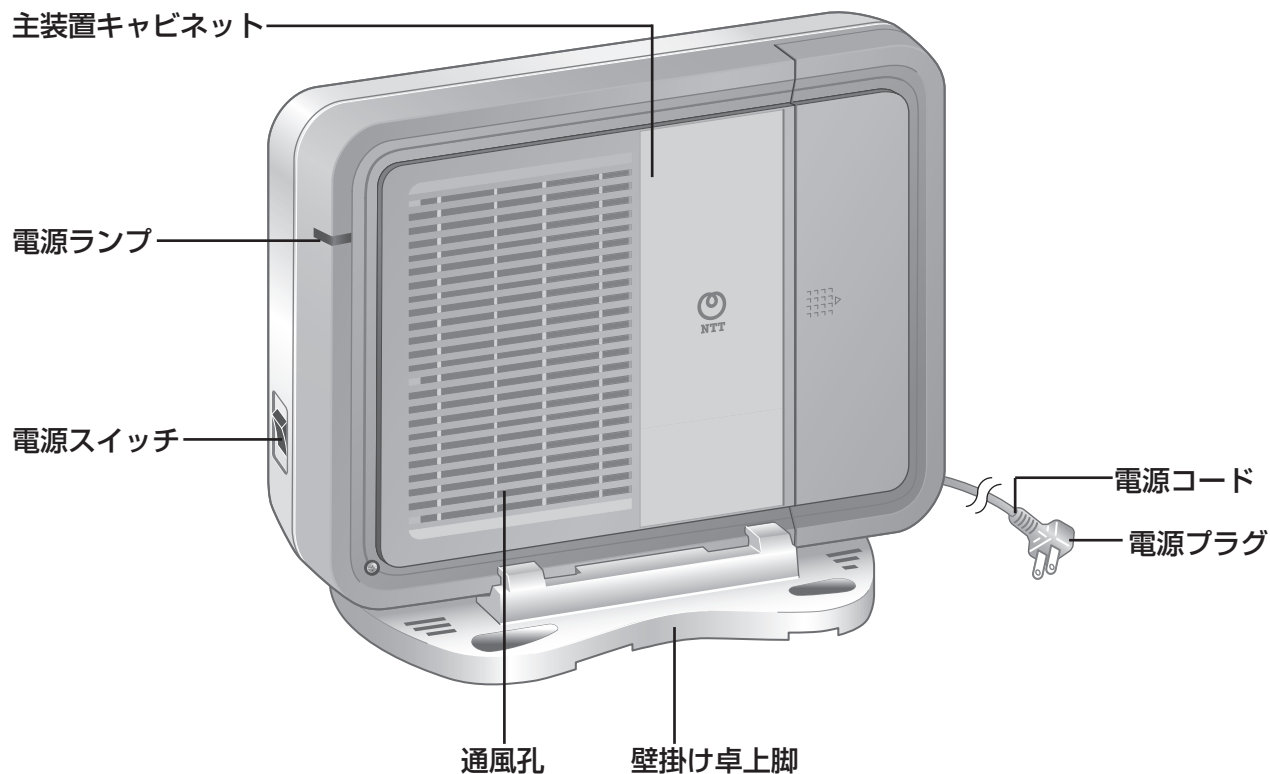


「NTT通信機器お取扱相談センタ」
シール（1枚）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前

主装置



ワンポイント

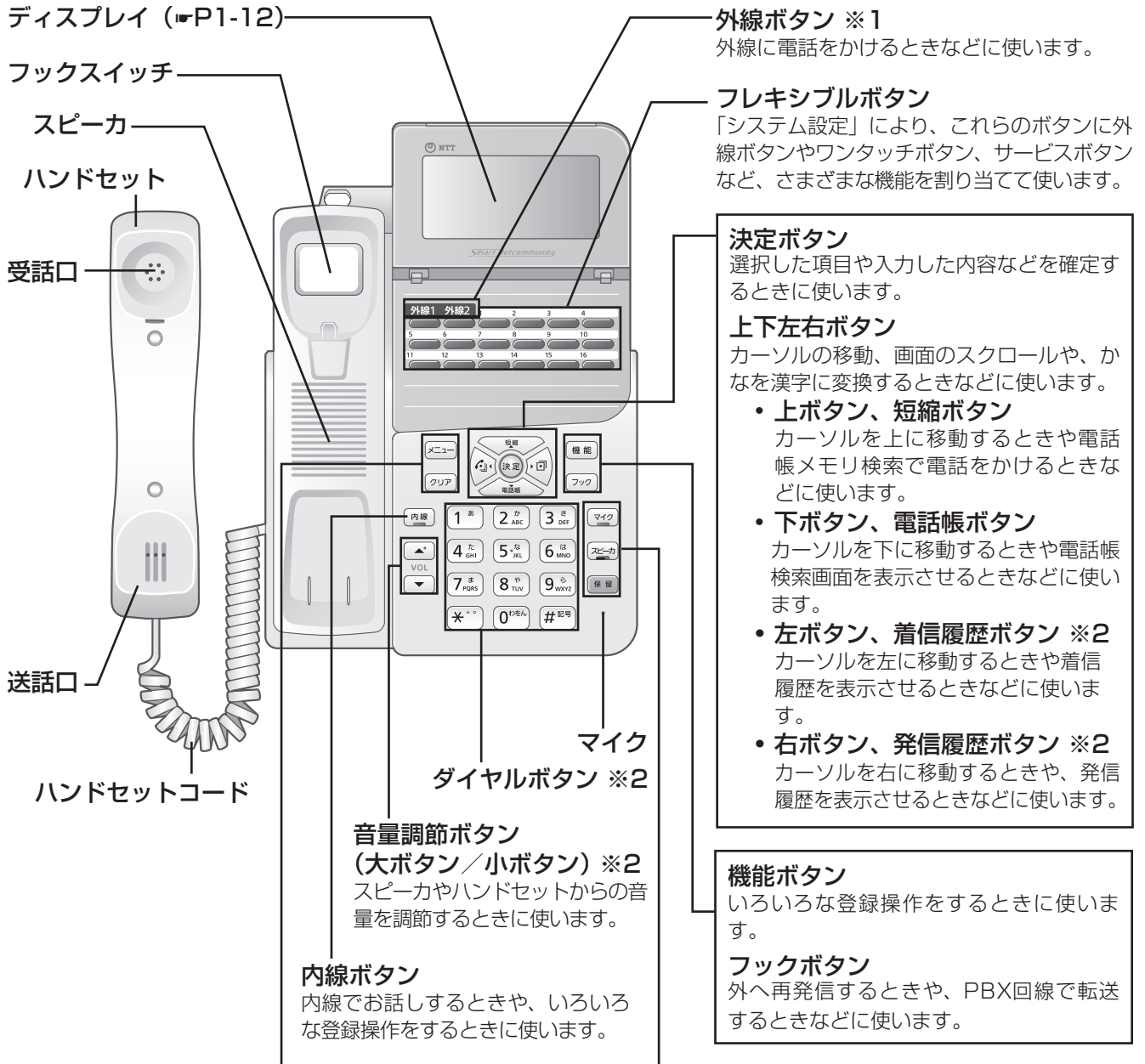
○主装置を立ててお使いになるには
イラストのように、壁掛け卓上脚を使って主装置を立てることができます。(P6-14)

○主装置を壁に取り付けるには
壁掛け卓上脚を使って主装置を壁に取り付けることができます。(P6-13)

各部の名前

標準電話機（18キータイプ）

【前面】



メニューボタン
メニュー設定を行うときや、操作メニューを表示するときに使います。

クリアボタン
文字を消去するときや、1つ前の画面に戻るとき、メニュー設定を中止するときに使います。

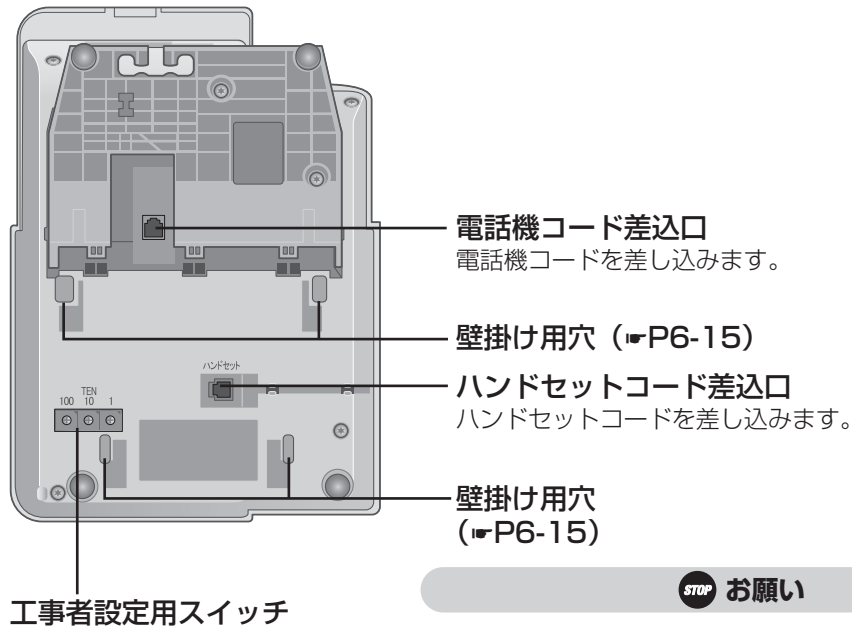
マイクボタン
ハンズフリー通話の際、マイクのオン、オフを切り替えるときに使います。

スピーカボタン
相手の方の声をスピーカで聞くとときや、ハンドセットを置いたまま電話をかけるときなどに使います。

保留ボタン
相手の方とのお話を保留するときに使います。

※1：「システム設定」により、ワンタッチボタン、サービスボタンなどの機能を割り当てることもできます。
 ※2：ダイヤルボタン(5)、音量調節ボタンの(▲)の部分、左ボタン、右ボタンに突起が付いていますが、この突起は目でご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

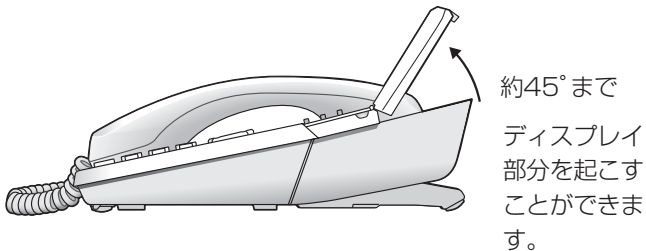
【底面】



STOP お願い

- 工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなります。

【右側面】



STOP お願い

- ディスプレイを無理に起こしたり、動かしたりしないでください。

【背面】

入力端子差入口

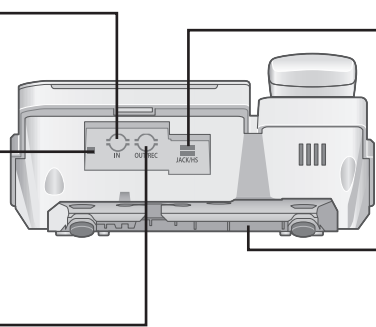
音声会議装置等の出力端子を差し込みます。

外部アンプ接続用コード通し口

外部アンプスピーカなどを接続するときに、ここから接続用コードを出します。

出力端子差入口

通話録音装置やテープデッキなどの録音装置を接続するときに使います。



入力切替スイッチ

音声ハンドセットから入力する場合と、外付けの入力装置を使う場合で切り替えます。

角度調節足

3段階の角度で電話機を調節することができます。(P1-10)

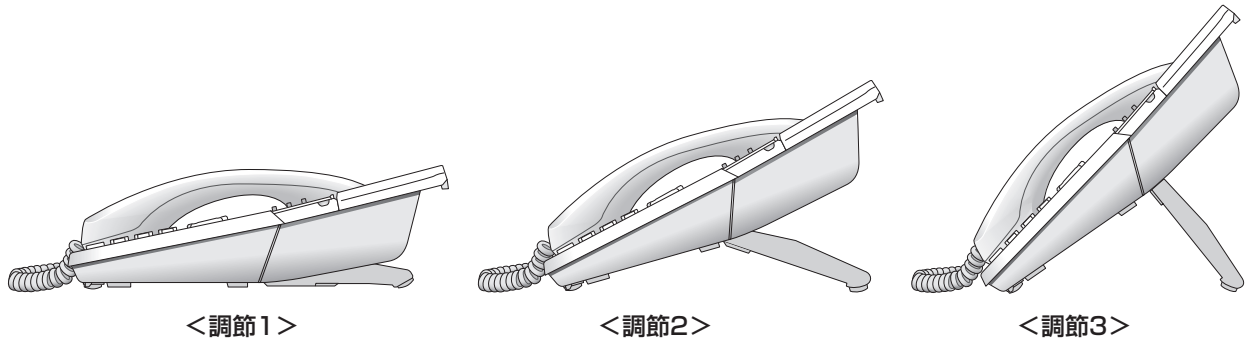


お知らせ

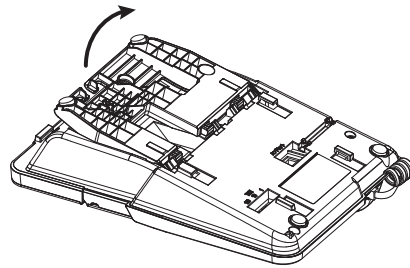
- 音声会議装置、通話録音装置、外部アンプスピーカなどを接続する場合は、録音ジャックユニット（オプション）が必要です。
- 音声会議装置を接続する場合は、入力切替スイッチを「JACK」に切り替えてください。

【角度調節足の設置方法】

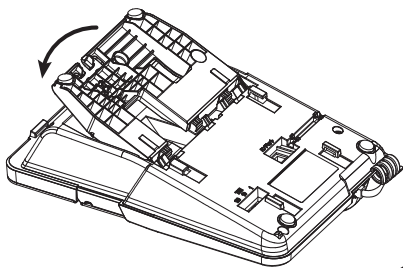
電話機の底面にある角度調節足で、3段階の角度で電話機を調節することができます。



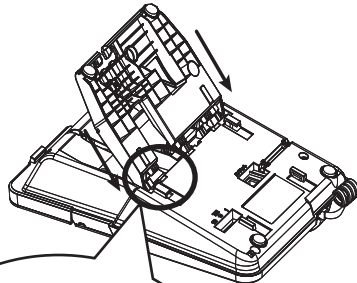
底面の角度調節足を持ち上げる。



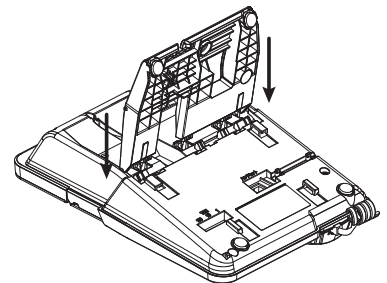
<調節1>
角度調節足を矢印の方に倒す。



<調節2>
角度調節足を矢印の方に差し込み、固定させる。



<調節3>
角度調節足を矢印の方に差し込み、固定させる。



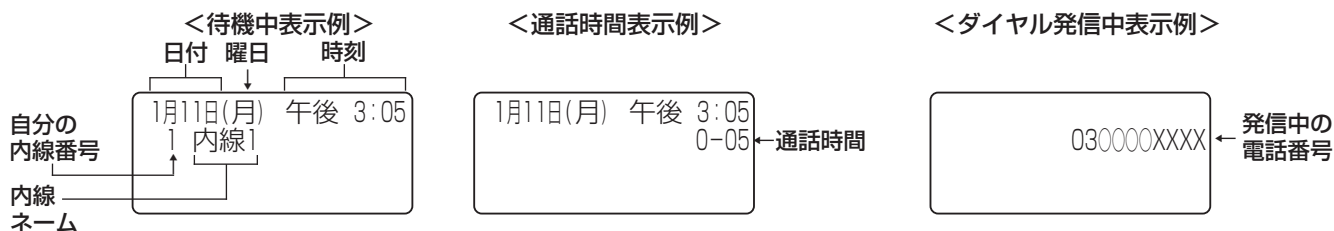
STOP お願い

● 調節足の丸印が、電話機側のラインにほぼ接するまで、しっかり差し込んでください。

各部の名前

【ディスプレイの見かた】

ディスプレイ表示は、ダイヤル回線（DP回線）をご利用の場合、プッシュ回線（PB回線）をご利用の場合、ISDN回線をご利用の場合、VoIP回線／ひかり電話をご利用の場合で異なります。この取扱説明書では、DP回線をご利用の場合を例として説明しています。



■ディスプレイの表示例

待機中	1月11日(月) 午後 3:05 1 内線1	待機中のときに表示されます。
外線発信 (DP回線)	1月11日(月) 午後 3:05 外線	DP回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信 (PB回線)	1月11日(月) 午後 3:05 外線 PB	PB回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信 (ISDN回線)	1月11日(月) 午後 3:05 外線 ISDN	ISDN回線で外に電話をかけるときに表示されます。
外線発信 (VoIP回線)	1月11日(月) 午後 3:05 外線 VoIP	VoIP回線／ひかり電話で外に電話をかけるときに表示されます。
外線通話 (DP回線)	1月11日(月) 午後 3:05 0-05	DP回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
外線通話 (PB回線)	1月11日(月) 午後 3:05 0-05 PB	PB回線で外の相手の方とお話し中のとき、またはPB信号が送出可能なときに表示されます。
外線通話 (ISDN回線)	1月11日(月) 午後 3:05 0-05 ISDN PB	ISDN回線で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
外線通話 (VoIP回線)	1月11日(月) 午後 3:05 0-05 VoIP PB	VoIP回線／ひかり電話で外の相手の方とお話し中のときに表示されます。
キーボード送出 (ISDN回線)	1月11日(月) 午後 3:05 0-05 ISDN PB キーボード	キーボード送出(ISDN回線)が可能なときに表示されます。



ワンポイント

- ディスプレイのバックライトを点灯させるには
ディスプレイの照明を点灯させて、より見やすくすることができます。常時点灯させておく他、ボタン操作をしたときに点灯するように設定することもできます。(▶P4-16)



<バックライト消灯>



<バックライト点灯>



お知らせ

- 表示内容は、「システム設定」によって異なることがあります。
- 通話時間は、保留や転送を行うといったんクリアされ、応答した内線電話機に保留した時間も含めて、継続して表示されます。
- 会議通話中にキーパッド送出手はできません。
- ☒を押した場合、ディスプレイには「*」と表示されます。

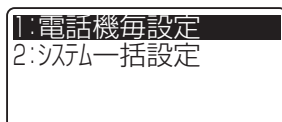
メニューの操作について

スマートネットコミュニティαZX Home の電話機では、ディスプレイに表示されるメニューを使っていろいろな登録・設定を行います。

メニュー項目の選択方法には、ダイヤルボタンでメニュー番号を入力する方法と、上下ボタンでメニュー項目を順番に表示させて設定する方法があります。本文中では、ダイヤルボタンを使う方法で説明しています。

メニュー番号を入力して設定する

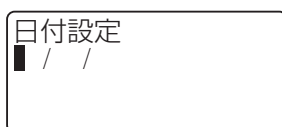
1 メニューボタンを押す。



2 メニュー番号 (☎P4-4 ~ P4-31) をダイヤルボタンで押す。

登録・設定画面が表示されます。

<例>メニュー番号 2 (☎P4-4) (日付設定) の場合

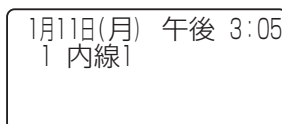


3 登録・設定操作を行う。

登録・設定操作については、各機能の説明ページおよび P4-4 ~ P4-31 を参照してください。

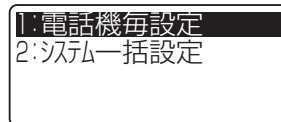
設定が完了すると「ピッピッ」という確認音が鳴ります。

4 クリアボタンを長く押す。



メニュー項目を順番に表示させて設定する

1 メニューボタンを押す。



2 上下ボタンでメニュー項目を選択する。



3 決定ボタンを押す。

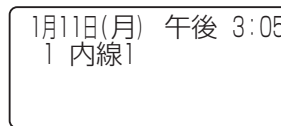


4 手順2 ~ 3を繰り返して目的の項目の登録・設定画面を表示させる。

登録・設定操作についてはP4-4 ~ P4-31を参照してください。

設定が完了すると「ピッピッ」という確認音が鳴ります。

5 クリアボタンを長く押す。



ワンポイント

- 文字を入力するには
数字・文字の入力操作やボタンの働きについては、「文字を入力する」(☎P3-5)を参照してください。
- メニュー設定中に電話がかかってきたときは
着信音は鳴らず、外線ランプで着信をお知らせします。メニュー設定を中止して応答するときは、ハンドセットを取りあげてから外線ボタンを押します。

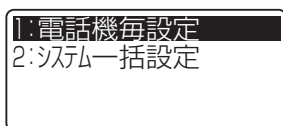
日付、時刻を設定するには

年月日と時分を設定します。1台の内線電話機で設定操作を行うと、すべての内線電話機の日付・時刻が一括で設定できます。日付・時刻の設定は、他の電話機が外線を使用していないときに行ってください。なお、日付・時刻は、NTPサーバーを使って自動設定できます。

日付を設定する

<例>2023年8月14日に合わせるとき

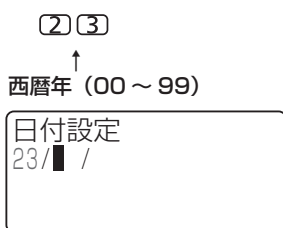
1 メニューボタンを押す。



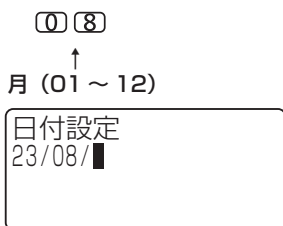
2 ② ⑤ ① を押す。



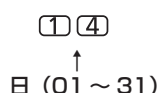
3 西暦の下2桁をダイヤルボタンで押す。



4 月をダイヤルボタンで押す。



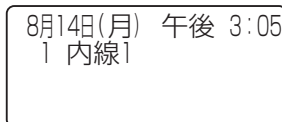
5 日をダイヤルボタンで押す。



6 決定ボタンを押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、日付が設定されます。



7 クリアボタンを長く押す。



お知らせ

- 他の人が外線を使用しているときは、内線電話機から日付・時刻の設定はできません。

日付、時刻を設定するには

時刻を設定する

<例>午後3時5分に合わせるとき

1 メニューボタンを押す。



2 2) 5) 2) を押す。



3 時刻をダイヤルボタンで押す。

1) 5) 0) 5)
↑ ↑
時 (00 ~ 23) 分 (00 ~ 59)
(24時間制)

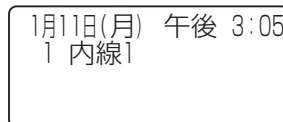


4 決定ボタンを押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、時刻が設定されます。



5 クリアボタンを長く押す。



ワンポイント

○ 日付・時刻を自動設定する

NTPサーバーに定期的に時刻の問合せを行い、NTPサーバーからの時刻情報をもとに日付・時刻を自動設定することができます。

お買い求め時は、自動設定しないように設定されています。メニュー設定やWeb設定、特番を使って、自動設定するように設定できます。(P4-23、P6-8)



お知らせ

- 他の方が外線を使用しているときは、内線電話機から日付・時刻の設定はできません。
- 時刻表示に誤差が生じることがあります。この場合は、同様の操作で設定をやり直してください。なお、NTPサーバーを使って日付・時刻を自動設定することで誤差を生じなくすることができます。
- NTPサーバーの問合せ時刻に外線を使用しているときは、日付・時刻は更新されません。翌日NTPサーバーの問合せ時刻に改めて問合せが行われます。
- インターネット上のNTPサーバーを使って日付・時刻を自動設定するにはインターネットの接続が必要です。

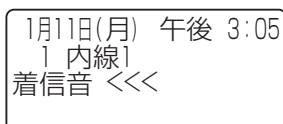
音量を調節するには

着信音量を調節する

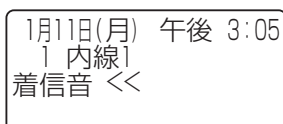
内線電話機ごとに、外線や内線の着信音量を3段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押す。

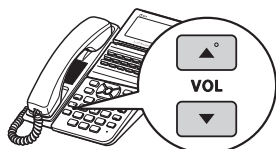
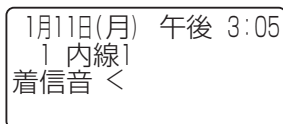
着信音量の設定状態が表示されます。



大ボタン ↑ ↓ 小ボタン



大ボタン ↑ ↓ 小ボタン

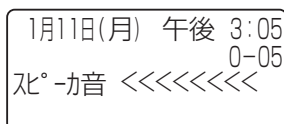


スピーカ音量を調節する

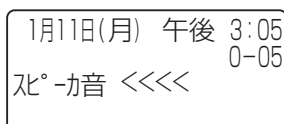
内線電話機ごとに、スピーカ受話中にスピーカ音量を8段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 スピーカ受話中に、音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押す。

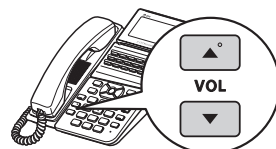
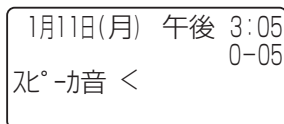
スピーカ音量の設定状態が表示されます。



大ボタン ↑ ↓ 小ボタン



大ボタン ↑ ↓ 小ボタン



ワンポイント

● 音量が最大の時または最小のときは

最大のときに音量調節ボタンの大を、最小のときに音量調節ボタンの小を押しても音量は変わりません。



注意

音量レベルを大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。音量調節ボタンを使うときは、ハンドセットを耳から少し離し、必ずディスプレイで音量のレベルを確認してからご利用ください。

ハンドセット受話音量を調節する

内線電話機ごとのハンドセットで通話中に、相手の方の声を4段階に調節することができます。音量が変わると、ディスプレイに音量設定状態が約2秒間表示されます。

1 通話中に、音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押す。

受話音量の設定状態が表示されます。

1月11日(月) 午後 3:05
0-05
受話音 <<<<

大ボタン ↑ ↓ 小ボタン

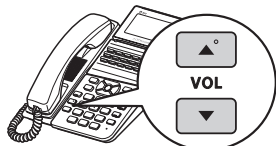
1月11日(月) 午後 3:05
0-05
受話音 <<<

大ボタン ↑ ↓ 小ボタン

1月11日(月) 午後 3:05
0-05
受話音 <<

大ボタン ↑ ↓ 小ボタン

1月11日(月) 午後 3:05
0-05
受話音 <



ワンポイント

● ハンドセット受話音量をさらに上げるには

ハンドセットからの受話音量をさらに大きくできる「明瞭モード」への切り替えが行えます。明瞭モード内でも相手の方の声を7段階に調節できます。

① ハンドセットで通話中に、大ボタンを長く押し明瞭モードに切り替わります。

② さらに大きくするときは大ボタン（小さくするときは小ボタン）を押す

1月11日(月) 午後 3:05
0-05
明瞭モードの「<」(通常モードの「<<<<」に相当)に切り替わる
受話増 <

③ 通常モードに戻すときは、小ボタンを長く押し通常モードに切り替わります。

■ サービスボタンに「受話音量増大」の機能を割り当てると「システム設定」によってフレキシブルボタンにサービスボタン（受話音量増大）を割り当てると、サービスボタン（受話音量増大）を押すだけで、ハンドセット受話音量の明瞭モードと通常モードの切り替えができます。サービスボタン（受話音量増大）を押して明瞭モードに切り替えるとサービスボタン（受話音量増大）ランプが赤く点灯し、再度サービスボタン（受話音量増大）を押して通常モードに切り替えるとランプが消えます。
(P3-11)



お知らせ

- 明瞭モードに切り替えても、ハンドセットを置くか、スピーカ受話にすると通常の音量に戻ります。
- 明瞭モードに切り替えると、通話中に「サー」という音が聞こえることがありますが、周囲の雑音も大きく聞こえるためです。故障ではありません。

電話をかける／ 受ける／保留する

2

電話をかけるには（外線発信）.....	2-2
電話を受けるには（外線着信）.....	2-17
内線でお話しするには（内線通話）.....	2-20
電話を保留するには.....	2-23

電話をかけるには（外線発信）

外線へ電話をかけるには次の方法があります。用途に合わせて電話のかけかたを選べます。

- ・ハンドセットを取りあげてかける（☞P2-2）
- ・ハンドセットを置いたままかける（オフックダイヤル）（☞P2-3）
- ・電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）（☞P2-5）
- ・電話帳を使って電話をかける（電話帳ダイヤル）（☞P2-6）

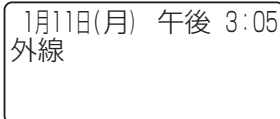
ハンドセットを取りあげてかける

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツーン」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

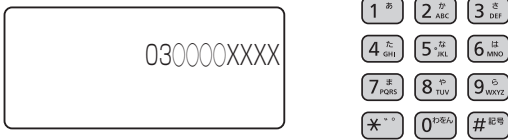


2 ハンドセットを取りあげる。



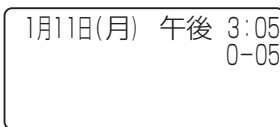
3 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。



4 相手の方が出たら、お話しする。

通話時間が表示されます。



5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ

- 通話時間は最大9時間59分59秒「9-59-59」まで表示されます。10時間以上になっても表示は変わりません。
 - 通話時間の表示は目安です。実際の通話時間とは異なる場合もありますので、目安としてご利用ください。
 - 外線への発信を規制することができます。（☞P4-20）
 - 手順3でディスプレイ2段目に表示される電話番号は20桁までです。21桁目を押すと1桁目が1段目に移動し、さらに1桁押すごとに2桁目以降が1段目に移動します。
 - ハンドセットを取りあげたとき、またはスピーカボタンを押したときには、オフック外線発信設定（☞P4-6）によって次のどちらかの状態になります。
 - ・「ツーツーン…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフック内線捕捉）
 - ・「ツーン」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフック外線自動捕捉）
 - オフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線ボタンを押す必要はありません。
 - 外線ボタンまたは内線ボタンを押した場合の動作は、ワンタッチ/プリセクション設定により異なります。
 - ・外線ボタンまたは内線ボタンを押すだけで発信できる（ワンタッチ捕捉）
 - ・外線ボタンまたは内線ボタンに続きスピーカボタンを押して発信できる（プリセクション）
- この取扱説明書では、オフック内線捕捉および、ワンタッチ捕捉の状態の説明をしています。

Q&A

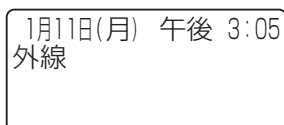
- ▶ INSネット64をご利用になるには？（☞P6-23）
- ▶ VoIP回線/ひかり電話をご利用になるには？（☞P6-23）
- ▶ 一時的にこちらの音声相手が聞こえないようにするには？（送話カット）（☞P6-24）

- ・ワンタッチボタンで電話をかける (P2-11)
- ・履歴を使って電話をかける (発信/着信履歴発信) (P2-12)
- ・自動発信可能な外線の中から選んでかける (空き外線自動発信) (P2-14)
- ・外線グループの中から選んで電話をかける (外線群指定発信) (P2-15)
- ・ハンズフリーで電話をかける (P2-16)

ハンドセットを置いたままかける (オンフックダイヤル)

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



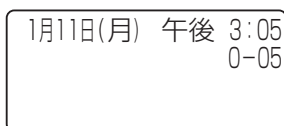
2 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。



3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

通話時間が表示されます。



4 お話が終わったら、ハンドセットを置く。



お知らせ

- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。(P4-6)
- 手順2で、電話番号を入力後、**[#]** を押すとすぐに発信することができます。ただし、アナログ回線をご利用の場合は、ご利用になれません。
- オンフックダイヤルの場合、外の相手の方が出たあと、ハンドセットを取りあげてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。



▶ 一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには? (送話カット) (P6-24)



ワンポイント

- **外線ランプが赤く点灯しているときに外線ボタンを押すと**
ディスプレイに「ご利用できません」と表示されます。他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のため、この外線ボタンを押して電話をかけることはできません。
- **PBX（構内交換機）に収容されているときは**
外線発信番号（☎ []）を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。
- 📖 **外線ボタンの回線名称を確認するには**
外線ボタンの回線名称は「システム設定」で20桁まで設定することができます。ハンドセットを置いたまま、機能ボタン、外線ボタンの順に押すと、その外線ボタンの回線名称が表示されます。外線ランプが点灯しているときでも操作できます。
- **ハンドセットを取りあげてから電話をかけるには**
ハンドセットを取りあげてから、外線ボタンを押しても電話をかけられます。
- **続けて電話をかけるときは**
次のどちらかの方法で、電話をいったん切ってから再発信することができます（切断再捕捉）。どちらの方法を使うかは「システム設定」で選択できます。
 - フックボタンを押す
 - 機能ボタン、フックボタンの順に押す
- **ハンドセットを置いたままで電話を切るには**
時報（117）や天気予報（177）、プッシュホンサービスなどは、ハンドセットを取りあげずにそのままお聞きになれます。電話を切るときはスピーカボタンを押します。
- **お話しをスピーカで聞くには（スピーカ受話）**
ハンドセットで通話中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。スピーカ受話のときには以下の操作ができます。
 - マイクボタンを押すと、こちらの声が相手の方へ聞こえるようになります。
 - スピーカボタンをもう一度押すと、電話を切ることができます。ハンドセットを置いても電話は切れません。
 - ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでのお話しに戻ります。
- **長時間通話を続けたときに警報音が鳴るようになるには**
通話時間が一定時間を超えたときに警報音でお知らせするように設定することができます。（☞P4-26）
- **外線ボタンを押したときの設定を変更するには（ワンタッチ／プリセクション）**
空いている外線ボタンを押したあと、スピーカボタンを押して外線を捕捉するプリセクションサービスを利用するように設定を変更することができます。（☞P4-6）
- **INSネット64で料金表示させるには（☞P4-24）**

電話番号を確認してからかける (プリセットダイヤル)

1 電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号が表示されます。

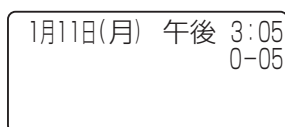


2 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
表示されている電話番号がダイヤルされます。



3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。
通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

2 電話をかける
受ける／保留機能

電話をかけるには (外線発信)



ワンポイント

- 番号を間違えて入力したときや、発信を中止するときは
 - 電話番号を入力した状態でクリアボタンを押すと、最後に入力したダイヤルが1文字削除されます。
 - 電話番号を入力した状態でクリアボタンを長く押すと、全桁削除されます。
 - 電話番号の入力がない (全桁削除) 状態でクリアボタンを押すと、待機中表示に戻ります。
- 電話番号を押ししたままのときは
手順1のあと手順2を行わず、「プリセット読出タイマ」(P4-26) で設定されている時間が経過すると、待機中表示に戻り、プリセットダイヤルが解除されます。
- ☑ プリセットダイヤル利用の可否を設定するには
お買い求め時は、プリセットダイヤルで電話をかけることができるように設定されています。プリセットダイヤル利用の可否は、「システム設定」により電話機ごとに設定を変えられます。
- 電話番号が表示されている時間を変更するには
表示時間は「プリセット読出タイマ」の設定により1～30秒の間で変更することができます。お買い求め時は、6秒間に設定されています。(P4-26)



お知らせ

- 手順1の電話番号は32桁まで入力できます。それ以上の入力は無視されます。
- 手順2で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- プリセットダイヤルを利用されている場合でも、プリセクションサービスをご利用いただけます。



- ▶ INSネット64をご利用になるには？ (P6-23)
- ▶ VoIP回線／ひかり電話をご利用になるには？ (P6-23)
- ▶ 一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？ (送話カット) (P6-24)

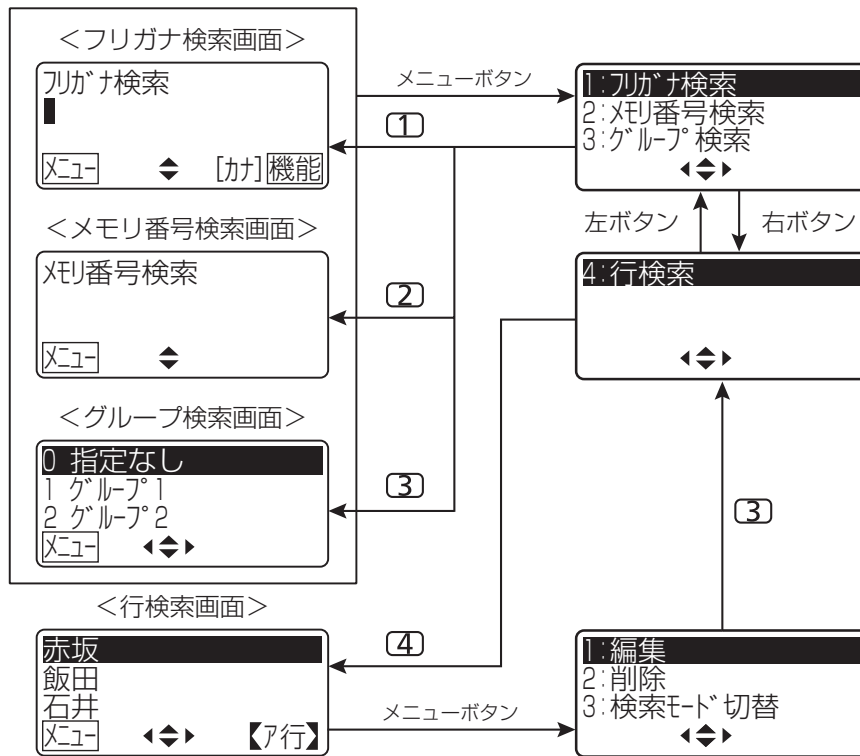
電話をかけるには（外線発信）

電話帳を使って電話をかける（電話帳ダイヤル）

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておくと、簡単にダイヤルすることができます。電話帳の登録は「電話帳に登録するには」（P3-2）を参照して行ってください。検索は、フリガナ、メモリ番号、グループ、行のいずれかを使って行います。

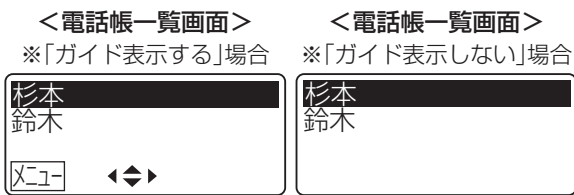
検索画面を表示する

- 1 電話帳ボタンを押す。
前回検索したときの検索画面が表示されます。
- 2 必要に応じて検索画面を切り替える。
【フリガナ検索、メモリ番号検索、グループ検索の各画面から】
 - ① メニューボタンを押す
 - ② 検索方法をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して決定ボタンを押す
 【行検索画面から】
 - ① メニューボタンを押す
 - ② **3** を押すか、上下ボタンで「3：検索モード切替」を選択する
 - ③ 検索方法をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して決定ボタンを押す



フリガナで検索する

- フリガナ検索画面を表示する。（P2-6）
- 電話帳に登録したフリガナを入力し、上下ボタンを押す。



- 上下左右ボタンで目的の電話帳を選択し、決定ボタンを押す。

電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または複数の電話番号を登録しているが、第1番号に発信する場合は、手順5に進みます。



- 複数の電話番号が登録されている場合は、左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。



- 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

ワンポイント

○電話帳ガイド表示について

電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。（P4-19）



※以降、本マニュアル内では「ガイド表示する」場合の画面で説明します。

●フリガナ検索するとき

フリガナすべてを入力せずに、先頭の何文字かを入力するだけで検索できます。

●電話帳の詳細を確認するには

電話帳一覧画面で決定ボタンを押すと、選択されている電話帳の詳細が表示されます。クリアボタンを長く押すか、電話帳詳細読出タイム（P4-26）で設定されている秒数（お買い求め時：30秒）が経過すると、待機中表示に戻ります。

●外線通話中に電話帳の内容を確認するには

フリガナ検索またはグループ検索するには、「フリガナで検索する」または「グループで検索する」（P2-10）の手順1～5の操作を行うか、メニュー設定で電話帳検索（P4-4）を行います。

●「184」や「186」を付加してダイヤルするには

電話帳に登録されている電話番号の前に、「184（電話番号を通知しない）」または「186（電話番号を通知する）」を付加してダイヤルするには、次のように操作します。

- 電話帳を検索し、電話帳詳細画面を表示する
- メニューボタンを押す
- ① か ② を押すか、上下ボタンで「1：184付与」または「2：186付与」を選択し、決定ボタンを押す
- 外線ボタンを押す

●PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号のあとに自動的にポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。

メモリ番号で検索する

1 短縮ボタンを押す。



2 メモリ番号をダイヤルボタンで押す。



3 上下左右ボタンで目的の電話帳を選択し、決定ボタンを押す。

電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または複数の電話番号を登録しているが、第1番号に発信する場合、手順5に進みます。



4 複数の電話番号が登録されている場合は、左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。



5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



6 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

お知らせ

- 通話モニタ中、通話割り込みによる三者通話中 (P2-27)、会議通話中 (P3-20) は、電話帳の内容は確認できません。
- 外線通話中は、電話帳の内容の確認のみ行えます。電話帳を使って電話をかけることはできません。
- 回線の種類によっては、通話料無料 (フリーダイヤル、116、113等) の相手との通話中に、電話帳の内容が確認できないことがあります。
- 電話帳一覧画面では、名称を登録していない場合はフリガナが、名称とフリガナを登録していない場合は電話番号が表示されます。
- サービスロックにより電話帳が規制されているときは、電話帳の画面が表示されません。

Q&A

- ▶ 一時的にこちらの音声相手が聞こえないようにするには? (送話カット) (P6-24)
- ▶ 電話帳ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには? (追加ダイヤル) (P6-25)



ワンポイント

電話帳のメモリ番号は

桁数	共通電話帳		個別電話帳	
	件数	メモリ番号	件数	メモリ番号
2桁	80	00～79	20	80～99
3桁	200	000～199	200※	800～999
	400	000～399		
	600	000～599		
	800※	000～799		

※お買い求め時の設定です。システム設定により変更できます。

●メモリ番号を全桁入力しないで検索すると

メモリ番号「999」まで使用できる場合（お買い求め時）、1桁（例：「1」）だけ入力すると、その数字を百の位とするメモリ番号（例：「100」）の電話帳が検索できます。2桁（例：「12」）だけ入力すると、その数字を百および十の位とするメモリ番号（例：「120」）の電話帳が検索できます。

「システム設定」により、2桁のメモリ番号「99」までしか使用しないように設定している場合は、1桁（例：「1」）だけ入力すると、その数字を十の位とするメモリ番号（例：「10」）の電話帳が検索できます。

●検索方式の記憶機能を利用するには

電話帳検索には、電話帳ボタンを押して開始する方法や、短縮ボタンから開始するメモリ番号検索の他に、メニューボタンから開始する方法（P4-4）があります。このうち、電話帳ボタンまたはメニューボタンから開始した検索で使用した検索方式は、個々の電話機に記憶されます。前回と同じ方式を使用するには、電話帳ボタンを押して検索を開始します。前回と同じ検索画面が表示され、検索方式を選択し直す手間が省けます。

●電話帳ボタンを使ってメモリ番号検索するには

- ①電話帳ボタンを押して検索画面を表示する（P2-6）
- ②手順2（P2-8）以降の操作を行う

●外線ボタンを押してから電話帳をメモリ番号で検索するには

- ①外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す
- ②短縮ボタンを押す
- ③メモリ番号をダイヤルボタンで押す

○電話帳ガイド表示について

電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。（P4-19）

●電話帳の詳細を確認するには（P2-7）

●外線通話中に電話帳の内容を確認するには（P2-7）

●「184」や「186」を付加してダイヤルするには（P2-7）

○電話帳が表示されている時間を変更するには

お買い求め時は、6秒に設定されています。1～30秒の間で設定を変えることができます。（P4-26）

●PBX（構内交換機）に收容されているときは

外線発信番号のあとに自動的にポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。

●電話帳メニューを利用するには

登録先の電話帳を変更したり、電話帳を1件削除するときは、電話帳メニューを利用します。電話帳一覧画面または電話帳詳細画面でメニューボタンを押すと、次のような電話帳メニューが表示されます。

<電話帳一覧画面からの場合>



左ボタン ↑ ↓ 右ボタン



<電話帳詳細画面からの場合>



左ボタン ↑ ↓ 右ボタン

目的の項目をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して決定ボタンを押します。

電話帳メニューから電話帳一覧画面または電話帳詳細画面に戻るときは、クリアボタンを押します。

待機中表示に戻るときは、クリアボタンを長く押します。

○個別電話帳を全件削除するには（P4-4）

○共通電話帳を全件削除するには（P4-19）

電話をかけるには（外線発信）

グループで検索する

- 1 グループ検索画面を表示する。（☞P2-6）
- 2 検索するグループの番号（0：指定なし、1～8：グループ1～8、9：着信拒否）をダイヤルボタンで押す。



- 3 上下左右ボタンで目的の電話帳を選択し、決定ボタンを押す。

電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または複数の電話番号を登録しているが、第1番号に発信する場合は、手順5に進みます。



- 4 複数の電話番号が登録されている場合は、左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。



- 5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 6 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

行で検索する

名前の先頭文字の行（ア行～）から、目的の電話帳を検索します。

- 1 行検索画面を表示する。（☞P2-6）

- 2 左右ボタンで行を切り替える。

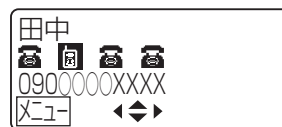


- 3 上下左右ボタンで目的の電話帳を選択し、決定ボタンを押す。

電話帳に1つの電話番号のみを登録している場合、または複数の電話番号を登録しているが、第1番号に発信する場合は、手順5に進みます。



- 4 複数の電話番号が登録されている場合は、左右ボタンでかけたい電話番号を選択する。



- 5 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 6 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

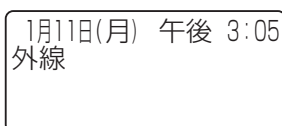
ワンタッチボタンで電話をかける

ワンタッチボタンが割り当てられているボタンに、よくかける相手の電話番号を登録しておくことで、簡単に電話をかけられます。ワンタッチボタンへの電話番号の登録は「ワンタッチボタンに登録する」(P3-9)を参照して行ってください。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

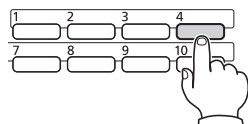
「ツー」という発信音を確認してください。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



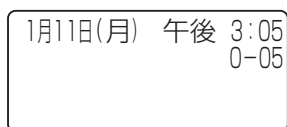
2 ワンタッチボタンを押す。

登録されている電話番号が表示されます。



3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

通話時間が表示されます。



ワンポイント

- PBX（構内交換機）に収容されているときは
外線発信番号のあとに自動的にポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。
- PBX/CES回線に接続されているときは
相手先の電話番号の前に、外線発信番号を付けて登録してください。外線発信番号を登録していない場合は、一般の電話番号に発信できなくなります。

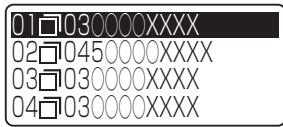


- ▶ 一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？（送話カット）(P6-24)
- ▶ ワンタッチダイヤルのあとに続けてダイヤルするには？（追加ダイヤル）(P6-25)

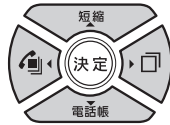
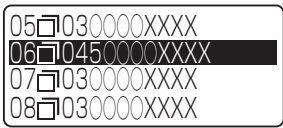
履歴を使って電話をかける （発信／着信履歴発信）

かけた電話番号やかけてきた方の電話番号などは、発信／着信履歴としてそれぞれ最新の52件分が保存されています。これらの電話番号を使って、簡単に電話をかけることができます。

- 1** 発信履歴ボタンまたは着信履歴ボタンを押し、発信／着信履歴の一覧画面を表示する。



- 2** 上下左右ボタンで目的の履歴を選択する。



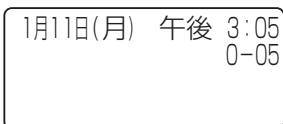
- 3** 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 4** 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、ハンドセットを取りあげてお話しする。

通話時間が表示されます。



お知らせ

- 他の内線電話の発信／着信履歴を使って電話をかけることはできません。
- すでに発信／着信履歴が52件記録されているときに新たに発信／着信があると、最も古い発信／着信履歴から自動的に消去されます。
- 着信履歴を表示中にかかってきた電話は、着信履歴に記録されません。
- 他の内線電話機で保留または保留転送された電話に応答した場合は、相手先の情報が着信履歴に記録されます。
- 着信履歴の番号を表示するには、ナンバー・ディスプレイ（P3-42、P3-44、P3-45）や発信者番号通知（P3-43）の契約が必要です。



ワンポイント

○着信履歴ランプを点滅させるには

電話がかかってきたことをランプの点滅（周期的に2回点灯）でお知らせすることができます。（P4-16）

●着信履歴ランプが点灯しているときは

着信履歴を表示している間は点灯します。

○発信／着信履歴が表示されている時間を変更するには

お買い求め時は、6秒に設定されています。1～30秒の間で設定を変更することができます。（P4-26）

●一覧画面に表示される情報は

<発信履歴一覧画面>

発信履歴番号：最新の履歴から順に「01」～「52」

発信先の情報：電話番号（最大16桁）、名称（名称が登録されている電話帳を使って電話をかけた場合）

01	030000XXXX
02	第一営業
03	030000XXXX
04	030000XXXX

<着信履歴一覧画面>

着信履歴番号：最新の履歴から順に「01」～「52」

着信状態：「応（応答した）」、「不（応答しなかった）」、「他（他の内線電話機で応答した）」

発信者の情報：発信者の電話番号（最大16桁）／内線番号+内線名称、名称（電話帳に登録されている名称）

01	応鈴木
02	不030000XXXX
03	他2 内線2
04	応NTT太郎

☑着信履歴一覧画面に非通知理由を表示するには

サービスの契約（P3-46）と「システム設定」により、非通知理由（P3-48）を表示することができます。

●発信／着信履歴の詳細を確認するには

一覧画面で決定ボタンを押すと、選択されている履歴の詳細が表示されます。一覧画面に戻るときは、クリアボタンを押します。

<発信履歴詳細画面>

発信日時

1月11日 11:30AM	第一営業	045000XXXX
---------------	------	------------

名称：名称が登録されている電話帳を使って電話をかけた場合にのみ表示
電話番号（最大20桁を表示）

<着信履歴詳細画面>

着信日時

1月11日 11:30AM	鈴木	030000XXXX
---------------	----	------------

名称：電話帳に登録されている場合、または発信者によって通知された場合にのみ表示
電話番号（最大20桁を表示）または内線番号

●履歴メニューを利用するには

発信／着信履歴の電話番号を電話帳に登録したり履歴を消去するには、履歴メニューを利用します。また、着信拒否のグループに登録するにも履歴メニューを利用します。

発信／着信履歴の一覧画面または詳細画面でメニューボタンを押すと、次のような履歴メニューが表示されます。

<発信履歴の履歴メニュー>

1: 電話帳登録
2: 1件削除
3: 全件削除

<着信履歴の履歴メニュー>

1: 電話帳登録
2: 1件削除
3: 全件削除
4: 着信拒否グループ登録

目的の項目をダイヤルボタンで選択するか、上下ボタンで選択して決定ボタンを押します。

履歴メニューから一覧／詳細画面に戻るときは、クリアボタンを押します。

待機中表示に戻るときは、クリアボタンを長く押します。

※ 非通知の場合は登録できません。

●着信履歴の電話番号を着信拒否登録するには（P3-7）

☑最後にかけた相手の方に自動的に再発信するには（簡易自動再発信）

「システム設定」により相手の方がお話し中だったときや応答しなかったときに、自動的に再発信するようにセットすることができます。簡易自動再発信をセットすると、一定時間が経過したあと自動再発信し、設定された回数の再発信を一定時間ごとに繰り返します。ただし、PBX（構内交換機）に收容されているときは、PBXの種類によっては1度しか再発信しません。

<簡易自動再発信をセットする>

①相手の方がお話し中か、応答しないときに発信履歴ボタンを押す

②ハンドセットを置くか、スピーカボタンを押す

<待機中に簡易自動再発信を解除する>

①内線ボタンを押す

②発信履歴ボタンを押す

③スピーカボタンを押す

<自動再発信中に簡易自動再発信を解除する>

①ハンドセットを取りあげる

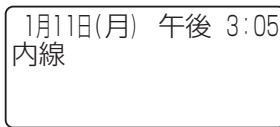
②ハンドセットを置く

自動発信可能な外線の中から 選んでかける（空き外線自動発信）

「システム設定」した自動発信可能な外線の中から選んで、電話をかけることができます。

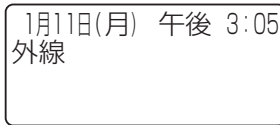
1 内線ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

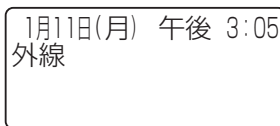


2 外線発信番号 (0 [) を押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 ハンドセットを取りあげる。



4 電話番号をダイヤルボタンで押す。



5 相手の方が出たら、お話しする。

お知らせ

- オフフックダイヤル、プリセットダイヤルで電話をかけることもできます。
- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 手順2で「ブーブー」と話中音が聞こえるときには、空いている外線がありません。

外線グループの中から選んでかける（外線群指定発信）

外線グループに属する自動発信可能な外線の中から選んで、電話をかけることができます。

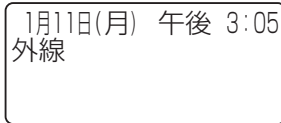
1 内線ボタンを押す。

「ツーツ…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

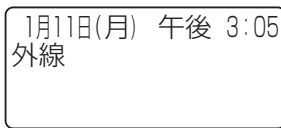


2 外線群指定発信番号（⑨①①～⑨①⑧） []を押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 ハンドセットを取りあげる。



4 電話番号をダイヤルボタンで押す。



5 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

☑ 外線グループとは

「システム設定」により、収容されている外線をあらかじめ複数のグループに分けたものです。最大8つのグループに分けることができます。

● PBX（構内交換機）に収容されているときは

外線発信番号または外線群指定発信番号を押して、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。

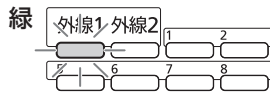
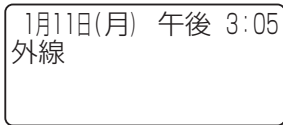
ハンズフリーで電話をかける

ハンドセットを置いたまま電話をかけることができます。

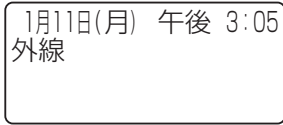
1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



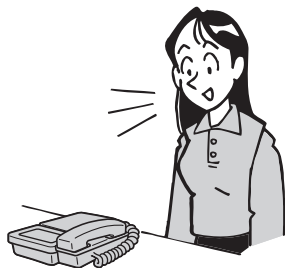
2 マイクボタンを押す。



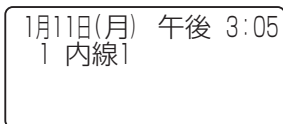
3 電話番号をダイヤルボタンで押す。



4 相手の方の声が聞こえたら、電話機のマイクに向かってお話しする。



5 お話が終わったら、スピーカボタンを押す。
マイクランプ、スピーカランプ、外線ランプが消えます。



お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声が一時途切れることがあります。故障ではありません。
- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

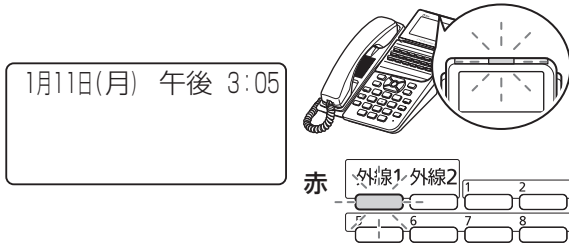
電話を受けるには（外線着信）

外線から電話を受けるには次の方法があります。外から電話がかかってくると、着信音が鳴るように指定した電話機から着信音が聞こえ、着信ランプと外線ランプが点滅します。

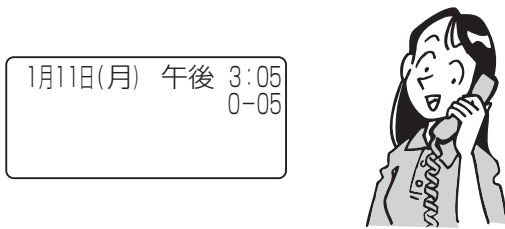
- 電話を受ける（☞P2-17）
- ハンズフリーで電話を受ける（☞P2-19）

電話を受ける

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。



2 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。
通話時間が表示されます。



3 お話が終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ

- 着信メロディをお使いのときでも信号音で鳴る場合があります。
- 外の相手の方とお話中に、保留・転送する場合は、他の外線ボタンを押す前に、保留ボタンを押し、通話中の電話が切れないようにご注意ください。
- 電話機ごとの設定により、着信音が鳴らず、着信ランプも点滅しないようにすることができます。（☞P4-8）
- 他の人が先に応答したときは、「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線ランプが2回消灯します。
- 着信音は、外線着信、PBX/CES内線着信、メンバーズネットなどの種別ごとに異なる周期で鳴ります。



- ▶ INSネット64をご利用になるには？（☞P6-23）
- ▶ VoIP回線／ひかり電話をご利用になるには？（☞P6-23）
- ▶ 一時的にこちらの音声相手が相手に聞こえないようにするには？（送話カット）（☞P6-24）



ワンポイント

●着信ランプとは

着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。

○電話帳グループごとに着信ランプの点滅色を変えるには

電話帳グループによって、異なる色に点滅するように設定することができます。(P4-5)

○電話機ごとに着信音の音色を切り替えるには

電話機ごとに外線の着信音、内線の着信音の音色を切り替えることができます。(P4-7)

○電話帳グループごとに着信音を変えるには

電話帳グループによって異なる着信音が鳴るように設定することができます。(P4-5)

○一定時間内に応答しなかったときは（着信未応答警報）

一定時間内に応答しなかったときは、着信音が警報音に切り替わるように設定できます。(P4-21)

●外線または内線でお話中に電話がかかってきたときは（通話中着信）

スピーカから通常より小さな音で着信音が聞こえます。

☒外からの電話を特定の電話機に着信させるには

ダイヤルインサービスやi・ナンバーサービスをご利用になると、外からかける方のダイヤル操作によって呼び出す電話機を特定できます。(P3-54) サービスのご利用にはご契約および「システム設定」が必要です。

●続けてかかってきた電話に応答するには

ハンドセットを取りあげたまま、ランプが点滅している外線ボタンを押すと応答できます。

●他の電話機に通話モニタを許可するには

通話中に他の電話機に通話モニタを許可することができます。

①通話中に機能ボタンを押す

②通話モニタの特番 (7) (7) [] を押す（お話しを聞く内線電話機の外線ランプが点滅する）

③お話しを聞く内線電話機で、点滅している外線ボタンを押す

通話モニタの許可を中止するときは、(X)を押します。

●着信音が鳴る状態になっているかどうかを確認するには

外線着信音は、システムモード (P3-36) や外線着信鳴動設定 (P4-7)、曜日毎鳴動モード設定 (P4-8) などにより、時間帯によっては鳴らないように設定されていることがあります。

現在、外線着信音が鳴る状態になっているかどうかは、内線電話機ごとに確認できます。ハンドセットを置いたまま、機能ボタン、外線ボタンの順に押し、「ピッピッ」という確認音が聞こえたときは、外線着信音が鳴ります。ただし、着信中および通話中のときは、確認音が聞こえない場合があります。

ハンズフリーで電話を受ける

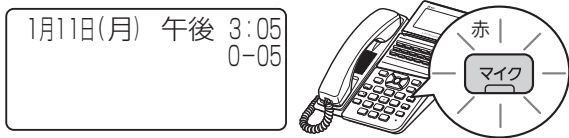
1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。



2 ランプが点滅している外線ボタンを押す。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



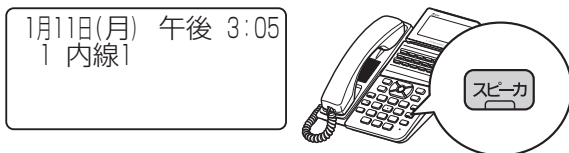
3 マイクボタンを押す。



4 電話機のマイクに向かってお話しする。



5 お話しが終わったら、スピーカボタンを押す。
マイクランプ、スピーカランプ、外線ランプが消えます。



ワンポイント

- ハンズフリーで内線通話をするには (P2-22)
- ハンズフリー通話中に、ハンドセットでお話しするには
ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話できます。
- ハンドセットでお話し中に、ハンズフリー通話にするには
通話中にスピーカボタン、マイクボタンの順に押します。
ハンドセットを置くと、ハンズフリー通話ができます。



お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の声が一時途切れることがあります。故障ではありません。
- ハンズフリーで電話を受ける場合は、手順どおり、外線ボタンの後にマイクボタンを押してからお話しください。
ハンズフリーは、自動応答ではありません。

内線でお話するには（内線通話）

他の内線電話機を内線番号で呼び出してお話しすることができます。内線通話には次の方法があります。

- ・内線でお話する（内線通話）（☞P2-20）
- ・ハンドセットを置いたまま内線でお話する（☞P2-22）

内線でお話する（内線通話）

呼び出す方

- 1 内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

1月11日(月) 午後 3:05
内線



- 2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。
呼び出し音が聞こえます。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線1



- 3 呼び出し音が終わったら、ハンドセットを取り上げて呼びかける。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線1



- 4 呼び出した方が応答したら、お話しする。

- 5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

呼び出される方

- 1 音声呼び出しされると、確認音が鳴り、内線ランプが点滅する。呼びかける声が聞こえたら、ハンドセットを取り上げて、お話しする。

1月11日(月) 午後 3:05
2 内線2



- 2 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

●着信ランプとは

着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。

●内線の呼び出し方法を変えるには

内線で呼び出し中に **[0]** を押すと、呼び出し方法を音声からトーン（信号音）、またはトーン（信号音）から音声に切り替えることができます。トーン（信号音）呼出では、相手の電話機で着信音が鳴動します。音声呼出では、相手の電話機のスピーカからこちらの音声聞こえます。

●お話し中の方を呼び出すには

相手の方がお話し中のときに、**[*]** を押します。相手の方には通常より小さな音で着信音が聞こえます。

●ハンドセットを取りあげずに応答するには （内線ハンズフリー応答）（P2-22）

●他の電話機のお話しに自分の電話機から割り込むには

他の電話機が外線または内線でお話し中に自分の電話機の操作でお話しに割り込み、三者通話ができます。

- ①内線ボタンを押す
- ②他の電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す
- ③「ブーブー…」という話中音が聞こえている間に **[*]** を押す
相手の方には通常より小さな音で着信音が聞こえます。

- ④ **[*]** を押す
- ⑤3人でお話します

☒自グループ内の他の電話機を呼び出すには（ステップコール）

内線呼び出しをしたとき、相手の方がお話し中または応答しないときは、呼び出し中に **[#]** を押すと、「システム設定」した自グループ内の他の電話機を呼び出すことができます。

☒別の電話機で応答するには（代理応答）

内線ボタン、**[#]**、「システム設定」したグループ番号の順に押し、ハンドセットを取りあげると指定したグループに属する電話機にかかってきた電話に応答できます。グループ番号は次のとおりです。

- [0]** : 自グループ
- [1] ~ [6]** : 他グループ
- [#]** : すべてのグループ

☒すべての電話機（またはグループの電話機すべて）を一斉に呼び出すには（一斉・グループ呼出）

「システム設定」されたグループの電話機を同時に音声で呼び出すことができます。

<呼び出す方>

- ①内線ボタンを押す
- ②一斉呼出の特番 (**[*]** **[0]** []) またはグループ呼出の特番 (**[*]** **[1]** ~ **[*]** **[9]** []) を押す
- ③相手の方が応答したらお話しする

<呼び出される方>

- ①ハンドセットを取りあげてお話しする
呼び出し開始時にお話し中だった場合は、お話しを終了してハンドセットを置いて音声での呼び出しを受けられません。この場合には、もう一度ハンドセットを取りあげ、一斉呼出応答の特番 (**[#]** **[8]** **[0]** []) またはグループ呼出応答の特番 (**[#]** **[8]** **[1]** ~ **[#]** **[8]** **[9]** []) を押すと、応答できます。

☒内線の代表番号で呼び出すには

「システム設定」で内線代表呼び出し方式を順次呼出または、一斉呼出のどちらかを選択できます。

内線代表順次呼出：

呼び出す方の手順2で、内線番号の代わりに「システム設定」で設定された代表番号を押すと、そのグループ内の待機中の電話機1台を呼び出すことができます。

内線代表一斉呼出：

呼び出す方の手順2で、内線番号の代わりに「システム設定」で設定された代表番号を押すと、そのグループ内の待機中の電話機すべてを呼び出すことができます。



お知らせ

- 「ブーブー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
- 「呼び出す方」の手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

内線でお話しするには（内線通話）

ハンドセットを置いたまま 内線でお話しする

呼び出す方

- 1 ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。
「ツーツ…」という音を確認してください。

1月11日(月) 午後 3:05
内線



- 2 マイクボタンを押す。

1月11日(月) 午後 3:05
内線



- 3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線1



- 4 相手の方が応答したら、電話機のマイクに向かってお話しする。

呼び出される方 (内線ハンズフリー応答)



- 1 音声呼び出しされると、確認音が鳴り、内線ランプが赤く点滅する。



- 2 マイクボタンを押す。

1月11日(月) 午後 3:05
2 内線2



- 3 電話機のマイクに向かってお話しする。
ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでお話しできます。



ワンポイント

- 自動的に内線ハンズフリー応答するには
あらかじめマイクボタンを押して（マイクランプ点灯）おくと、音声呼び出しされたらスピーカから相手の方の音が聞こえます。そのまま電話機のマイクに向かってお話しください。

- 内線ハンズフリー応答中の確認音を消すには
内線ハンズフリー応答中には、（3秒周期で定期的に）「ピッピッ」という確認音が聞こえます。「システム設定」によって、この確認音を消すことができます。



お知らせ

- 通話の状態により、相手の方の音が一時途切れることがあります。故障ではありません。
- ハンズフリーで電話を受ける場合は、手順どおり、マイクボタンを押してからお話しください。ハンズフリーは、自動応答ではありません。

電話を保留するには

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。相手の方へは保留メロディが流れます。保留には、他の内線電話機でも電話に出ることができる共通保留と、他の電話機では出られない個別保留があります。また、保留した電話を、他の内線電話機や他の外線に取りつぐことができます。

保留する (共通保留)

- 1 通話中に、相手の方に待っていただくように伝える。

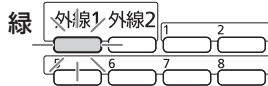


- 2 保留ボタンを押して、ハンドセットを置く。
相手の方に保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。他の電話機では、外線ランプが赤く点滅します。

1月11日(月) 午後 3:05
外線



- 3 もう一度お話しするときは、保留中の外線ボタンを押す。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 4 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。

1月11日(月) 午後 3:05
1-00



他の電話機で取れないように 保留する(個別保留)

- 1 通話中に、相手の方に待っていただくように伝える。



- 2 機能ボタンを押す。

1月11日(月) 午後 3:05
機能 0-05



- 3 保留ボタンを押して、ハンドセットを置く。
相手の方に保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。
他の電話機では、外線ランプが赤く点灯します。

1月11日(月) 午後 3:05
外線



- 4 もう一度お話しするときは、保留中の外線ボタンを押す。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 5 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。

1月11日(月) 午後 3:05
1-00





ワンポイント

○保留忘れを防止するために

保留状態が一定時間続いたときに、電話機のスピーカから保留警報音が鳴るように設定することができます。

(☞P4-22)

☑保留警報音が鳴っても電話に出ないときは

「システム設定」により保留警報音が鳴ってから一定時間が経過したときは、自動的に電話が切れるように設定することができます。

●個別保留の操作

機能ボタン、保留ボタンを順に押す代わりに、内線ボタンまたはダイレクトボタンを押して個別保留にすることもできます。

○保留メロディを変えるには

保留メロディを選択することができます。(☞P4-22)

☑内線／外線の通話をパーク保留するには

お話し中に「システム設定」した「パーク保留ボタン」を押すと、パーク保留となります。同一パーク保留ボタンを設定した電話機であれば、保留中の内線／外線に応答できます。

●内線電話の保留

内線電話を保留した場合、内線ランプが周期的に2回点灯します。内線ボタンを押すともう一度お話しすることができます。

お話しを他の内線電話機に 転送する

外の相手の方とのお話しや内線通話を、他の内線電話機に取りつぎます。

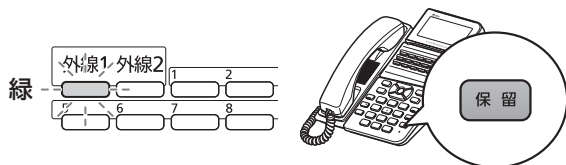
呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、**保留ボタン**を押す。

ハンドセットと相手の方に保留メロディが流れます。

外線ランプが周期的に2回点灯します。

内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 取りつぐ内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す。

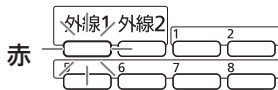
呼び出し音が聞こえます。

3 呼び出し音が終わったら、呼びかける。



4 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く。

決定ボタンを押して転送することもできます。



お知らせ

- 「ブーブー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
- 転送先が保留転送制限されているときは、呼び出す方の手順4で決定ランプが点灯し、転送できないことがあります。

呼び出される方

1 音声呼び出しされると、確認音が鳴り、外線ランプが点滅する。呼びかける声が聞こえたら、ハンドセットを取りあげて、お話しする。



2 呼び出した方がハンドセットを置くと、外からの電話がつながるので、相手の方とお話しする。



2 電話をかける
受ける／保留する

電話を保留するには



ワンポイント

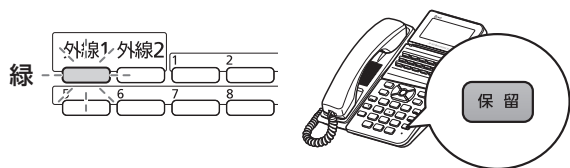
- **着信ランプとは**
着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。
- **呼び出される方が近くにいるときは（口頭転送）**
共通保留（P2-23）の操作のあと、口頭で連絡してください。ハンドセットを取りあげて外線ボタンを押すと、どの電話機でも電話に出ることができます。
- **自グループ内の他の電話機を呼び出すには（ステップコール）**
外線個別呼び出しをしたとき、相手の方がお話し中または応答しないときは、**Ⓜ**を押すと、自グループ内の他の電話機を呼び出すことができます。
- **別の電話機で応答するには（代理応答）**
外線ボタン、**Ⓜ**、「システム設定」したグループ番号の順に押し、ハンドセットを取りあげると指定したグループに属する電話機にかかってきた電話に応答できます。グループ番号は次のとおりです。
 - Ⓚ : 自グループ
 - ① ~ ⑥ : 他グループ
 - Ⓜ : すべてのグループ
- **呼び出された方が応答する前に転送するには（呼出状態転送）**
呼び出す方の手順4で、呼び出された方が応答する前にハンドセットを置くか、決定ボタンを押して、転送することもできます。呼び出された方は外線ランプが緑色で点滅して着信音が変わりますので、外線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげてお話しください。
- **呼び出される方が話し中か、または応答しないときは**
外線ボタンを押すと、再び元の相手の方とお話しすることができます。
- **内線の呼び出し方法を変えるには**
内線で呼び出し中に **Ⓚ** を押すと、呼び出し方法を音声からトーン（信号音）、またはトーン（信号音）から音声に切り替えることができます。
- **PBX/CES回線で、スマートネットコミュニティαZX Home 以外に接続された内線電話機に転送するには**
次の方法で、PBX/CES回線の転送機能を使うことができます。
 - 外線に瞬断信号（フッキングパルス）を送出して転送する方法
 - ①お話し中にフックボタンを押す
 - ②内線番号をダイヤルボタンで押す
 - ③取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く

お話しを他の外線に転送する

外の相手の方とのお話しや内線電話を、他の外線に転送することができます。

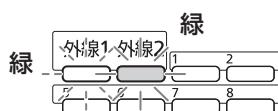
1 お話中に、相手の方に待っていただくように伝え、保留ボタンを押す。

ハンドセットと相手の方に保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に2回点灯します。
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



2 空いている外線ボタンを押す。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



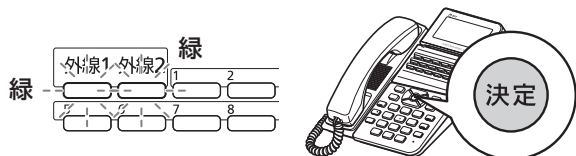
3 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号が表示されます。



4 相手の方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、決定ボタンを押す。

転送が完了します。
手順2で押した外線ボタンのランプが周期的に2回点灯します。



5 ハンドセットを置く。



ワンポイント

☑ 外の相手の方を他の外線に転送するには

「システム設定」が必要です。

☑ ハンドセットを置くと転送されるようにするには

「システム設定」により、手順4で決定ボタンを押す操作を省略できます。電話を取りつぐことを伝えたら、ハンドセットを置くだけで転送できます。

○ 相手の方が応答しないまたはお話し中の場合は

保留中の外線ボタンを押すと、元の相手の方とのお話しに戻ります。別の転送先に転送するには、手順1から操作をやり直してください。

● 三者会議通話をするには

外線を他の外線に転送したときは、通話に割り込んで3人でお話しすることができます。手順4で決定ボタンを押して転送が完了したあと、内線ボタンを押して、機能ボタン、外線転送割込みの特番 (5) (2) [] の順に押すと、三者会議通話となります (4人目の追加はできません)。また、もう一度決定ボタンを押すと、2外線の通話に戻ります。



お知らせ

● 転送先へ保留転送規制されているときは、決定ランプが点灯し、転送できないときがあります。また、最初にお話ししていた通話を保留したあとで外線の着信に回答したときなどには、決定ランプが点灯し、転送が行えません。

MEMO

その他の機能

電話帳を登録するには	3-2
着信拒否を登録するには	3-7
ワンタッチボタンによく電話をかける 番号を登録するには	3-9
よく使う機能をワンタッチ機能ボタンで 操作するには (サービスボタン)	3-11
電話機の名前を登録するには (内線ネーム登録)	3-12
電話を転送するには (内線へ転送)	3-13
電話を転送するには (外線へ転送)	3-15
3人でお話しするには (会議通話)	3-20
電話に出られないときは (お待たせメッセージ)	3-24
外出先から電話をかけるには (コールバック)	3-26
外出先からリモコン操作するには (自動応答サービス)	3-31
時間帯や曜日で設定を変えるには (システムモード)	3-36
使用できる機能を制限するには (サービスロック)	3-40
ご利用になれる各種ネットワークサービス	3-42

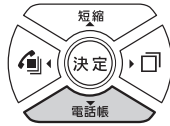
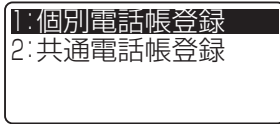


電話帳を登録するには

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておくことで、簡単にダイヤルすることができます。内線電話機ごとに登録できる個別電話帳の他に、すべての内線電話機で利用できる共通電話帳があります。登録は、外線通話中にも行えます。

電話帳を登録する

1 電話帳ボタンを長く（2～3秒）押す。



2 個別電話帳を登録するときは [1]、共通電話帳を登録するときは [2] を押す。



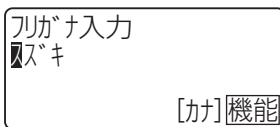
3 名称を入力する。



名称を入力するには、「文字を入力する」(P3-5)を参照してください。

4 決定ボタンを押す。

漢字・かなモードで名称を入力した場合は、入力した文字が、そのままフリガナとして表示されます。

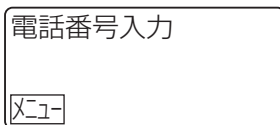


フリガナを変更する場合は、「文字を入力する」(P3-5)を参照して修正してください。

5 決定ボタンを押す。



6 決定ボタンを押す。



ワンポイント

電話帳の登録件数

電話帳の共通電話帳とすべての内線電話機の個別電話帳を合わせて、最大1400件まで登録できます。ただし、「システム設定」により以下のように桁数を変更できます。

桁数	共通電話帳		個別電話帳	
	件数	メモリ番号	件数	メモリ番号
2桁	80	00～79	20	80～99
3桁	200	000～199	200※	800～999
	400	000～399		
	600	000～599		
	800※	000～799		

※お買い求め時の設定です。システム設定により変更できます。

電話帳ガイド表示について

電話帳画面の最下行に操作ガイドを表示させるかどうかを設定できます。(P4-19)

登録中に前の画面に戻るには

フリガナ、電話番号、グループ、アイコンの各登録画面から前の画面に戻るには、クリアボタンを押します。ただし、文字や数字の入力中は、入力文字をすべて削除してから、クリアボタンを押します。

登録を中止するには

クリアボタンを長く押すと、待機中表示に戻ります。ただし、文字や数字の入力中は、入力文字をすべて削除し、前の画面（手順5、9）に戻してから、クリアボタンを長く押します。

お知らせ

●手順4のフリガナ入力は、履歴からの電話帳登録時に自動入力されません。

7 電話番号をダイヤルボタンで押す。

電話番号入力

045000XXXX

Xニュー



8 決定ボタンを押す。

1: ☎

2: 📠

3: 📞

◀▶

9 登録したいアイコンの番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

8種類のアイコンを確認するときは、上下ボタンを押します。

名 鈴木

か スズキ

☎ 045000XXXX

◀▶ 登録保留



「選択できるアイコンは」(ワンポイント)

10 複数の電話番号を登録する場合は、上下左右ボタンで「(未登録)」を選択し、決定ボタンを押す。

電話番号の登録を終了する場合は、手順12に進みます。

電話番号入力

Xニュー



11 手順7～9を行う。

12 上下左右ボタンで「GR 指定なし」を選択し、決定ボタンを押す。

0 指定なし

1 グループ1

2 グループ2

◀▶

13 0 (指定なし)、1～8 (グループ1～8) または9 (着信拒否) の番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。

グループを確認するときは、上下ボタンを押します。

☎ (未登録)

GR グループ2

◀▶ 登録保留



ワンポイント

● 選択できるアイコンは

番号	アイコン	番号	アイコン
1	☎	5	代
2	📠	6	直
3	📞	7	Fax
4	🏠	8	めし

● 電話帳に登録できる内容は

項目	登録内容
名称	全角最大10文字。漢字／ひらがな(全角)、カナ／英字／数字(半角)が使用できる
フリガナ	半角最大12文字。カナ／英字／数字(半角)が使用できる
電話番号	最大32桁。ダイヤル(0～9、*、#)およびポーズを登録できる。最大4番号を登録できる
グループ	10のグループに分類できる※
アイコン	「📠」や「☎」などを表すアイコンを、8種類の中から選択できる
発信番号属性	「一般外線番号」または「PBX内線番号」のいずれかを選択できる。お買い求め時は「一般外線番号」に設定されている
メモリ番号	共通電話帳 000～799(「システム設定」によっては00～79)
	個別電話帳 800～999(「システム設定」によっては80～99)

※お買い求め時はグループ9(着信拒否)に着信拒否が設定されています。着信拒否する電話番号は、共通電話帳に登録しておく必要があります。

● 一般回線とPBX/CES回線を混在収容しているときは

電話帳を使って電話をかけるときに、自動的に外線発信番号を付けるかどうかを設定できます。

① 手順7でメニューボタンを押す

② 一般の電話番号の場合は ① を、PBXの内線番号の場合は ② を押す

○ グループ名を登録するには

「指定なし」、「グループ1」～「グループ8」、「着信拒否」を、わかりやすい名称に変更できます。(P4-18)



▶ 電話番号にポーズ(待ち時間)を入れて登録するには? (P6-21)

▶ 登録されている電話帳を編集/削除するには? (P6-22)

▶ 電話帳が登録できないときは? (P6-22)

電話帳を登録するには

14 保留ボタンを押す。

空いている一番若いメモリ番号が3行目に表示されます。メモリ番号を指定する場合は、メモリ番号をダイヤルボタンで押します。

XFJ番号入力
000~799で指定

000



15 決定ボタンを押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、手順14で指定したメモリ番号に登録されます。続けて登録するときは、手順16へ進みます。

XFJ番号 000
に登録されました
決定ボタンで
連続登録できます

16 決定ボタンを押す。

手順2の画面に戻ります。手順3～15を繰り返すと、電話帳を続けて登録できます。

名称入力

■

[漢] 機能

6秒以内に操作を行わなかったときは、待機中表示に戻ります。



ワンポイント

- 既存のメモリ番号に上書きするには
 - ①手順14で上書きしたいメモリ番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す
 - ②上下ボタンで「1：はい」を選択し、決定ボタンを押す
- 個別電話帳を全件削除するには (P4-4)
- 共通電話帳を全件削除するには (P4-19)
- 登録されている電話帳を確認するには
 - ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する (P2-6～)
 - ②上下ボタンで確認したい電話帳を選択し、決定ボタンを押す
 - ③電話帳の詳細画面で内容を確認する (P2-7)

文字を入力する

<例>電話帳の名称登録画面で「鈴木」と入力する場合

1 文字が入力できる画面で、機能ボタンを押して入力モードを切り替える。

ここでは〔漢〕と表示される漢字・かなモードで入力を行います。



2 入力したい文字が割り当てられているボタンを押す。 「文字と機能の割り当て一覧表」を参照してください。 (P3-6)

ここでは次のように押します。

- ①「す」：〔3〕を3回押す
- ②カーソルを右に移動：右ボタンを1回押す
- ③「ず」：〔3〕を3回押す
- ④「し」：〔X〕を1回押す
- ⑤「き」：〔2〕を2回押す



3 上下ボタンを押す。 変換候補が表示されます。



変換候補が複数あるときは、上下ボタンを押すごとに次の候補が表示されます。また、「す」や「すず」だけの変換候補を表示させたいときは、左右ボタンで変換範囲を指定し、再度上下ボタンを押します。

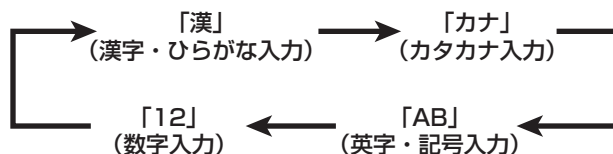
4 決定ボタンを押す。 漢字が確定されます。



ワンポイント

●入力モードを切り替えるには

文字入力中に機能ボタンを押すと、入力モードが切り替わります。ただし、フリガナ入力の場合は漢字・かなモードには切り替えられません。



●続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するには 右ボタンを押してカーソルを右に移動します。

●入力した文字を消去するには

左右ボタンで消去する文字にカーソルを移動し、クリアボタンを押します。カーソル位置に文字がないときは、カーソルの左側の文字が消去されます。

●全角カタカナを入力するには

漢字・かなモードでひらがなを入力して上下ボタンを押し、全角カタカナに変換します。

電話帳を登録するには



ワンポイント

●文字と機能の割り当て一覧表

1つのボタンに複数の文字や機能が割り当てられています。ボタンを繰り返し押すと文字が切り替わります。

ボタン	入力モード			
	漢字・かな (全角)	カナ (半角)	英字・記号 (半角)	数字 (半角)
[1 ^o]	あいうえおあいうえお	アイウエオ	操作無効	1
[2 ^o]	かきくけこ	カキクコ	ABCabc	2
[3 ^o]	さしすせそ	サシセソ	DEFdef	3
[4 ^o]	たちつてとっ	チツテトツ	GHIghi	4
[5 ^o]	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
[6 ^o]	はひふへほ	ヒフヘホ	MNOmno	6
[7 ^o]	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
[8 ^o]	やゆよやゆよ	ヤユヨ	TUVtuv	8
[9 ^o]	らりるれろ	ラリルロ	WXYZwxyz	9
[0 ^o]	わをんー	ワン-	操作無効	0
[* ^o]	入力行※1 ` (濁点) ° (半濁点)	° °	操作無効	*
[# ^o]	-, ., ., !, ?, @, &, #, /, :, ¥	@-#*	._() -#*	#
上下ボタン	入力中の文字に対する漢字変換候補を表示	操作無効		
左ボタン	入力行※1	変換範囲指定 (左移動)	操作無効	
	決定行※2	カーソルを左に移動		
右ボタン	入力行※1	・変換範囲指定 (右移動) ・未決定文字の確定	カーソルを右に移動 入力中は確定となる	
	決定行※2	カーソルを右に移動		
決定ボタン	選択された漢字変換候補を決定	決定		
クリアボタン	1文字消去 または漢字変換キャンセル	1文字消去		
	文字が1つもないときは、前の画面に戻る			

※1：ディスプレイの3行目。漢字・かなモードで入力中の文字や変換中の文字が表示されます。

※2：ディスプレイの2行目。確定された文字が表示されます。

着信拒否を登録するには

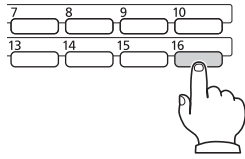
電話番号が通知されている場合は、電話番号を共通電話帳の着信拒否が設定されているグループに登録して着信を拒否することができます。登録はお話中、またはお話しが終わった後に着信履歴から行うことができます。

着信拒否を設定するには、あらかじめ「システム設定」でサービスボタン（着信拒否）を設定しておく必要があります。

お話し中に相手の方の電話番号を登録する

- 1 外の相手の方とお話中にサービスボタン（着信拒否）を押す。

着信拒否に登録しますか？
0:いいえ
1:はい



- 2 ①を押す。

着信拒否
メモリ番号700
に登録しました

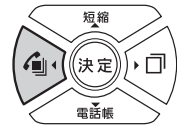


「ピッピッ」という確認音が聞こえ、空いている一番若いメモリ番号に、相手の方の電話番号が着信拒否登録されます。

お話しが終わってから着信履歴で登録する

- 1 着信履歴ボタンを押し、着信履歴の一覧画面を表示する。

01 鈴木
02 0450000XXXX
03 他2 内線2
04 NTT太郎



- 2 上下左右ボタンで目的の履歴を選択する。

01 鈴木
02 0450000XXXX
03 他2 内線2
04 NTT太郎



- 3 メニューボタンを押す。

1:電話帳登録
2:1件削除
3:全件削除
4:着信拒否グループ登録



- 4 ④を押す。

着信拒否に登録しますか？
0:いいえ
1:はい



- 5 ①を押す。

着信拒否
メモリ番号700
に登録しました



「ピッピッ」という確認音が聞こえ、空いている一番若いメモリ番号に、相手の方の電話番号が着信拒否登録されます。



ワンポイント

●着信拒否登録を削除するには

着信拒否は共通電話帳に登録されています。着信拒否の登録削除は、電話帳の一覧画面または詳細画面から操作して行います。

<電話帳の一覧画面から削除する>

- ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する
(P2-6 ~)
- ②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択する
- ③メニューボタンを押す
- ④**[2]**を押す

<電話帳の詳細画面から削除する>

- ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する
(P2-6 ~)
- ②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択し、決定ボタンを押す
- ③メニューボタンを押す
- ④**[4]**を押す

●通話中に相手の方の電話番号を表示させるには (P3-47)



お知らせ

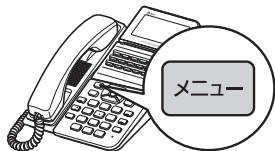
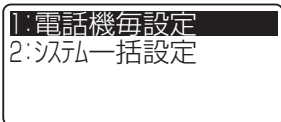
- 「お話しが終わってから着信履歴で登録する」手順3でサービスボタン（着信拒否）を押しても登録できます。
- 着信拒否グループに登録した電話番号がすでに共通電話帳の他グループに登録されていた場合、着信拒否が動作しない場合がありますので、すでに登録済みの電話番号を削除してください。
- 以下の場合、通話中にサービスボタン（着信拒否）を押しても登録できません。
 - ・電話をかけた場合
 - ・保留中や会議通話中
 - ・電話帳アクセス
- 使用できる電話帳のメモリ番号は、システム設定によって異なります。(P2-9)

ワンタッチボタンによく電話をかける番号を登録するには

ワンタッチボタンが割り当てられているボタンによくかける相手の電話番号を登録しておくと、簡単に電話をかけられます。1つのワンタッチボタンには32個までのボタン操作を、内線電話機ごとに登録できます。

ワンタッチボタンに登録する

1 メニューボタンを押す。



2 ① ⑤ ① を押す。

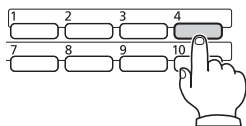
ワンタッチダイヤル登録
ワンタッチボタンを押下してください



3 登録するワンタッチボタンを押す。

すでにワンタッチダイヤルが登録されているときは、その内容が表示されます。

登録するボタン?
SpLK987654321
ワンタッチ押下で決定



4 登録する電話番号をダイヤルボタンで押す。

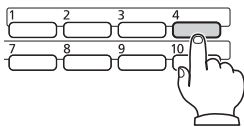
登録するボタン?
030000XXXX
ワンタッチ押下で決定



5 手順3で押したワンタッチボタンを押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、ワンタッチボタンが登録されます。

続けて登録するときは、手順3～5を繰り返します。



6 クリアボタンを長く押す。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線1



お知らせ

● スピーカボタンや外線ボタンを押すと、ボタンに対応した記号がディスプレイに表示されます。

Q&A

▶ 電話番号にポーズ(待ち時間)を入れて登録するには? (P6-21)

ワンタッチボタンによく電話をかける番号を登録するには
着信拒否を登録するには

ワンタッチボタンによく電話をかける番号を登録するには



ワンポイント

ワンタッチボタンが割り当てられているボタンは

どのフレキシブルボタンにワンタッチボタンが割り当てられているかは、ご利用状況によって異なります。また、ワンタッチボタンを割り当てるフレキシブルボタンは、「システム設定」によって変更できます。お買い求め時には、ワンタッチボタンは1～15番のフレキシブルボタンに割り当てられています。

●登録できるボタン操作は

ワンタッチボタンには、音量調節ボタン、ワンタッチボタンを除くすべてのボタン操作を登録することができます。1つのボタン操作を1個と数え、32個まで登録できます。よくお使いになるサービスを登録しておくとう便利です。

ボタン	LCD表示
ダイヤル 0～9	0～9
ダイヤル*	*
ダイヤル#	#
決定	St
機能	Fc
マイク	Mc
内線	PK
外線1～2、フレキシブル1～22	LK
保留	Ht
フック	-
スピーカ	Sp
クリア	Cl
短縮	Sd
メニュー	Me
電話帳	Te
発歴	Rd
着歴	Rc

●登録しているワンタッチボタンを確認するには

機能ボタン、ワンタッチボタンの順に押すと、お買い求め時は、登録内容が約6秒間表示されます。

●ワンタッチボタンに内線番号を登録するには

- ①手順1～3の操作を行う
- ②内線ボタンを押す
- ③登録する内線番号をダイヤルボタンで押す
- ④手順5～6の操作を行う

●ワンタッチボタンに電話帳ダイヤルを登録するには

- ①手順1～3の操作を行う
- ②短縮ボタンを押す
- ③登録するメモリ番号をダイヤルボタンで押す
- ④手順5～6の操作を行う

●ワンタッチボタンの登録中の内容を1個消去するには

手順4でクリアボタンを2回押します。

○ワンタッチボタンの登録内容をすべて消去するには

ワンタッチボタンに登録した電話番号やボタン操作をまとめて消去することができます。(P4-10)

よく使う機能をワンタッチ機能ボタンで操作するには (サービスボタン)

「システム設定」によって特定の機能が登録されているフレキシブルボタンを「サービスボタン」と呼びます。サービスボタンに登録されている機能は、使い勝手に合わせて内線電話機ごとに変更できます。

サービスボタンの機能を変更する

1 メニューボタンを押す。

1: 電話機毎設定
2: システム一括設定



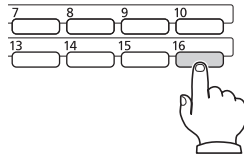
2 ① ⑤ ② を押す。

ワンタッチ機能ボタンの登録サービスボタンの下を押下してください



3 変更するサービスボタンを押す。

ワンタッチ機能ボタンの登録システムモード切替
転送電話
お待たせ



4 上下ボタンで登録する機能を選択する。

選択できる機能は (P3-11)

ワンタッチ機能ボタンの登録
受話音量増大
セキュリティ
送話カット



5 決定ボタンを押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、ワンタッチ機能が登録されます。
続けて登録するときは、手順3～5を繰り返します。

ワンタッチ機能ボタンの登録サービスボタンの下を押下してください



6 クリアボタンを長く押す。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線1



ワンポイント

○ 選択できるサービスボタン

下記の14種類のサービスボタンの中から選択してください。

選択できるサービスボタン	機能説明
システムモード切替	システムモード (自動/昼/夜/休憩/休日) を切り替える (P3-36)
転送電話	P3-16
お待たせ	P3-24
INS3者通話	三者通話機能 (P3-43)
INS通信中転送	通信中転送機能 (P3-43)
INS着信転送モード	着信転送機能 (P3-43)
INS着信転送	着信転送機能 (P3-43)
INS発信専用	発信専用制御 (P3-44)
INS通信中着信停止	通信中着信通知 (P3-44)
受話音量増大	P1-18
セキュリティ	P4-31
送話カット	P6-24
サービスロック	P3-40
着信拒否	P3-7

● サービスボタンの登録内容を確認するには

機能ボタンと確認したいサービスボタンを押すと、登録されている機能を確認できます。

お知らせ

- サービスボタンの機能を変更するには、あらかじめ「システム設定」により、フレキシブルボタンにサービスボタンが割り当てられている必要があります。お買い求め時には、16番のフレキシブルボタンにサービスボタンが割り当てられ、「お待たせ」が登録されています。(停電用電話機・録音電話機 (24キータイプ) はフレキシブルボタン「22」)
- メニュー設定で選択できる転送電話用のサービスボタンは、一般着信用です。

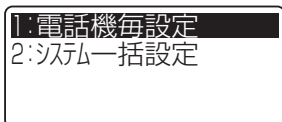
よく使う機能をワンタッチ機能ボタンで操作するには (サービスボタン) ワンタッチ機能ボタンによく電話をかける番号を登録するには

電話機の名前を登録するには (内線ネーム登録)

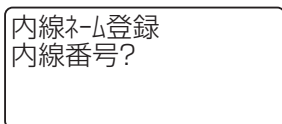
内線番号ごとに、部屋や使っている人の名前を登録することができます。名前を登録しておくと、内線で呼び出すときなどに内線番号とともに名前が表示され、相手がわかりやすくなります。

電話機の名前を登録する

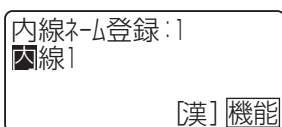
1 メニューボタンを押す。



2 2 7 1 を押す。

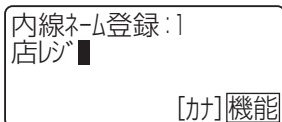


3 名前を登録する内線の番号をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す。



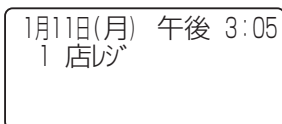
4 名前を入力し、決定ボタンを押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、名前が登録されます。



名前を入力するには、「文字を入力する」(P3-5)を参照してください。

5 クリアボタンを1回押したあと、クリアボタンを長く押す。



ワンポイント

●内線ネームを登録すると

待機中表示画面には、内線番号と内線ネームが表示されます。また、内線で呼び出されたとき、着信履歴の画面に内線ネームが表示されます。

<着信履歴一覧画面>



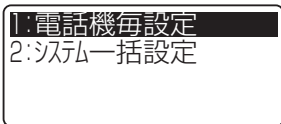
●ドアホンの名前を登録するには (P4-28)

電話を転送するには（内線へ転送）

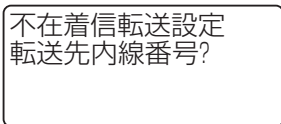
離席中など不在にしているとき、自分にかかってきた電話を、一時的に他の内線電話機に転送できます。不在着信転送を取りやめるときは、解除の操作を行います。

不在着信転送を登録する

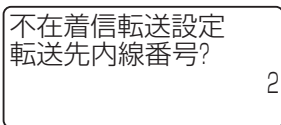
1 メニューボタンを押す。



2 ① ⑦ ③を押す。



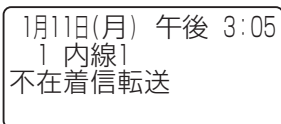
3 転送先の内線番号をダイヤルボタンで押す。
内線番号を押し間違えたときは、クリアボタンを押します。



4 決定ボタンを押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、不在着信転送が登録されます。



5 クリアボタンを長く押す。



電話を転送するには（内線へ転送）
電話機の名前を登録するには（内線ネーム登録）

お知らせ

- 外線着信はダイヤルイン（個別着信）のみ転送することができます。
- ダイヤルイングループボタン（NK/NKG）へかかってきた電話を、不在着信転送することはできません。

電話を転送するには（内線へ転送）

不在着信転送を解除する

1 「不在着信転送を登録する」の手順1～2の操作を行う。

不在着信転送設定
転送先内線番号? 2

2 クリアボタンを押す。

不在着信転送設定
転送先内線番号?



3 決定ボタンを押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、不在着信転送が解除されます。



4 クリアボタンを長く押す。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線1



ワンポイント

●不在時の表示について

不在着信転送で着信したときは、呼び出した方と、転送元の内線番号が同時に表示されます。

例：内線3 → 内線1 → 内線2
 || ||

(呼び出し) (不在着信転送)
<内線3での表示> <内線2での表示>
(呼び出した方) (転送先)

1月11日(月) 午後 3:05
2 内線2
転送元
1 内線1

1月11日(月) 午後 3:05
3 内線3
転送元
1 内線1

お知らせ

●留守番電話または転送電話が設定されている場合は、留守番電話が応答したり転送電話が起動するため、不在着信転送は行われません。

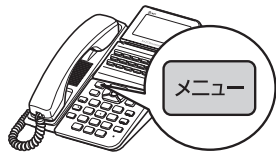
電話を転送するには（外線へ転送）

外出時や退社時に、自分にかかってきた電話を自動的に転送させるには、「システム設定」が必要です（電話機起動転送）。電話機起動転送をセット／解除するには、あらかじめ「システム設定」でサービスボタン（転送電話）を設定しておく必要があります。

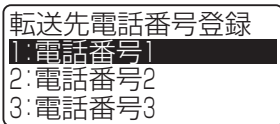
転送電話の転送先リストを登録する

転送先電話番号を3か所まで登録できます。登録は、内線電話機ごとにメニュー設定で行えます。

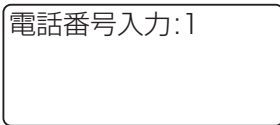
1 メニューボタンを押す。



2 ①④①を押す。



3 登録先をダイヤルボタン（①～③）で押す。



4 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押す。
電話番号を押し間違えたときは、クリアボタンを押します。

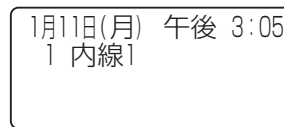


5 決定ボタンを押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、転送先電話番号が登録されます。続けて登録が行えます。



6 クリアボタンを長く押す。



ワンポイント

- 転送先リストの登録内容を消去するには
手順3で内容を消去する転送先リストの番号をダイヤルボタン（①～③）で押し、クリアボタンを押して電話番号を消去して決定ボタンを押します。
- PBX/CES回線に接続されているときは
相手先の電話番号の前に、外線発信番号を付けて登録してください。
- 転送電話機能の設定を変更するには（P3-18）



お知らせ

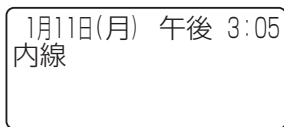
- 転送先で電話に出たときに、音楽などの連続した音が聞こえたり、一定時間無音の状態が続く場合は、電話が切れることがあります。

電話を転送するには（外線へ転送）

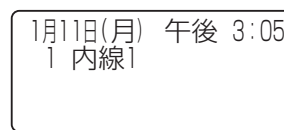
転送電話の対象とする回線を設定する

電話がかかってきたときに転送電話を起動させる回線を設定します。

- 1** 内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



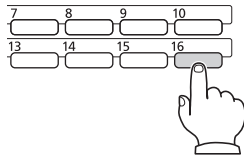
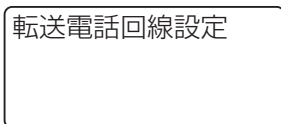
- 6** スピーカボタンを押す。



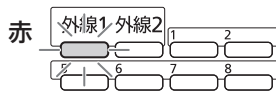
- 2** 決定ボタンを押す。
「ツツツ…」という音を確認してください。



- 3** サービスボタン（転送電話）を押す。



- 4** 転送電話の対象とする外線ボタンを押す。
外線ランプが点灯します。設定を解除するときは、もう一度外線ボタンを押して外線ランプを消灯させます。
複数の回線を設定するときは、続けて外線ボタンを押します。

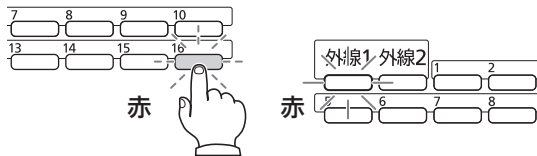


- 5** 決定ボタンを押す。
「ピーピー」という確認音が聞こえ、転送電話対象回線が設定されます。

転送電話をセットする

外出時や退社時に内線電話機で転送をセットします。

- 1** サービスボタン（転送電話）を押す。
 転送電話がセットされます。
 サービスボタン（転送電話）ランプが遅く点滅します。
 転送電話対象回線の外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



ワンポイント

- 転送を解除するには
 セット時と同様に、サービスボタン（転送電話）を押します。転送が解除され、サービスボタン（転送電話）ランプと転送電話対象外線ランプが消灯します。
- 転送電話機能の設定を変更するには（☞P3-18）
- ☑ 転送発信時に特定の回線を利用するには
 「システム設定」により、転送発信時に特定の回線を利用することができます。
- 転送先リストの電話番号からかけたときは
 転送電話がセットされているときでも、転送先リストに登録されている電話番号からの電話は転送されません。
- 着信応答後に外線へ転送するには（☞P2-27）



お知らせ

- 「システム設定」により、ダイヤルイン着信などの電話機ごとの個別着信だけを転送することもできます。



- ▶ 転送電話ができないときは？（☞P6-26）

電話を転送するには（外線へ転送）

■ 転送電話機能の設定を変更する

必要に応じて、転送電話に関するさまざまな設定を変更することができます。設定は、メニュー設定の「システム一括設定」やWeb設定、または「システム設定」で行います。

概要	ご利用のヒント	参照ページ
転送開始のタイミングの設定 着信から転送開始するまでの秒数を設定します。	0～255秒の間で設定できます。 お買い求め時は、「5秒」（約5秒間着信音を鳴らし、その間に応答しなかった場合にのみ転送電話を開始する「未応答転送」）に設定されています。「0秒」に設定すると、着信音を鳴らさず、着信と同時に転送を開始します（即時転送）。	転送開始タイマ (P4-29)
転送先へ転送方式の設定 転送先リストに登録されている電話番号（最大3か所）への発信を同時に行うか、リストの登録順に順次行うかを設定します。	お買い求め時は、「順次転送」に設定されています。 「同時転送」が行われると、一度に複数の回線を使用することになります。たとえば、転送先リストに3か所登録されている場合には、3chを同時に使用します。回線数をご確認の上ご使用ください。	外線転送方式設定 (P4-29)
順次転送の時間設定 応答しなかった場合、次の転送先に転送開始するまでの秒数を設定します。	6～100秒で設定できます。 お買い求め時は、30秒で次の転送先を呼び出すように設定されています。	外線転送先呼出タイマ (P4-29)
転送元の呼び出しの設定 転送後の、転送元の呼び出しについて設定します。	お買い求め時は、「設定しない」に設定されています。転送電話の起動と同時に転送元の呼び出しを停止します。 「設定する」に変更すると、転送先で応答するか、電話をかけてきた方が呼び出しをやめるまで転送元への呼び出しが継続します。	転送元呼出継続設定 (P4-29)

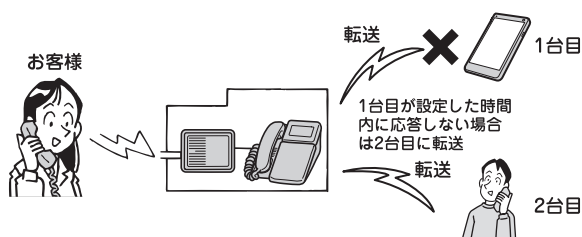


ワンポイント

● 順次転送と同時転送の違いは

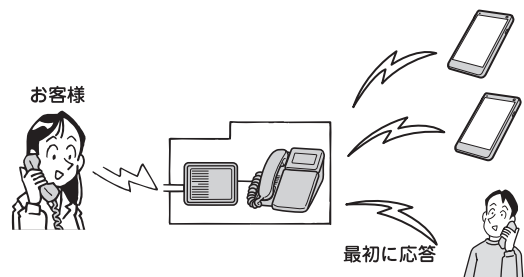
< 順次転送 >

かかってきた電話を、携帯電話などの電話に順次転送します。1台目の電話が設定した時間内に応答しなかった場合は、2台目の電話に自動的に転送します。



< 同時転送 >

かかってきた電話を、携帯電話などの電話に同時に最大3台まで転送します。最初に応答した電話につながります。



その他の転送電話の活用

P3-15～P3-18で説明した転送電話（電話機起動転送）の他に、「電話帳グループ転送」、「システムモード転送」および「圏外時外線転送」の3種類の転送機能が用意されています。どの転送機能を利用する場合も、使い勝手に合わせた詳細設定の変更が行えます。

■ 特定の相手先からの電話を転送する（電話帳グループ転送）

あらかじめ「システム設定」により発番号ダイヤルインを設定しておけば、特定の電話帳グループに登録されている相手からの電話だけを転送することができます。次のような準備が必要です。

- ① 転送する電話番号を転送先リストに登録する
「転送先リスト登録」（P4-29）
- ② 転送用のグループを登録し、①で設定した電話番号に転送用のグループを設定する
「グループ着信先設定」（P4-18）
- ③ 必要に応じて転送電話の設定を変更する
「転送電話機能の設定を変更する」（P3-18）

■ システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じた転送を行う（システムモード転送）

システムモードが切り替わると、自動的に転送するように設定することができます。システムモード転送を行うには、「システム設定」が必要です。

■ 圏外になったときにかかってきた電話を転送させる（圏外時外線転送）

内線電話機（コードレス電話機など）が圏外になったとき、電源が切れているときに、外線に転送するように設定できます。シングルラインコードレス電話機で設定を行うときは、次のように操作します。

<電話機起動転送先リスト(最大3件)を登録するとき>

- ① **9** **7** **3** [] + **1** ~ **3** (リスト番号) + 転送先電話番号を押す
- ② 発信操作をする（「ピーピー」という確認音が聞こえる）

<圏外時外線転送をセットするとき>

- ① **9** **7** **8** [] + **1** を押す
- ② 発信操作をする（「ピーピー」という確認音が聞こえる）

<圏外時外線転送を解除するとき>

- ① **9** **7** **8** [] + **0** を押す
- ② 発信操作をする（「ピーピー」という確認音が聞こえる）



ワンポイント

● 転送先リストに登録できる件数は

電話機ごとの転送先リスト（P4-9）は最大3件、共通の電話帳グループ転送やシステムモード転送の転送先リスト（P4-29）は20個のリストにそれぞれ最大3件登録できます。



お知らせ

- 回線の空き状況により転送できない場合があります。
- かかってきた電話が携帯電話に転送された場合、圏外やドライブモード中だった場合でも、かけてきた方にその旨をお知らせするガイダンスは流れないことがあります。

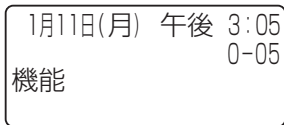
3人でお話するには（会議通話）

外線または内線でお話し中に、他の人を入れて3人または4人でお話することができます。外線との会議通話、内線での会議通話は、そばにいる人に声をかける方法、内線で他の人を呼び出す方法があります。また、2外線と会議通話することもできます。

外線通話中に口頭で会議通話を伝える

呼び出す方

- 1 外の相手の方とお話し中に機能ボタンを押す。



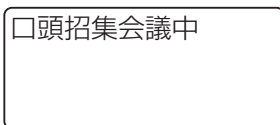
- 2 口頭招集会議の特番（2 []）を押す。



- 3 そばにいる人に声をかける。



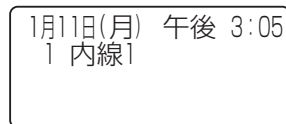
- 4 3人でお話する。



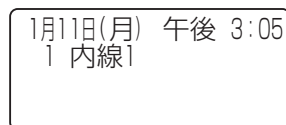
会議に参加する方



- 1 ランプがゆっくり点滅している外線ボタンを押す。
「呼び出す方」の内線番号が表示されます。



- 2 ハンドセットを取りあげる。



- 3 3人でお話する。





ワンポイント

●4人でお話するには

4人目の方は、会議に参加する方の手順で、他の電話機から会議通話に参加することができます。

●他の人の割り込みを禁止するには

会議に参加する方の手順3のあと、呼び出す方が **(✕)** を押すと、他の人が会議通話に参加できなくなります。



お知らせ

- 会議通話が可能な人数は、最大4人までです。4人での会議通話は、1外線と3内線、2外線と2内線、4内線の組み合わせが可能です。
- 会議は最大4組まで可能です。それを超える場合はご利用できません。
- 通話モニタ、フレックスホン中は、会議通話をご利用できません。

3人でお話するには（会議通話）

外線通話中に内線で 会議通話を伝える

呼び出す方

- 1 外の相手の方とお話中に機能ボタンを押す。

1月11日(月) 午後 3:05
0-05
機能



- 2 会議（内／外線ダイヤル招集）の特番
（☎ []）を押す。

ハンドセットと相手の方に保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。

1月11日(月) 午後 3:05
内線



- 3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで
押す。
呼び出し音が聞こえます。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線1



- 4 呼び出し音が終わったら、呼びかける。

- 5 相手の方が応答したら、決定ボタンを押す。

1月11日(月) 午後 3:05
1-L



- 6 3人でお話する。



会議に参加する方

- 1 音声呼び出しされると、確認音が鳴り、内線ランプ
が点滅する。

1月11日(月) 午後 3:05
2 内線2



- 2 呼びかける声が聞こえたら、ハンドセットを取りあ
げてお話する。



- 3 呼び出した方が決定ボタンを押すと、外との電話が
つながるので、3人でお話する。





ワンポイント

- **着信ランプとは**
着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。
- **4人でお話するには**
呼び出す方の手順で4人目の方を呼び出すと、4人でお話できます。
- **内線で呼び、内線3人でお話するには**
＜呼び出す方＞
 - ①内線でお話中に機能ボタンを押す
 - ②会議（内／外線ダイヤル招集）の特番（**11** []）を押す
ハンドセットと相手の方に保留メロディが流れます。
 - ③呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す
 - ④相手の方が応答したら、決定ボタンを押す
 - ⑤3人でお話する
- **2外線と3人でお話するには**
 - ①外の相手の方とお話中に機能ボタンを押す
 - ②会議（内／外線ダイヤル招集）の特番（**11** []）を押す
ハンドセットと相手の方に保留メロディが流れます。
 - ③ランプの消えている外線ボタンを押す
「ツー」という発信音を確認してください。
 - ④相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押す
 - ⑤相手の方が出たら決定ボタンを押す

※手順③で外線発信番号（**00** []）または外線群指定発信の特番（**9 1 1** ~ **9 1 8** []）を押しても同じことが行えます。



お知らせ

- 会議通話が可能な人数は、最大4人までです。4人での会議通話は、1外線と3内線、2外線と2内線、4内線の組み合わせが可能です。
- 2人が2外線で、1人が内線でお話しているときに内線の方がハンドセットを置くと、外線の方どうしでお話することはできなくなります。
- 通話モニタ、フレックスホン中は、会議通話をご利用できません。

電話に出られないときは (お待たせメッセージ)

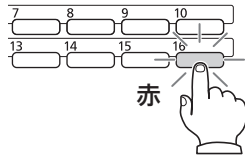
外からの電話にすぐに出られないときなどに、お待たせメッセージを流して出られるようになるまで相手の方に待っていただくことができます。お買い求め時には、フレキシブルボタン「16」(停電用電話機・録音電話機(24キータイプ)はフレキシブルボタン「22」)にサービスボタン(お待たせ)が登録されています。

お待たせメッセージを流す

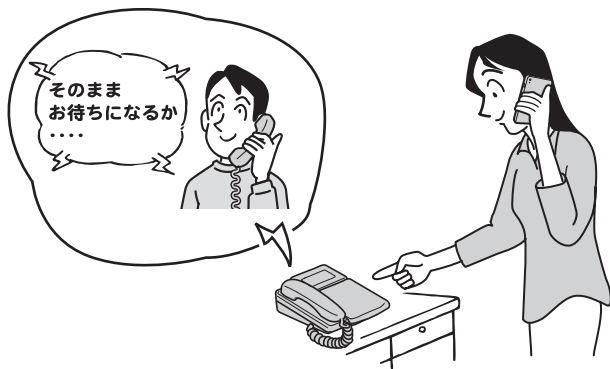
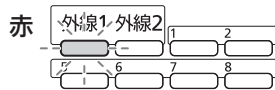
- 1** 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。



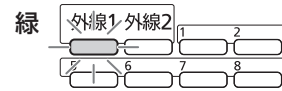
- 2** サービスボタン(お待たせ)を押す。
サービスボタン(お待たせ)ランプが点灯します。



- 3** 6秒以内にランプが点滅している外線ボタンを押す。
相手の方にお待たせメッセージが流れます。
着信音が変わり、相手の方をお待たせしていることがわかります。



- 4** 電話に出られるようになったら、外線ボタンを押す。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 5** ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。



- 6** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

●着信ランプとは

着信音が鳴り、呼び出されていることを点滅してお知らせするランプです。

●お待たせメッセージの内容

＜お待たせメッセージ＞

「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、しばらく時間をおいてからおかけ直しになるか、そのままお待ちください。」

☑自動的にお待たせメッセージを流すには

「システム設定」により、外からかかってきた電話に対し、自動的にお待たせメッセージを流すようにすることができます（自動お待たせメッセージ）。

着信してからお待たせメッセージの送出しに切り替えるまでの時間は変更することができます。

なお、一定時間お待たせメッセージを流したあとは切断メッセージを流し自動的に電話を切ります。

☑お待たせメッセージを流している間の着信音を変えるには

お待たせメッセージを流している間に鳴らす着信音を、「システム設定」により変更できます。通常とは異なる着信音を流すことで、相手の方をお待たせしていることを忘れないようにすることができます。



お知らせ

- 通常の着信音を、お待たせメッセージが流れている間の着信音と同じにした場合、お待たせメッセージが起動していることがわからなくなりますのでご注意ください。
- 「システム設定」により、お待たせできる時間を変更することができます。
- お待たせメッセージサービスをご利用の場合は、在宅自動応答ができません。

外出先から電話をかけるには (コールバック)

あらかじめ登録している電話番号に対し、システムが自動的に折り返し電話をかける機能（コールバック）を利用できます。携帯電話からでもご自宅やお店（システム設置所）の料金負担で通話できるので、業務の通信費などを一本化できます。
コールバックを利用するには、「システム設定」が必要です。

携帯電話からコールバックを利用して内線電話機と通話する (システム内線着信)



ワンポイント

- ☑ コールバック（システム内線着信）を利用するには「システム設定」でコールバック用の回線を設定します。
- ① 共通電話帳にコールバックの対象とする電話番号を「システム内線着信」のグループで登録する
 - ② 「グループ毎コールバック設定」(P4-19) で①のグループに「システム内線着信」を設定する

携帯電話の方

- 1 コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼び出し音が聞こえたら、すぐ(6秒[]以内)に切る。

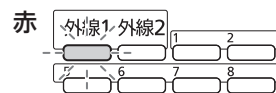


- 2 電話がかかってきたら応答操作をし、お話しする。

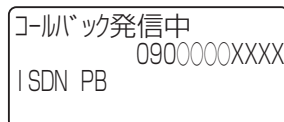


内線電話機側の方

- 1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅したら、点滅している外線ボタンを押す。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 2 ハンドセットを取りあげる。
着信に応答すると、コールバックが開始され、呼び出し状態になります。「プッププップ」から「ブルル…」という音になります。
外出先の方が電話に出るまでお待ちください。



- 3 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

- ☑ コールバックの各動作のタイミングを変更するには「システム設定」によって、次のタイミングを変更できません。
- 対象とする電話番号からの着信を「コールバック着信」と判定する着信秒数(お買い求め時:6秒)
 - 「携帯電話の方」が電話を切ったあと「内線電話機側の方」を呼び出す秒数(お買い求め時:30秒)
 - コールバックで「携帯電話の方」を呼び出す秒数(お買い求め時:120秒)



お知らせ

- コールバック着信と判定するまでの間(お買い求め時:6秒)、内線電話機の着信音は鳴りません。このとき、内線電話機の外線ボタンを押して応答すると、コールバックは起動しません。
- コールバック着信に応答した場合の着信履歴は、「不(応答しなかった)」となります。



▶ コールバックができないときは? (P6-26)

外出先から電話をかけるには (コールバック)

携帯電話からコールバックを利用して外線発信する (中継発信)

外出先で電話をかけたいときに、事業所（システム設置所）の料金負担で通話できる機能です。事業所の外（外線）や、内線電話機へも、携帯電話の通話料金を使わずに電話をかけられます。



外出先の方（登録されている電話番号）からの着信がすぐに切れると、システムが外出先の方に自動的にコールバックします。コールバックを受けた携帯電話からは、事業所の回線を使って外線発信できます。

お知らせ

- 「外出先から外線発信する」の手順3で、空いている外線がなかったときは、発信できません。
- コールバック（中継発信）で使用中の外線の外線ランプは、赤く点灯します。
- コールバック着信と判定するまでの間（お買い求め時：6秒）、内線電話機の着信音は鳴りません。このとき、内線電話機の外線ボタンを押して応答すると、コールバックは起動しません。

外出先から外線発信する

コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼び出し音が聞こえたら…

- 1 すぐ（6秒[]以内）に切る。

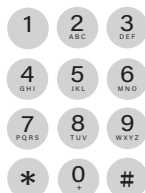


- 2 コールバックの電話がかかってきたら応答操作をする。

ガイダンスまたは「プププ」という音が聞こえます。



- 3 外線発信番号（0 []）、電話番号の順に押す。



- 4 相手の方が出たら、お話しする。

外出先から内線発信する

コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼び出し音が聞こえたら…

- 1 すぐ（6秒[]以内）に切る。



- 2 コールバックの電話がかかってきたら応答操作をする。

ガイダンスまたは「プププ」という音が聞こえます。



- 3 内線着信の特番（* # []）を押す。



- 4 社内の方が出たら、お話しする。

外出先から電話をかけるには (コールバック)



ワンポイント

☑ コールバック（中継発信）を利用するには

「システム設定」でコールバック用の回線を設定します。また、「グループ毎コールバック設定」(P4-19)で特定の電話帳グループに「中継発信」を設定します。コールバックの対象としたい電話番号は、共通電話帳に登録しておく必要があります。登録時のグループ選択では、「中継発信」を設定したグループを選択します。

☑ 外出先から内線番号を指定して内線電話機を呼び出すには（コールバックからの自動応答サービス）

自動応答サービスのガイダンスに従ってリモコン操作することにより、特定の内線電話機を呼び出すことができます。同様に、リモコン操作で転送電話や留守番電話、システムモードの切り替え、セキュリティサービスなどの操作(P3-33)も行えます。

この機能を利用するには、「グループ毎コールバック設定」(P4-19)で特定の電話帳グループに「自動応答サービス」を設定します。この機能を利用する携帯電話などの電話番号は、共通電話帳に登録しておく必要があります。登録時のグループ選択では、「自動応答サービス」を設定したグループを選択します。

コールバックを受け、自動応答サービスを使って内線電話を呼び出すには、次のように操作します。

- ① コールバック用の電話番号に電話をかけ、呼び出し音が聞こえたら、すぐに切る
- ② コールバックの電話がかかってくるまで応答操作をしない
- ③ ガイダンスに従って **[1]** を押す
- ④ 内線番号を押す

☑ コールバックの各動作のタイミングを変更するには (P3-27)

☑ 中継発信できる相手先を限定するには

コールバック（中継発信）で外出先から外線発信できる相手先を、「システム設定」やメニュー設定により制限することができます。(P4-19、P4-40)

STOP お願い

- ガイダンスが聞こえている間に携帯電話を操作した場合、正常に動作しないことがあります。ガイダンスが終了してから操作してください。



▶ コールバックができないときは？ (P6-26)

外出先からリモコン操作するには (自動応答サービス)

自動応答サービスとは、外出先などからスマートネットコミュニティαZX Home に電話をかけ、ダイヤルボタンによるリモコン操作で行うことです。

次のリモコン操作が行えます。

- ・ 特定の内線電話機の呼び出し
- ・ システムの外線を使った発信
- ・ 転送電話や留守番電話のセットおよび解除
- ・ 電話機起動転送先リストの登録
- ・ 圏外時サービス設定
- ・ システムモードの切り替え
- ・ セキュリティサービスの起動および解除

自動応答サービス利用の準備と流れ

自動応答サービスを利用するには、次の3通りの方法があります。いずれかの準備を行ってください。

■ 在宅自動応答を設定しておく

外からの電話に約50秒間だれも応答しなかった場合に、自動応答サービスを利用できる状態に自動的に切り替わるように設定しておく方法です（お買い求め時の設定のまま、ご利用になれます）。

「在宅自動応答設定」で「自動応答する（お買い求め時の設定）」に設定する（▶P4-31）

外出先から電話をかけ、「ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。」というガイダンスが聞こえるまで（約50秒間）呼び出しを続ける（※1）

※1：オプションの録音電話機をお使いの場合、留守がセットされていると録音電話機が留守応答してしまい、「ただいま留守にしております…」という応答メッセージが聞こえます。スマートネットコミュニティαZX Home に在宅自動応答させるには、録音電話機の留守を解除してから、再度かけ直してください。リモコン操作で留守を解除する操作については、録音電話機の取扱説明書を参照してください。

■ ダイヤルインサービス／i・ナンバーサービスを利用する

自動応答サービス用の電話番号を用意しておく方法です。

ダイヤルインサービス／i・ナンバーサービス（有料）を契約し、自動応答用のダイヤルイン番号／i・ナンバーサービスを用意する（▶P3-54）

外出先からこの電話番号にかける

■ 外出先で使う電話機の電話番号を登録しておく

携帯電話など、外出先でよく使う電話機の電話番号を共通電話帳に登録し、この電話番号からはリモコン操作ができるように設定しておく方法です。

この方法でリモコン操作を行うときは、他の2通りの方法の場合には必要な暗証番号の入力が省略できます。アナログ回線をご利用の場合、この方法で自動応答サービスを行うにはナンバー・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。(▶P3-46)

「グループ着信先設定」で、特定の電話帳グループに「自動応答サービス」を設定する (▶P4-18)

携帯電話などの電話番号を共通電話帳に登録し、グループ選択時に「自動応答サービス」を設定したグループを選択する (▶P3-2)

登録した電話番号から電話をかける

STOP お願い

- プッシュ信号を送れない電話機からは、自動応答サービスを利用できません。
- 外出先から操作するときは、ダイヤルボタンをゆっくりと確実に押してください。
- 携帯電話などでガイダンスが聞こえている間に操作した場合は正常に動作しないことがありますので、ガイダンスが終了してから操作してください。
- ガイダンスが聞こえている間にダイヤルボタンを押す場合は、ガイダンスが確実に止まるように、少し長めに押してください（電話機によってはできない場合があります）。

外出先からリモコン操作をする



特定の内線電話機を呼び出す場合

1 自動応答サービスを利用できる電話番号へ電話をかける。



2 ① を押す。

3 「内線番号をどうぞ。」というガイダンスのあと、ダイヤルボタンで内線番号を押す。

4 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

●自動応答サービスの操作時に使用する「暗証番号」とは

「暗証番号と#をどうぞ。」というガイダンスのあとに押す暗証番号とは、それぞれの操作に必要な内線番号（1～8）と電話機ごとの暗証番号（お買い求め時は「0000」に設定されています。第三者による不正使用を防止するため、必ずご使用前の暗証番号を変更してください。▶P4-15）を続けた5桁の数字です。4桁の暗証番号だけでは操作できません。次の5桁の数字を押して、#を押してください。

システムの外線を使って電話をかける場合※ システムモードの設定をする場合	システムでご利用中の内線番号＋電話機ごとの暗証番号
転送電話の設定をする場合	サービスボタン（転送電話）が設定されている内線電話機の内線番号＋電話機ごとの暗証番号
留守番電話の設定をする場合	録音電話機の内線番号＋電話機ごとの暗証番号
セキュリティサービスの設定をする場合	サービスボタン（セキュリティ）が設定されている内線電話機の内線番号＋電話機ごとの暗証番号

※ただし、「システムの外線を使って電話をかける場合」（▶P3-34）は、外線転送時の暗証番号（お買い求め時「0000」に設定されています。第三者による不正使用を防止するため、必ずご使用前の暗証番号を変更してください。▶P4-25）のみで操作できます。

外出先からリモコン操作するには (自動応答サービス)

システムの外線を使って 電話をかける場合

- 1 自動応答サービスを利用できる電話番号へ電話をかける。



- 2 **2** ABC を押す。
「外線発信番号をどうぞ。」というガイダンスが聞こえたときは、手順4へ進みます。
- 3 「リモート設定を行います。内線番号と暗証番号と#をどうぞ。」というガイダンスのあと、内線番号と暗証番号を押し、**#** を押す。
- 4 「外線発信番号をどうぞ。」というガイダンスのあと、外線発信番号 (**0** []) を押す。
- 5 電話番号をダイヤルボタンで押す。
- 6 相手の方が出たら、お話しする。

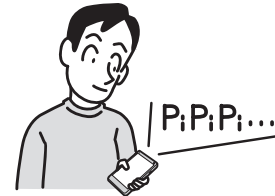


転送電話、留守番電話、システムモード、 セキュリティサービスの設定をする場合

- 1 自動応答サービスを利用できる電話番号へ電話をかける。



- 2 **3** DEF を押す。
「リモート番号をどうぞ。」というガイダンスが聞こえたときは、手順4へ進みます。
- 3 「リモート設定を行います。内線番号と暗証番号と#をどうぞ。」というガイダンスのあと、内線番号と暗証番号を押し、**#** を押す。
- 4 音声ガイダンスに従って操作する。



ワンポイント

- 自動応答サービスの「暗証番号」を押す操作を省くには「■外出先で使う電話機の電話番号を登録しておく」(P3-32)の方法を使います。登録されている電話番号から電話をかけたときには、「暗証番号」を押す操作が不要です。



お知らせ

- システムの外線を使って電話をかける場合は、「システム設定」により、あらかじめ発信可能な外線を設定しておく必要があります。

サービス番号／リモート番号一覧

サービス番号	サービス内容	リモコン操作（リモート番号）	
①	内線電話機の呼び出し	内線番号	
②	外線への発信（※ 1）	外線発信番号 0 [] + 電話番号	
③ （※ 1）	転送電話、 留守番電話	留守番電話のセット（※ 3）	9 7 0 [] ☞ 留守番電話を設定しました。
		転送電話のセット	9 7 1 [] ☞ 転送電話を設定しました。
		転送電話、留守番電話の解除（※ 2）（※ 3）	9 7 2 [] ☞ 留守番電話または転送電話を解除しました。
		電話機起動転送先リストの登録	9 7 3 [] ☞ X番目の転送先に電話番号XXXX…を登録しました。
		電話機起動転送先リストの削除	9 7 4 [] ☞ X番目の転送先を削除しました。
		システム共通の転送先リストの登録	9 7 6 [] ☞ リスト番号XXのX番目を電話番号XXXX…で登録しました。
		システム共通の転送先リストの削除	9 7 7 [] ☞ リスト番号XXのX番目を削除しました。
		圏外時サービス設定	9 7 8 [] + 0 #（解除）／ 1 #（転送電話） ☞ 解除：転送電話を解除しました。 ☞ 転送電話：転送電話を設定しました。
	システムモード	システムモードの解除（自動モードへの切り替え）	9 4 0 [] ☞ システムモードの設定を解除しました。
		昼モードへの切り替え	9 4 1 [] ☞ システムモードを昼モードに設定しました。
		夜モードへの切り替え	9 4 2 [] ☞ システムモードを夜モードに設定しました。
		休憩モードへの切り替え	9 4 3 [] ☞ システムモードを休憩モードに設定しました。
		休日モードへの切り替え	9 4 4 [] ☞ システムモードを休日モードに設定しました。
	セキュリティサービス	起動	9 7 9 [] + 1 # ☞ セキュリティサービスを起動しました。
		解除	9 7 9 [] + 0 # + セキュリティ暗証番号 + # ☞ セキュリティサービスを解除しました。

※ 1：自動応答サービスの暗証番号が必要となる場合があります。（P3-33、P3-34）

※ 2：転送電話と留守番電話の両方をセットしている場合は、どちらも解除されます。

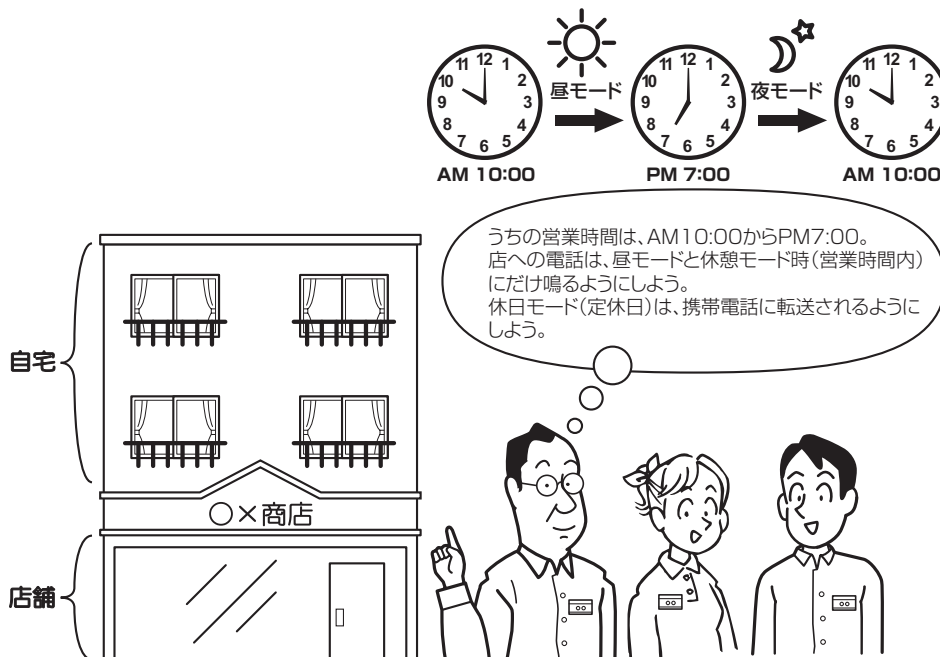
※ 3：留守番電話の機能をご利用になるには、別途オプションの録音電話機が必要です。

時間帯や曜日で設定を変えるには (システムモード)

システムモードを利用すると、時間帯や曜日ごとに動作を変えることができます。

システムモードを利用する

営業時間や定休日などに合わせて、システムモード（昼／夜／休憩／休日）を設定することができます。着信音を鳴らす時間帯や、転送などの機能をシステムモードごとに設定しておけば、システムモードが切り替わると同時に各種機能の動作も切り替わります。



- システムモードの切替時刻を設定するには
システムモード時刻設定 (P4-23) で設定します。
- システムモードを切り替えるには
メニュー設定、または特番で切り替えます。
サービスボタン (システムモード切替) を設定しておく、より簡単に切り替えられます。
 - メニュー設定：システムモード設定 (P4-24)
 - 特番：モード切替 (自動/昼/夜/休憩/休日) (P6-2)
 - サービスボタン：システムモード切替 (P3-11)
- 外出先からの操作でシステムモードを切り替えるには
自動応答サービス (P3-31) を利用すると外出先からのリモコン操作でシステムモードを切り替えることができます。
(P3-34、P6-4)
- システムモードに連動する各種機能
 - 転送電話を利用する (P3-19)
 - ecoモードを利用する (P3-38)
 - 省電力を利用する (P3-38)
 - 発番号ダイヤルインを利用する (P3-46)

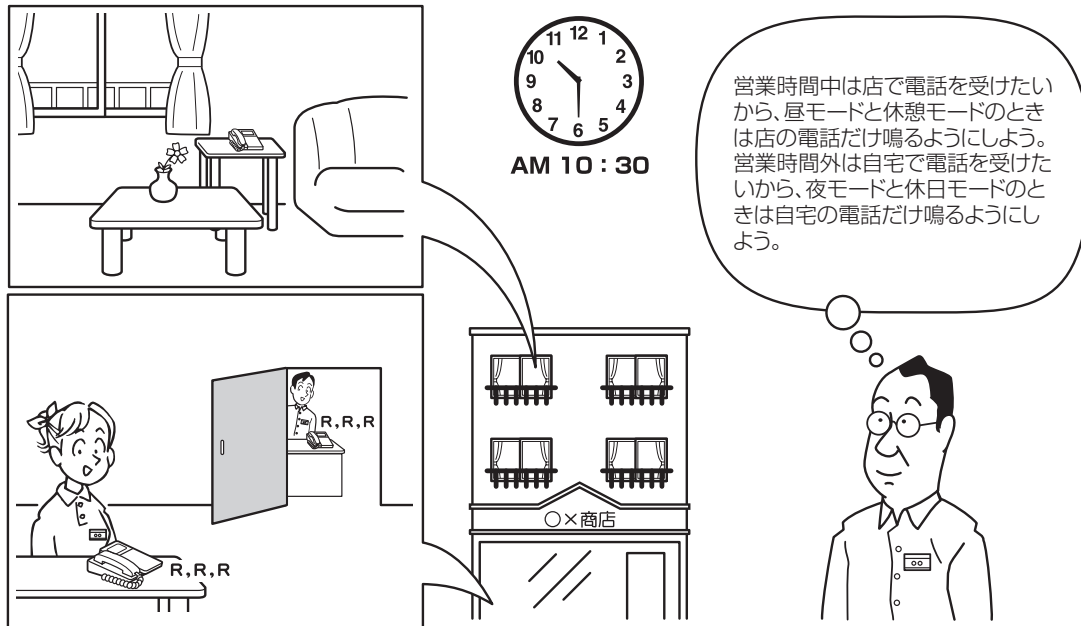


ワンポイント

システムモードの名称を変更するには
「システム設定」により、システムモードの表示名を変更することができます。

着信音を鳴らす時間帯をシステムモードごとに設定する

外からの電話を受ける内線電話機を、システムモードによって分けることができます。



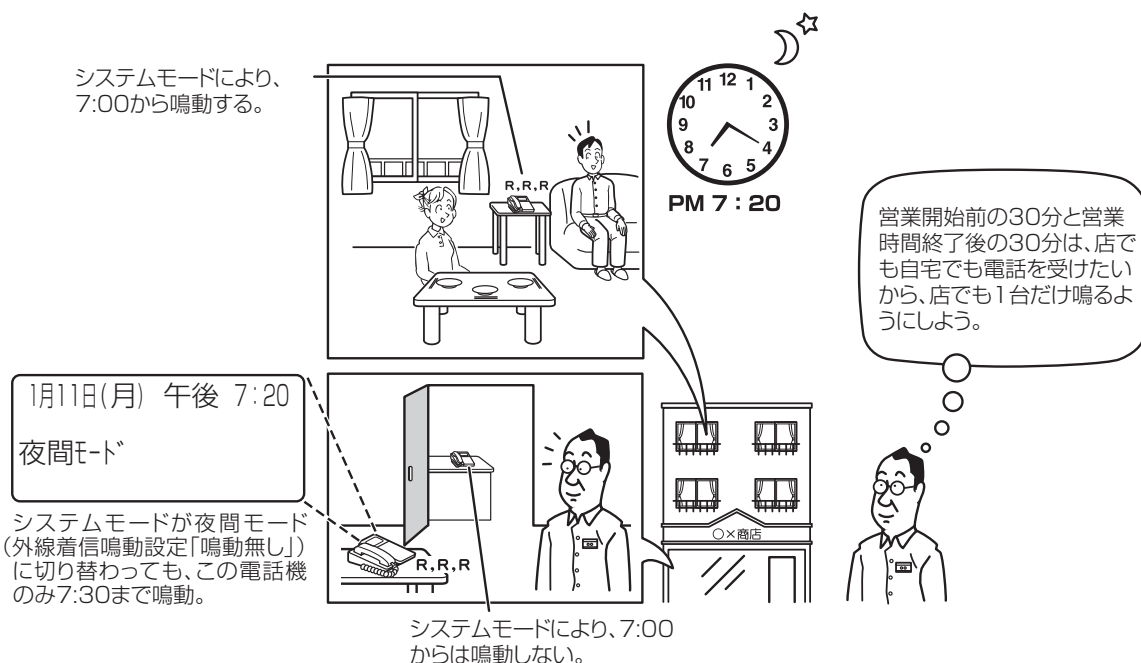
□ システムモード別に外線着信音を鳴らす／鳴らさないを設定するには

システムモード「昼モード」「夜モード」「休憩モード」「休日モード」に分けて、外線着信音を鳴らすかどうかを設定できます。内線電話機ごとに、外線着信鳴動設定（P4-7）で設定します。

ワンポイント

● システムモードより優先する鳴動動作を電話機ごとに設定するには

「曜日毎鳴動モード設定」（P4-8）を利用することにより、外からの電話を受ける時間帯を電話機ごとに設定できます。この設定による鳴動動作は、システムモードごとの鳴動動作より優先されます。



時間帯や曜日で設定を変えるには (システムモード)

ecoモードを利用するには

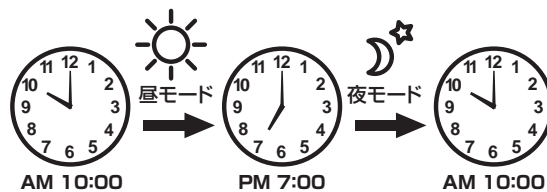
ecoモードでは、電話機のディスプレイやランプの表示を消し、電力消費を制限します。なお、ディスプレイに「eco」と表示してecoモード起動中であることをお知らせします。

営業時間や定休日などにあわせて自動的にecoモードを起動／解除することができます。また、利用者が不在となるときなど、内線電話機ごとに手動で一時的に起動することもできます。

<ecoモードと省電力モード>

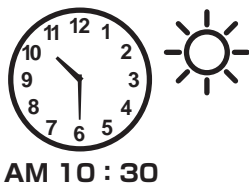
「システム設定」により、一定時間操作されないときにディスプレイやランプを消灯して節電をはかる省電力モードが利用できます。

ecoモードと省電力モードが同時に設定されている場合は、ecoモードが有効となります。



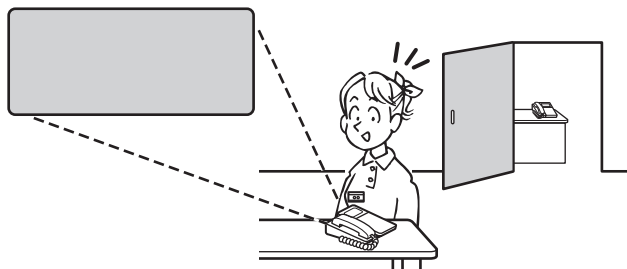
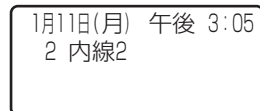
営業時間のAM10:00～PM7:00は省電力モードで運用
営業時間外のPM7:00以降はecoモードで運用

省電力モード



電話がかかると…

着信します。



ecoモード

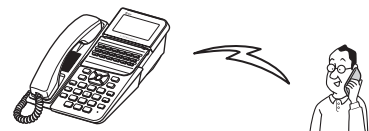
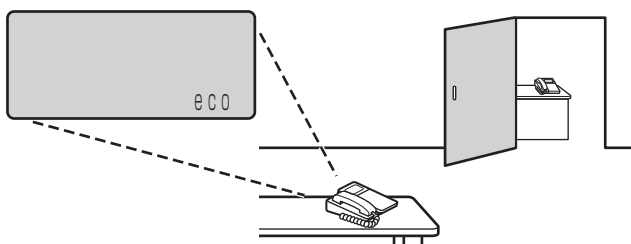


電話がかかると…

ecoモードのまま、ディスプレイやランプ表示がされません。電話をかけた方には、話中音が聞こえます。

<留守番電話が設定されている場合>
自動的に応答メッセージが流れます。

<転送電話が設定されている場合>
自動転送します。



ecoモードを手動で起動する

- 1 待機中に、機能ボタンを長く（2秒以上）押します。



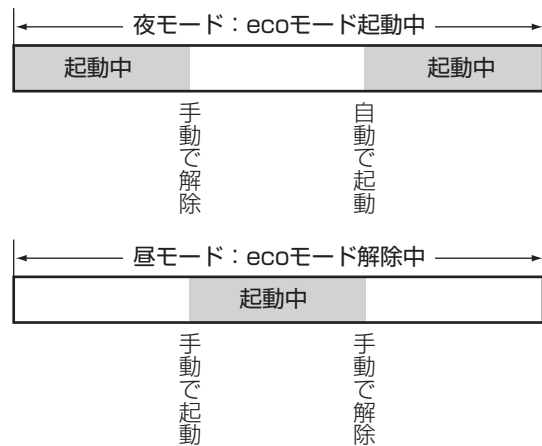
ecoモードが起動します。

ecoモードを自動で起動する

システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じて、内線電話機ごとにecoモードを自動起動することができます。（システムモード別ECOモード設定（P4-17））ecoモード起動中（自動起動）にecoモードを手動で解除した場合、待機状態となってから自動でecoモードに切り替えることができます。（ECOモード自動起動タイマ（P4-26））

ただし、ecoモード解除中にecoモード起動（手動起動）を行った場合、手動で解除するまでecoモードが継続します。

例) システムモードの夜モードで ecoモード起動、
昼モードで解除される場合



ワンポイント

- ecoモードを手動で解除するには
ecoモード動作中に、機能ボタンを長く（2秒以上）押します。またはハンドセットを取りあげます。



お知らせ

- 転送電話または留守番電話が設定されている内線電話機がecoモードとなった場合は、外線着信に対し転送電話または留守番電話が動作します。
- 不在着信転送設定がされている内線電話機がecoモードとなった場合は、不在着信転送設定は動作しません。

STOP お願い

- ecoモード動作中には、内線自動発報、威嚇音、遠隔音響モニタが動作しませんので、セキュリティサービスを利用する場合は、ecoモードの設定を解除してください。

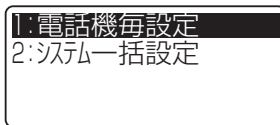
使用できる機能を制限するには (サービスロック)

内線電話機ごとに外線発信、電話帳アクセス、発着信履歴の読み出し、メニュー設定の各機能を規制することができます。サービスロックを利用するには、暗証番号の設定(☞P4-15)、サービスロック対象の設定が必要です。「システム設定」でサービスボタン(サービスロック)を設定しておく、サービスボタンを使ってサービスロックの起動/解除ができます。

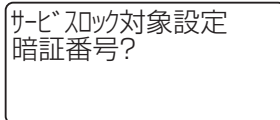
サービスロック対象を設定する

内線電話機ごとにサービスロックの対象となる機能を設定します。

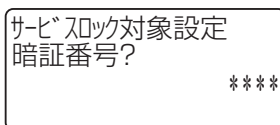
1 メニューボタンを押す。



2 ① ⑨ ② ② を押す。



3 暗証番号をダイヤルボタンで押す。



4 決定ボタンを押す。



5 ① ~ ④ を押し、サービスロックの対象にする機能を選択する。

- ① : 外線発信
- ② : 電話帳アクセス
- ③ : 発着信履歴読出
- ④ : メニュー設定

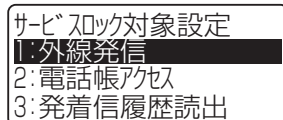


6 決定ボタンを押す。



7 ① を押し、決定ボタンを押す。

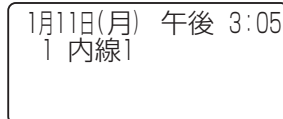
「ピッピッ」という確認音が聞こえ、サービスロック対象の設定が登録されます。



サービスロックの設定を解除するときは、④ を押しします。

続けて登録するときは、手順5から繰り返します。

8 クリアボタンを長く押す。

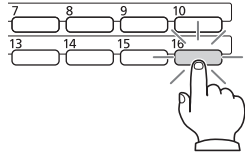


ワンポイント

- サービスロックの設定状態を確認するには
手順1 ~ 5の操作を行い、手順6の画面で「対象にする」、「対象にしない」のどちらが反転しているかを確認します。サービスロックが設定されている場合は、「対象にする」が反転しています。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は
Web設定や特番を使って暗証番号をお買い求め時の状態(0000)に戻すことができます。(☞P4-39、P6-5)

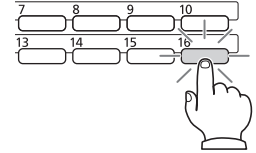
サービスロックを起動する

- 1 サービスボタン（サービスロック）を押す。
「ピッピッ」という確認音が聞こえます。
サービスロック中は、サービスボタン（サービスロック）ランプが赤く点灯します。

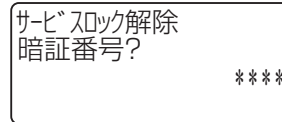


サービスロックを解除する

- 1 サービスボタン（サービスロック）を押す。



- 2 暗証番号をダイヤルボタンで押す。



- 3 決定ボタンを押す。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、サービスボタン（サービスロック）ランプが消え、サービスロックが解除されます。



お知らせ

- サービスロックが起動しているときは、サービスロック対象の設定はできません。
- サービスロックを起動すると

外線発信：

緊急番号を除き、外線への発信ができません。電話をかけようとする、話中音が聞こえます。ただし、自動応答サービスからの外線発信、転送電話、コールバック発信（システム内線発信／中継発信）は可能です。

電話帳アクセス：

電話帳の読み出し、登録、編集ができません。

発着信履歴の読み出し：

発着信履歴の読み出し、発着信履歴からの発信ができません。

メニュー設定：

メニュー操作、設定特番と、以下のダイヤル中特番、機能特番の操作ができません。特番操作を行おうとすると、話中音が聞こえます。

- ・ モード切替（自動／昼／夜／休憩／休日）
- ・ 転送先リスト登録
- ・ システム一括転送先リスト登録
- ・ 圏外時サービス設定
- ・ 暗証番号初期化
- ・ ブロードバンドルーターユニット暗証番号初期化
- ・ 着信転送起動／解除



ワンポイント

- 特番操作でサービスロックを起動するには

- ① 内線ボタンを押す
- ② サービスロック起動／解除の特番 (9) (4) (5) [] を押す
- ③ (1) を押す

- 特番操作でサービスロックを解除するには

- ① 内線ボタンを押す
- ② サービスロック起動／解除の特番 (9) (4) (5) [] を押す
- ③ (0) を押す
- ④ 暗証番号を押し、決定ボタンを押す

アナログ回線の対応状況

アナログ回線をお使いの場合は、スマートネットコミュニティαZX Home に接続された内線電話機で、当社のネットワークサービスを活用したさまざまな機能をご利用になることができます。各サービスをご利用になるには、当社との利用契約が必要です。

■ アナログのネットワークサービスを利用した機能（2023年6月現在）

サービス名	機能	利用の可/否	参照先
ナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	■P3-46
キャッチホン・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。外の相手の方とお話中に別の相手の方から電話がかかってきたとき、電話をかけてきた方の電話番号（発信電話番号）や電話番号を通知できない理由を表示することができます。	×	—
ナンバー・リクエスト	ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直して下さるよう、音声で伝えます。	○	—
でんわばん（不在案内）	不在時にかかってきた電話に対して、登録しておいたメッセージを伝えることができます。	○	—
キャッチホン（通話中着信）	外の相手の方とお話中に外から電話がかかってきたとき、フッキング操作で切り替えることができます。	○	■P3-51
トリオホン（簡易会議電話）	外の相手の方とお話中にいったん保留し、第三者を呼び出して三者間通話ができます。	×	—
ダイヤルイン	契約者回線番号の他に番号（ダイヤルイン追加番号）を追加して、外から特定の電話機を直接呼び出せるようにします。	○	■P3-54
ボイスワープ	かかってきた電話を自動的に別の電話に転送するだけでなく、いったん応答した電話を簡単な操作で別の番号へ転送したり、外から転送の開始/停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	—
迷惑電話おことわり	迷惑電話がかかってきた直後に、電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—

INSネット64の対応状況

ISDN回線をお使いの場合、スマートネットコミュニティαZX Home に接続された内線電話機では、INSネット64の基本サービスや付加サービス※を活用したさまざまな機能をご利用いただくことができます。なお、付加サービスをご利用になるには、別途当社との利用契約が必要です。

※INSネット64の詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

■ INSネット64の基本サービスを利用した機能（2023年6月現在）

サービス名	機能	利用の可／否	参照先
発信者番号通知	INSネット64を利用して電話をかけるとき、自分の電話番号を相手の方に通知する、または通知しないようにすることができます。	○	▶P3-48
料金情報通知	INSネット64で電話をかけたとき、お話しを終えて電話を切ると、INSネット64の通信料を表示することができます。	○	▶P4-24
ユーザ間情報通知	通信の開始時などに信号チャンネル（D）を通じて情報の送受信が行えます。送信された情報はそのまま相手へ送られます。	×	—
通信中機器移動	通信を一時中断して通信機器をコネクタから取り外し、同一のINSネット64上の他のコネクタに接続して、通信を再開することができます。同一種類の通信機器が複数あるときは、他の機器から通信を再開することができます。	×	—

■ INSネット64の付加サービスを利用した機能（2023年6月現在）

サービス名	機能	利用の可／否	参照先	
フレックスホン	通信中着信通知	外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたとき、簡単な操作で切り替えることができます。	○※1、2	—
	三者通話機能（ミキシングモード）	外の相手の方とお話し中に別の方を呼び出して、三者間で同時にお話しすることができます。	○※1	—
	三者通話機能（切替モード）	外の相手の方とお話し中に別の方を呼び出して、三者間で通話相手を切り替えてお話しすることができます。	×	—
	通信中転送機能	外からかかってきた電話を別の相手の方に転送することができます。	○※1	—
	着信転送機能	外からかかってきた電話を、主装置にあらかじめ登録してある他の電話番号に自動的に転送することができます。	○	—

※1：単体電話機、シングルラインコードレス電話機ではご利用できません。

※2：回線の使用状況によっては、通信中着信通知サービスが利用できないことがあります。

ご利用になれる各種ネットワークサービス

サービス名	機能	利用の可／否	参照先
通信中着信通知	お話し中にさらにINSネット64からの着信があると、「ピッピッ・ピッピッ…」という通知音が聞こえます。	○	—
発信専用制御	電話機からの操作により、契約者回線番号単位に着信を受けないようにすることができます。	○	■P3-53
INSダイヤルイン	契約者回線番号の他に番号（ダイヤルイン追加番号）を追加して、外から電話機を直接呼び出せるようにします。	○	■P3-54
INSでんわばん（不在案内）	不在時にかかってきた電話に対して、登録しておいたメッセージを伝えることができます。	○	—
INSナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	■P3-46
INSナンバー・リクエスト	INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直して下さるよう、音声で伝えます。	○	—
INSボイスワープ	かかってきた電話を自動的に別の電話に転送するだけでなく、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	■P3-55
転送元電話番号受信	ボイスワープなどにより、転送されてきた転送元の電話番号を着信者が受信できるようにするサービスです。どこの電話から転送されてきたのか、電話を受ける前に知ることができます。	○	—
INS迷惑電話おことわり	迷惑電話がかかってきた直後に電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—
i・ナンバー	契約している電話番号の他に番号（i・ナンバー追加番号）を追加して、特定の電話機を呼び出せるサービスです。	○	■P3-54

ひかり電話サービスの対応状況

フレッツ 光ネクストをお使いの場合、スマートネットコミュニティαZX Home に接続された内線電話機では、ひかり電話を活用したさまざまな機能をご利用いただくことができます。

なお、付加サービスをご利用になるには、当社との利用契約が必要な場合があります。

■ ひかり電話のサービスを利用した機能（2023年6月現在）

サービス名	機能	利用の可／否	参照先
複数チャンネル	同時に最大2回線分までの通話ができるサービスです。基本契約の1チャンネルに加え、最大99チャンネルの追加が可能です。	○	—
追加番号	「契約番号＋追加4電話番号」で最大5番号までの電話番号を利用できるサービスです。	○	—
ナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。	○	▶P3-46
ナンバー・リクエスト	電話番号を「通知しない」でかけてきた相手の方に、電話番号を通知してかけ直して下さるよう、音声で伝えます。	○	—
ボイスワープ	かかってきた電話を別の電話に転送するだけでなく、外から転送の開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	○	▶P3-55
キャッチホン	外の相手の方とのお話し中に別の相手の方から電話がかかってきたとき、簡単な操作で電話を切り替えることができます。	×	—
迷惑電話おことわりサービス	迷惑電話がかかってきた直後に、電話機からの登録操作を行うことにより、以降、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	○	—
FAXお知らせメール	ファクスがあったことを、あらかじめ指定したパソコンや携帯電話のメールへお知らせし、パソコンからファクス内容を確認することができるサービスです。	○	—
着信お知らせメール	電話があったことを、あらかじめ指定したパソコンや携帯電話のメールで確認することができるサービスです。	○	—
フリーアクセス・ひかりワイド	「0120」または「0800」で始まる電話番号にかかってきた通話料を、着信側でご負担いただけるサービスです。	○	—
特定番号通知	ナンバー・ディスプレイをご利用の方に対して、電話番号ではなく、ご契約のフリーアクセス・ひかりワイド番号を通知するサービスです。	○	—
高音質電話	フレッツ 光ネクストでご利用のひかり電話契約者どうしなら、高音質電話機能に対応した電話機を利用して、従来の固定電話よりも高音質で通話ができる機能です。	×	—
データコネクト	市外局番から始まる電話番号を利用して、セキュアで安定したデータ通信を実現するサービスです。	×	—

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用する

ナンバー・ディスプレイ（発信電話番号表示サービス）とは、かけてきた相手の方の電話番号を、応答する前に電話機等のディスプレイに表示するサービスです。アナログ回線、ISDN回線、VoIP回線、ひかり電話で、ご利用になれます。

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用すると、さまざまな機能を活用できます。

■ かけてきた方にこちらからかけ直す（着信履歴発信）

電話をかけてきた相手の方の電話番号（最大32桁）が、着信した内線電話機ごとに最新の52件分が保存されます（着信履歴）。応答しなかったときでも着信履歴は記録され、この電話番号を使って簡単な操作で電話をかけ直すことができます。（P2-12）

■ かけてきた方の電話番号や名前を電話帳に登録する（着信履歴）

着信履歴として記録されている電話番号や発信者名（会社名や名前）を、電話帳に登録することができます。（P2-13）

■ かけてきた方の電話番号によって着信を拒否する（着信拒否）

「システム設定」により、かけてきた方の電話番号により着信を拒否する発番号着信拒否機能が利用できます。発番号着信拒否は、かけてきた電話番号が共通電話帳と一致したときに有効となるので、メニュー設定またはWeb設定により、次の設定を行ってください。

- ① 「グループ着信先設定」（P4-18）を行って、グループごとの着信方法を「着信拒否」に設定する
- ② 相手の方の電話番号を共通電話帳の着信拒否グループに登録する（P3-2、P4-18）

登録は、お話し中に相手の方の電話番号を登録する、またはお話しが終わってから着信履歴で登録することができます。（P3-7）

■ 非通知の方の着信を拒否する（非通知着信拒否）（P3-49）

■ かけてきた方の電話番号によって着信先や着信方法を変える（発番号ダイヤルイン）

「システム設定」により、かけてきた方の電話番号により特定の内線電話機に着信したり、他の電話機に転送するなどの発番号ダイヤルイン機能が利用できます。発番号ダイヤルインは、かけてきた方の電話番号が共通電話帳と一致したときに有効となるので、メニュー設定またはWeb設定により、次の設定を行ってください。

- ① 「グループ着信先設定」（P4-18）を行ってグループごとの着信先や着信方法を設定する
- ② 相手の方の電話番号を共通電話帳に登録する際に、目的のグループに登録する（P3-2、P4-18）

■ かけてきた方の電話番号によって着信音を変える（電話帳鳴り分け）

着信音を聞くだけで、どの電話帳グループに登録されている方からかかってきたのかを識別できます。着信音で識別できるようにするには、あらかじめ相手の方の電話番号を「グループ毎鳴動設定」（P4-5）した電話帳に登録しておく必要があります。

■ かけてきた方の電話番号によって着信ランプの点滅色を変える

着信ランプの点滅色で、どの電話帳グループに登録されている方からかかってきたのかを識別できます。着信ランプで識別できるようにするには、あらかじめ相手の方の電話番号を「グループ着信ランプ設定」（P4-5）した電話帳グループに登録しておく必要があります。



お知らせ

- 停電時は、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した機能はすべてご利用になれません。

相手の方の電話番号を確認する

■ 着信中に相手の方の電話番号を表示させる

機能ボタンを押してから、着信中の外線ボタンを押すと、相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。電話帳に登録されている電話番号からの着信時には、電話帳に登録されている名前も表示されます。

電話帳に登録されている名称

1月11日(月) 午後 3:05
030000XXXX

鈴木 030000XXXX

■ 通話中に相手の方の電話番号を表示させる

通話中にクリアボタンを押すと、相手の方の電話番号が表示されます。電話帳に登録されている電話番号からの着信時には、電話帳に登録されている名前も表示されます。通話中表示に戻るときは、再度クリアボタンを押します。



ワンポイント

● 相手の方の電話番号が表示される条件と契約について

送信側と受信側が利用している回線の種類や契約内容によって、相手の方の電話番号が表示されるかどうかが決まります。

○：相手の方の電話番号が表示される
×：相手の方の電話番号が表示されない

		着信側 (スマートネットコミュニティαZX Home)					
		アナログ回線		ISDN回線		ひかり電話	
		ナンバー・ディスプレイ		INSナンバー・ディスプレイ		ナンバー・ディスプレイ	
		契約	非契約	契約	非契約	契約	非契約
発信側	アナログ回線	○	×	○	×	○	×
	ISDN回線、携帯電話	○	×	○	○	○	○
	VoIP回線、ひかり電話	○	×	○	×	○	×



ワンポイント

●相手の方の電話番号が表示されないときは

相手の方の操作や契約などによって電話番号が表示されない場合には、その理由ごとに次のように表示します。

ディスプレイ	理由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」や「発信者番号表示」を提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため、電話番号を通知できない場合に表示します。
受信エラー	一時的な回線の雑音などにより、データが正常に受信できなかったときに表示します。

●発信者番号通知サービスを利用すると

自分の電話番号を相手の方に通知することができます。発信者番号通知サービスの契約種別には、「通常通知」、「通常非通知」があります。

本サービス契約に加え「システム設定」により、内線電話機ごと、またはダイヤルイングループボタン（NK/NKG）ごとに、通知する／通知しない／省略（契約内容に従う）を設定することができます。

●自分の電話番号の通知する／通知しないを指定するには

電話番号の前に「184（通知しない）」または「186（通知する）」を付加してダイヤルすると、自分の電話番号を通知する／通知しないを指定することができます。発信者番号通知サービスのご契約の内容により、電話をかけるときの操作は以下のように異なります。

		自分の電話番号を通知するとき	自分の電話番号を通知しないとき
契約内容	通常通知 (通話ごと非通知)	相手の方の電話番号	①⑧④ + 相手の方の電話番号
	通常非通知 (回線ごと非通知)	①⑧⑥ + 相手の方の電話番号	相手の方の電話番号



お知らせ

- 外線ランプが赤く点灯しているときは、電話に出ることもかけることもできません。
- 同時に複数の着信があると、ディスプレイで確認した電話番号と異なる相手に応答することがあります。
- PBX（構内交換機）や他の通信機器などに收容されているときは、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用になれないことがあります。

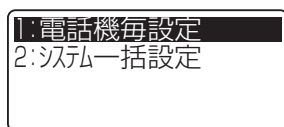
- ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用中は、着信音が聞こえるまでに時間がかかることがあります。
- 停電時は、ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用した機能はご利用になれません。
- 「184（通知しない）」または「186（通知する）」による指定は、「システム設定」よりも優先されます。

非通知着信拒否サービスを利用する

電話番号が通知されない場合、公衆電話からかかってきた場合、番号通知ができないエリアからかかってきた場合などは、拒否メッセージを流して着信を拒否するように設定することができます。電話番号が表示されない理由ごとに、着信を拒否するかどうかを設定できます。

非通知着信拒否を登録する

1 メニューボタンを押す。



2 ② ③ ④ を押す。



- 非通知 : かけてきた相手の方が、電話番号を表示しない操作または表示しない契約になっている場合
- 公衆電話 : 公衆電話からかかってきた場合
- 表示圏外 : 番号通知ができないエリアからかかってきた場合

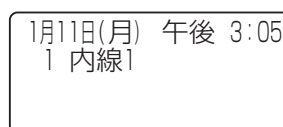
3 ① ~ ② を押し、着信拒否する種別を選択する。
 <例> 「0:非通知」を選択した場合



4 ① を押す。
 「ピッピッ」という確認音が聞こえ、着信拒否が登録されます。
 着信拒否をしない場合は、① を押します。
 続けて登録するときには、手順3 ~ 4を繰り返します。



5 クリアボタンを長く押す。





ワンポイント

- **特定の電話番号からの着信を拒否するには**
着信を拒否したい電話番号を共通電話帳に登録し、グループ選択時に「着信拒否」(P4-18)が設定されているグループを選択します。
- **着信拒否ガイダンスの内容**
 - <非通知の相手へのガイダンス>
 - ☞ 電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知してお掛け直してください。
 - <公衆電話、表示圏外の相手へのガイダンス>
 - ☞ 電話番号を通知できる電話機からお掛け直してください。



お知らせ

- 非通知着信拒否を利用するには、「システム設定」とナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- 非通知着信拒否を利用するには、ISDN回線、アナログ回線、VoIP回線、またはひかり電話をご使用ください。
- ご利用のサービスや着信拒否ガイダンスの設定によって、着信を拒否する相手に流す音が異なります。

回線	設定	流す音
ISDN回線 アナログ回線 VoIP回線 ひかり電話 (ダイヤルイン ご契約あり)	送出不しい	話中音
	送出する	ガイダンス
アナログ回線 (ダイヤルイン ご契約なし)	送出不しい	呼出音
	送出する	ガイダンス

- ガイダンス送出中の通話料は、着信を拒否する相手（電話をかけてきた方）に課金されます。

キャッチホンサービスを利用する

アナログ回線をお使いの場合にキャッチホンサービスを利用すると、外の相手の方とお話し中に外から電話がかかってきたときに簡単な操作で切り替えることができます。サービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。

お話し中にかかってきた電話に切り替える

- 1** 「キャッチホン」の着信音が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、フックボタンを押す。

1月11日(月) 午後 3:05
0-30



- 2** 2番目にかけてきた相手の方とお話する。
もう一度フックボタンを押すと、前の方とお話することができます。

1月11日(月) 午後 3:05
1-05



ワンポイント

フックボタンの操作方法には

「システム設定」により、フックボタンを押す操作を、機能ボタン、フックボタンの順に押す操作にすることができます。



お知らせ

- キャッチホンサービスをご利用になるとき以外で、通話中にフックボタンを押すと、電話が切れてしまいますのでご注意ください。

プッシュホンサービスを利用する (DP→PB切替)

DP回線をお使いの場合でも、電話で利用できる各種プッシュホンサービスをご利用になれます。

DP信号からPB信号に切り替える

1 DP回線をご使用の場合は、電話がつながったら **(#)** を押す。



PB回線、INSネット64、VoIP回線、およびひかり電話をご利用の場合は、**(#)** を押す必要はありません。

2 必要なダイヤルボタンを押す。



ワンポイント

- **プッシュホンサービスの種類**
 - ・フリーダイヤル／ナビダイヤルのガイダンス操作
 - ・留守番電話へのリモコン操作 など



お知らせ

- PB信号が送出できるときは、ディスプレイに「PB」と表示されます。
- フリーダイヤル／ナビダイヤル操作などの一部システムでは、サービスを利用できない場合があります。
- DP回線をご使用の場合、電話を切るとダイヤル信号に戻ります。
- DP→PB切替後に保留操作を行う場合は、ディスプレイに「PB」が表示されてから行ってください。

発信専用制御サービスを利用する

INSネット64の発信専用制御サービスを利用している場合は、INSネット64からの着信を受けないように設定することができます。

このサービスをご利用になるには、別途当社との利用契約が必要です。

発信専用制御を設定／解除する

1 内線ボタンを押す。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

1月11日(月) 午後 3:05
内線



2 機能ボタンを押す。

1月11日(月) 午後 3:05
内線
機能



3 発信専用制御設定／解除の特番 (9) (9) [] を押す。

発信専用モード
INS発信専用



4 スピーカボタンを押す。

発信専用制御が設定されます。
スピーカランプ、内線ランプが消えます。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線
INS発信専用



発信専用制御が解除された場合は、次のような表示になります。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線



ワンポイント

サービスボタンに「INS発信専用」の機能を割り当てると「システム設定」によってフレキシブルボタンにサービスボタン（INS発信専用）を割り当てると、手順1～4の代わりにサービスボタン（INS発信専用）を押すだけで、発信専用制御の設定／解除が行えます。発信専用制御を設定するとサービスボタン（INS発信専用）ランプが赤く点灯し、解除すると消えます。(P3-11)



お知らせ

●手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

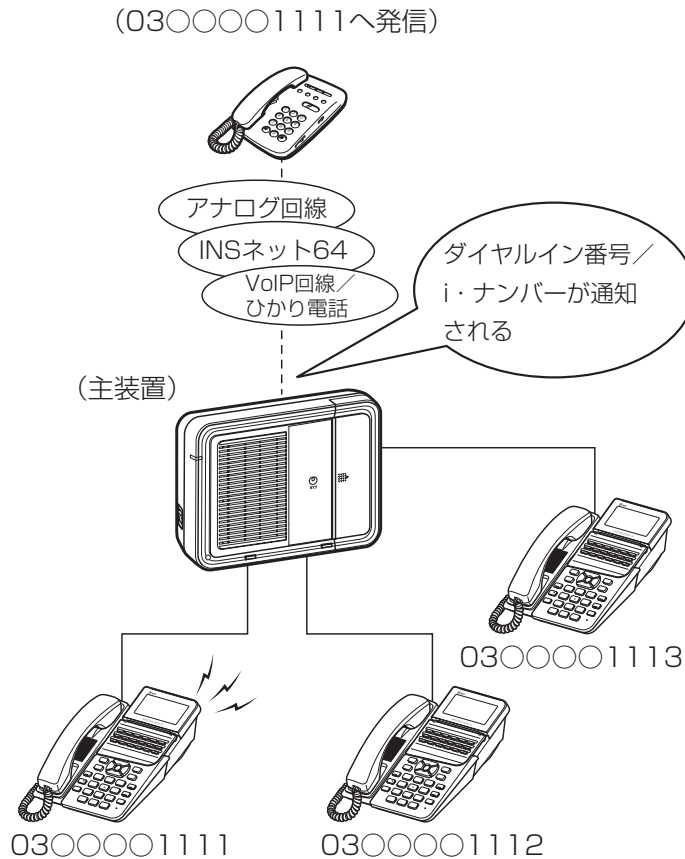
外から特定の電話機を呼び出す（ダイヤルインサービス／i・ナンバーサービス）

ダイヤルインサービス／i・ナンバーサービス（有料）を契約してダイヤルイン番号を指定すると、特定の電話機を呼び出すことができます。

■ダイヤルインサービス／i・ナンバーサービスを利用する

ダイヤルインサービス／i・ナンバーサービスをご契約になると、契約者回線番号とは別に複数の番号を持つことができます。ダイヤルイン番号／i・ナンバーを電話機ごとに割り当てることにより、外から特定の電話機を呼び出すことができます。また、ダイヤルイン番号／i・ナンバーを特定の外線ボタンに割り当てることもできます（ダイヤルイングループボタン（NK/NKG））。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。

- 1つの回線に03000001111、03000001112、03000001113のダイヤルイン番号／i・ナンバーを契約したとき



お知らせ

- ダイヤルイングループボタン（NK/NKG）では、不在着信転送（P3-13）の機能を利用することはできません。

ボイスワープを利用する

ボイスワープは、かかってきた電話をあらかじめ登録した電話番号に転送するサービスです。設定により、次のような転送が行えます。

- ・転送元の電話を呼び出さずに即時に転送する（無条件転送）
- ・転送元を呼び出し、応答しないときにだけ転送する（無応答時転送）
- ・お話し中のときにだけ転送する（話中時転送）

ボイスワープサービスは、アナログ回線、ISDN回線、またはひかり電話をお使いの場合にご利用になれます。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約が必要です。ボイスワープの詳細については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

ここでは、ひかり電話の転送先電話番号の登録操作と、転送の開始／停止操作について説明します。

ひかり電話のボイスワープの 転送先電話番号を登録する

転送先の電話番号を1つ登録する

転送先電話番号を1つだけ登録するときは、次のように操作します。（ボイスワープをご契約いただいている電話番号を通知番号に設定している場合）

- 1 外線ランプが消えていることを確認して外線ボタンを押し、**①** **④** **②** をダイヤルする。
以降は、ガイダンスに従って操作してください。
- 2 **②** をダイヤルする。
- 3 転送先電話番号に続けて **Ⓜ** をダイヤルする。
- 4 入力した電話番号を確認して **①** をダイヤルする。
- 5 スピーカボタンを押す。
スピーカランプ、外線ランプが消えます。

転送先の電話番号を複数登録する

複数の電話番号を登録するときは、リスト番号を指定して登録を行います。（ボイスワープをご契約いただいている電話番号を通知番号に設定している場合）

- 1 外線ランプが消えていることを確認して外線ボタンを押し、**①** **④** **②** をダイヤルする。
以降は、ガイダンスに従って操作してください。
- 2 **④** をダイヤルする。
- 3 **⑩** をダイヤルする。
- 4 転送先リスト番号 **②** ~ **④** のどれかをダイヤルする。
- 5 転送先電話番号に続けて **Ⓜ** をダイヤルする。
- 6 入力した電話番号を確認して **①** をダイヤルする。
- 7 スピーカボタンを押す。
スピーカランプ、外線ランプが消えます。



お知らせ

- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 転送先電話番号を登録するときは、あらかじめワンタッチボタンに電話番号を登録しておき、ワンタッチボタンを押すことでも入力できます。
- 転送先電話番号の最後のボタンを押してから約6秒経過するか、32桁まで入力すると、入力したデータが送信されます。
※ただし、32桁以下の入力でも、約6秒の時間経過を待たずデータ送信する場合があります。

転送先リストを指定する

転送先を変更するときは、次のように操作してリスト番号を指定します。(ボイスワープをご契約いただいている電話番号を通知番号に設定している場合)

- 1 外線ランプが消えていることを確認して外線ボタンを押し、**①** **④** **②** をダイヤルする。
以降は、ガイダンスに従って操作してください。
- 2 **④** をダイヤルする。
- 3 **①** をダイヤルする。
- 4 転送先リスト番号 **①** ~ **④** のうち、転送先に指定する番号をダイヤルする。
- 5 転送先の電話番号を確認して **①** をダイヤルする。
- 6 スピーカボタンを押す。
スピーカランプ、外線ランプが消えます。

ボイスワープの転送を開始／停止する

サービス番号をダイヤルボタンで押して、転送を開始／停止します。開始のサービス番号は、設定したい転送方法によって異なります。(ボイスワープをご契約いただいている電話番号を通知番号に設定している場合)

- 1 外線ランプが消えていることを確認して外線ボタンを押し、**①** **④** **②** をダイヤルする。
以降は、ガイダンスに従って操作してください。
- 2 次の番号をダイヤルする。
転送を開始する：**①** (続けて手順3の操作を行います)
転送を解除する：**②** (手順4に進みます)
- 3 転送条件を、次のうちから選んでダイヤルする。
無条件転送を設定する : **①**
無応答時転送を設定する : **②**
話中時転送を設定する : **③**
無応答時と話中時転送を設定する : **④**
- 4 スピーカボタンを押す。
スピーカランプ、外線ランプが消えます。



お知らせ

- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、外線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- 転送先電話番号は、交換センタに登録されるので、転送サービスをセット中に停電になっても、電話は転送されます。

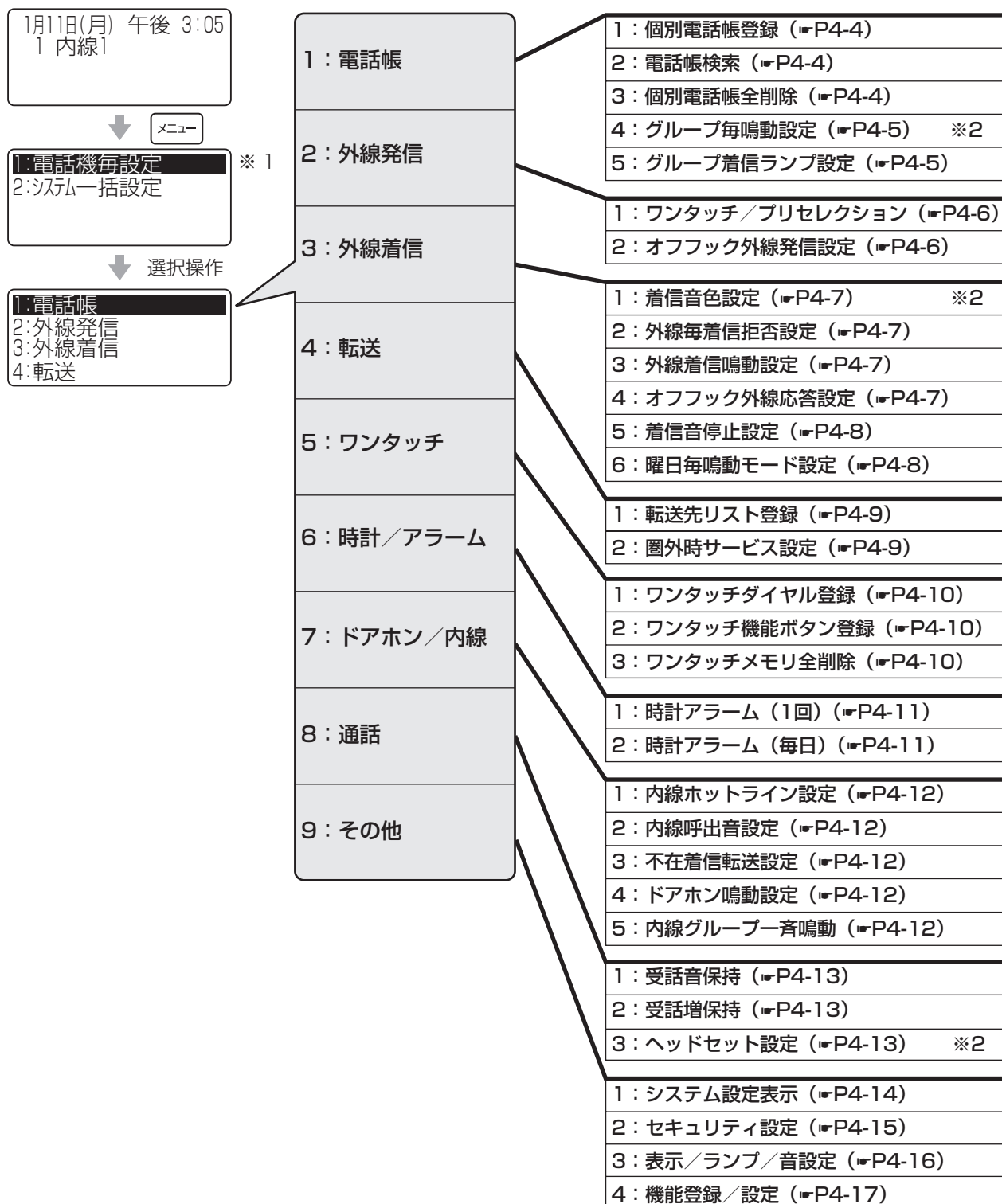
いろいろな機能を 登録・設定する

4

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)	4-2
パソコンを使って登録・設定するには (Web設定)	4-32
システム設定によりご利用になれる機能	4-40
主装置ソフトウェアを更新するには	4-42

内線電話機を使って登録・設定するには（メニュー設定）

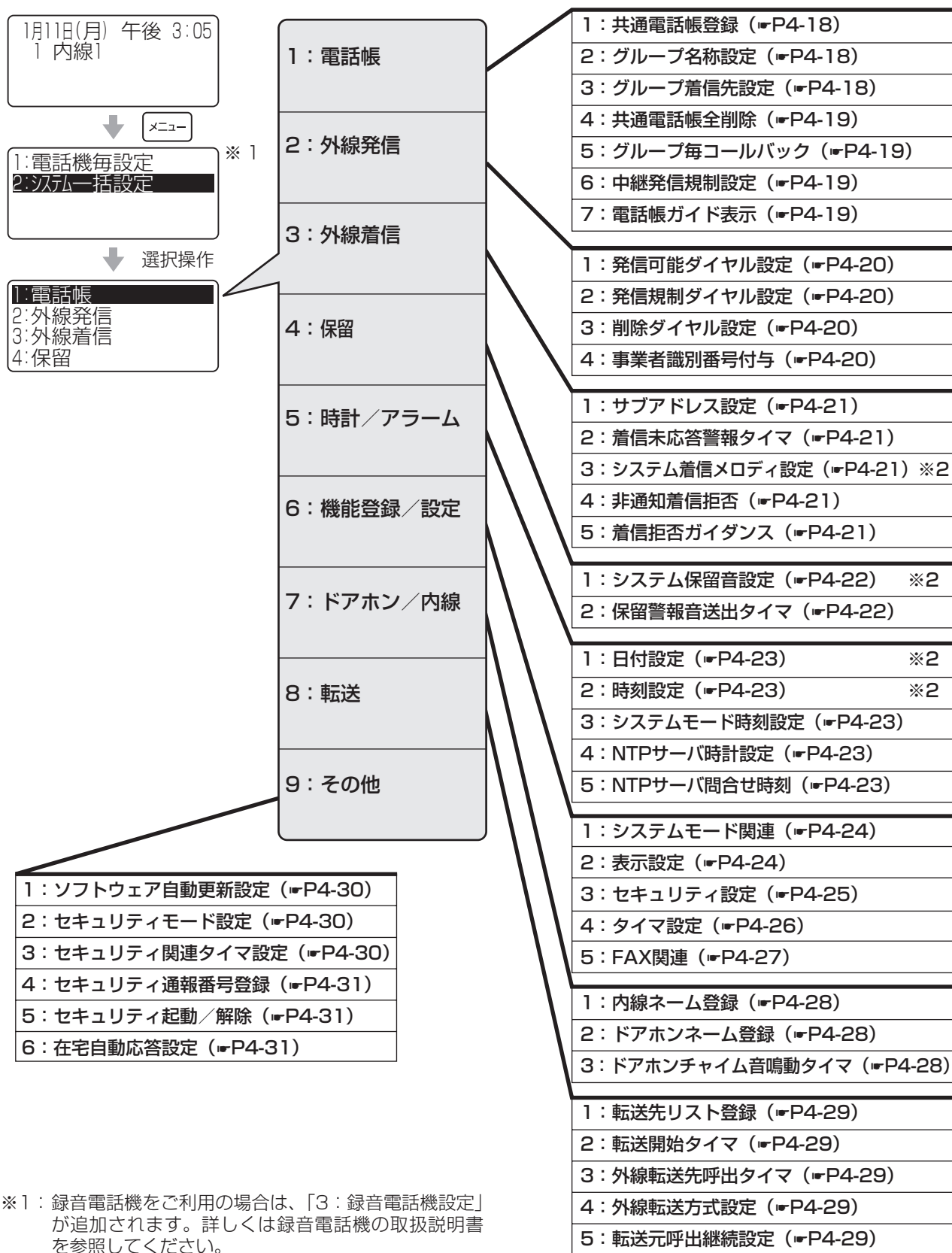
「1：電話機毎設定」から分岐するメニューは、内線電話機ごとの項目です。



※ 1：録音電話機をご利用の場合は、「3：録音電話機設定」が追加されます。詳しくは録音電話機の取扱説明書を参照してください。

※ 2：外線通話中は登録・設定が行えません。

「2：システム一括設定」から分岐するメニューは、システム全体に関する項目です。



※1：録音電話機をご利用の場合は、「3：録音電話機設定」が追加されます。詳しくは録音電話機の取扱説明書を参照してください。

※2：外線通話中は登録・設定が行えません。

4 つるつるな機能を登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定するには(メニュー設定)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

電話機毎設定

内線電話機ごとに行うメニュー設定です。項目を選択して目的のメニュー項目画面を表示させます。メニューの流れについては、内線電話機メニュー（P4-2）を参照してください。



 : お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
個別電話帳登録 (1 (1 (1 (1)) 名称入力 [漢] 機能	内線電話機ごとに使用する電話帳を登録する。	①名前を入力し、決定ボタンを押す ②必要に応じてフリガナを変更し、決定ボタンを押す ③「(未登録)」を選択し、決定ボタンを押す ④電話番号を入力し、決定ボタンを押す ⑤アイコンを選択し、決定ボタンを押す ⑥複数の電話番号を登録する場合は「(未登録)」を選択し、決定ボタンを押す（登録しない場合は手順⑧に進む） ⑦手順④～⑤を行う ⑧「GR 指定なし」を選択し、決定ボタンを押す ⑨グループを選択し、決定ボタンを押す ⑩保留ボタンを押す ⑪必要に応じてメモリ番号を入力し、決定ボタンを押す ※電話番号登録の詳細（P3-2）
電話帳検索 (1 (1 (2)) 電話帳検索 1: フリガナ検索 2: XFL番号検索 3: グループ検索	検索方法を選択して、電話帳を検索する。	<フリガナ検索する場合> ①検索方法（「1: フリガナ検索」）を選択する ②フリガナを入力し、上下ボタンを押す ③上下左右ボタンで目的の電話帳を選択し、決定ボタンを押す ④左右ボタンで電話番号を選択する ※電話帳検索の詳細（P2-6～）
個別電話帳全削除 (1 (1 (3)) 個別電話帳全削除 削除しない 削除する	操作中の内線電話機の個別電話帳をすべて削除する。	①「削除する」を選択する ②決定ボタンを押す

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
グループ毎鳴動設定 (11 11 4) グループ 毎鳴動設定 0 指定なし 1 グループ 1 2 グループ 2	電話帳グループごとに着信音を設定する。トーンは、8種類から選択できる。メロディを設定する場合は、スター電話機では、「システム着信メロディ設定」(P4-21)で設定されている内部音源メロディまたは外部音源から選択できる。	<特定の音色を設定しない場合> ①グループ (0～9) を選択する ②「0：設定しない」を選択する <トーンを設定する場合> ①グループ (0～9) を選択する ②「1：トーン」を選択する ③音色 (1～8) を選択する <メロディを設定する場合> ①グループ (0～9) を選択する ②「2：メロディ」を選択する ③メロディを選択する スター電話機： 「1：内部音源」 / 「2：外部音源」
グループ着信ランプ設定 (11 11 5) グループ 着信ランプ 設定 0 指定なし 1 グループ 1 2 グループ 2	電話帳グループ (0～9) ごとに着信ランプの点滅色を設定する。7種類の色、または7色に点滅する「レインボー」から選択できる。	①グループ (0～9) を選択する ②点滅色 (赤) を選択する



ワンポイント

- グループ毎鳴動設定のメロディは**
 以下の9種類で、システム着信メロディ設定で選択したメロディが鳴ります。(P4-21)
 メロディ 1：「グリーンスリーブス」
 メロディ 2：「峠の我が家」
 メロディ 3：「カノン」
 メロディ 4：「春の歌」
 メロディ 5：「主よ人の望みの喜びよ」
 メロディ 6：「メヌエット」
 メロディ 7：「JUPITER」
 メロディ 8：「アメイジング・グレイス」
 メロディ 9：「ドアホンチャイム音」
- メロディの選択操作時には**
 上下ボタンで曲を選択するごとにメロディがスピーカから流れます。
- グループ着信ランプ設定は**
 以下の8種類で、選択した着信ランプが点滅します。
 1：緑色、2：赤色、3：黄色、4：青色、5：水色、6：紫色、7：白色、8：レインボー

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



■ : お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
ワンタッチ/プリセクション (① ② ①) ワンタッチ/プリセクション選択 0: プリセクション捕捉 1: ワンタッチ捕捉	外線/内線ボタンを押すだけで回線を捕捉するワンタッチ捕捉、または外線/内線ボタンのあとオフフックが必要なプリセクション捕捉のどちらにするかを設定する。	①番号を選択する ②…プリセクション捕捉 ①…ワンタッチ捕捉
オフフック外線発信設定 (① ② ②) オフフック外線発信設定 0: 設定しない 1: 設定する	オフフックにより、「システム設定」で設定された外線/外線を捕捉する機能を設定する。	①番号を選択する ②…設定しない ①…設定する

1:電話機毎設定
2:システム一括設定



1:電話帳
2:外線発信
3:外線着信
4:転送



1:着信音色設定
2:外線毎着信拒否設定
3:外線着信鳴動設定
4:オフック外線応答設定
5:着信音停止設定
6:曜日毎鳴動モード設定

：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
着信音色設定 (1) (3) (1) 着信音色設定 内/外線ボタンを押下してください	外線/内線の着信音を設定する。トーンは、8種類から選択できる。メロディを設定する場合は、スター電話機では、「システム着信メロディ設定」(P4-21)で設定されている内部音源メロディまたは外部音源から選択できる。	<トーンを設定する場合> ①外線/内線ボタンを押す ②「1:トーン」を選択する ③音色(外線:トーン1、内線:トーン2)を選択する <メロディを設定する場合> ①外線/内線ボタンを押す ②「2:メロディ」を選択する ③メロディを選択する スター電話機: 「1:内部音源」/「2:外部音源」
外線毎着信拒否設定 (1) (3) (2) 外線毎着信拒否設定 外線ボタンを押下してください	ダイヤルイングループボタン(NK/NKG)を、一時的に着信拒否する。	①外線ボタンを押す ②番号を選択する <input type="radio"/> …設定しない <input checked="" type="radio"/> …設定する
外線着信鳴動設定 (1) (3) (3) 外線着信鳴動設定 0:昼モード 1:夜モード 2:休憩モード	システムモード「昼モード」/「夜モード」/「休憩モード」/「休日モード」別に、外線着信音を鳴らすかどうかを設定する。	①設定するモードを選択する ②外線ボタンを押す ③番号を選択する <input type="radio"/> …鳴動しない <input checked="" type="radio"/> …鳴動する
オフック外線応答設定 (1) (3) (4) オフック外線応答設定 0:設定しない 1:設定する	ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すだけで外線に応答する機能の利用を設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> …設定しない <input checked="" type="radio"/> …設定する

4
登録・設定する
いろいろな機能を

内線電話機を使って登録・設定をするには(メニュー設定)



ワンポイント

●着信音色設定のメロディは

- 以下の9種類で、システム着信メロディ設定で選択したメロディが鳴ります。(P4-21)
- メロディ 1:「グリーンスリーブス」
 - メロディ 2:「峠の我が家」
 - メロディ 3:「カノン」
 - メロディ 4:「春の歌」
 - メロディ 5:「主よ人の望みの喜びよ」
 - メロディ 6:「メヌエット」
 - メロディ 7:「JUPITER」
 - メロディ 8:「アメイジング・グレイス」
 - メロディ 9:「ドアホンチャイム音」





お知らせ

- 「外線毎着信拒否設定」をする場合は、「システム設定」で外線ボタンにダイヤルイングループボタン(NK/NKG)を割り当てておく必要があります。

内線電話機を使って登録・設定するには（メニュー設定）

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
着信音停止設定 (① ③ ⑤) 	外線／内線の着信音を鳴らさないようにする。 ※外線個別着信は対象外です。	①設定する項目を選択する ②番号を選択する ①…設定しない ①…設定する
曜日毎鳴動モード設定 (① ③ ⑥) 	曜日別に鳴動動作のタイムテーブル（最大8つ）を設定する。 ※鳴動動作は外線着信鳴動設定に従います。たとえば「昼モード」が「鳴動無し」の場合、本設定で「昼」を設定した時間帯は外線着信音が鳴りません。	①設定する曜日を選択する（「0：毎日」を選択した場合は、このあと決定ボタンを押す） ②時間帯の登録先（1～8）を入力する ③時刻（24時間制）を入力する ④鳴動モードを選択する ①…昼 ①…夜 ②…休憩 ③…休日 ⑤決定ボタンを押す

ワンポイント

●曜日毎鳴動モード設定の利用方法について

通常、内線電話機の鳴動動作は、システムモードに従って切り替わります。曜日毎鳴動モード設定を利用すると、システムモードより優先される鳴動動作を、電話機ごとに設定できます。登録は、曜日単位で行います。たとえば、システムモード時刻設定（■P4-23）と外線着信鳴動設定（■P4-7）により、次のように設定されているとします。

- ・毎日 10:00→すべての内線電話機が昼モード（鳴動する）に切り替わる
- ・毎日 19:00→すべての内線電話機が夜モード（鳴動しない）に切り替わる

このとき、1台の内線電話機のみ、月曜日の12:00～13:00に着信音が鳴らないように設定したい場合は、曜日毎鳴動モード設定で「1:月曜」にタイムテーブルを以下のように登録します。

- ① 12:00→「夜（鳴動しない）」
- ② 13:00→「昼（鳴動する）」
- ③ 19:00→「夜（鳴動しない）」

この場合に③の登録を行わないと、13:00からの「鳴動する」の状態が0:00（曜日が火曜日になる時刻）まで継続してしまいます。設定を行うときは、必ず翌日0:00までを含むタイムテーブルを登録するようご注意ください。

●曜日毎鳴動モード設定の設定操作について

「毎日」のタイムテーブルは、指定外のすべての曜日に適用されます。

たとえば土日以外（平日）に同じタイムテーブルを適用したいときは、「毎日」にタイムテーブル（平日用）を登録してから、「土曜」と「日曜」のタイムテーブルを変更してください。誤って「土曜」と「日曜」の登録のあと「毎日」の登録を行うと、「土曜」と「日曜」の登録内容が消去され、すべての日に「毎日」のタイムテーブルが適用されてしまいますのでご注意ください。また、手順①で「0：毎日」を選択して決定ボタンを押し、手順②～⑥を行うと、それ以前に特定の曜日に登録していたタイムテーブルがあった場合、登録内容はすべて消去されます。

●着信音停止設定を「設定する」にすると

着信ランプも点滅しなくなります。ただし、外線／内線ランプの点滅によって着信を確認して電話に応答することができます。

お知らせ

- 曜日毎鳴動モード設定は、ご利用のしかたによってはどの内線電話機も外線着信音が鳴らない時間帯が生じてしまう可能性がありますのでご注意ください。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
転送先リスト登録 (① ④ ①) 転送先電話番号登録 ①:電話番号1 ②:電話番号2 ③:電話番号3	転送電話を利用したときの、転送先電話番号を登録する。(P3-15)	①登録先を選択する ②転送先の電話番号を入力する ③決定ボタンを押す
圏外時サービス設定 (① ④ ②) 圏外時サービス設定 ①:設定しない ②:転送電話	内線電話機（コードレス電話機など）が圏外になったときの動作を設定する。(P3-19)	①番号を選択する <input type="radio"/> …設定しない <input type="radio"/> …転送電話

4
いろいろな機能を登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定するには（メニュー設定）

ワンポイント

●転送先リストの登録内容を消去するには (P3-15)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
ワンタッチダイヤル登録 (① ⑤ ①) ワンタッチダイヤル登録 ワンタッチダイヤルを押下して ください	ワンタッチボタンにワンタッチダイヤルを登録する。(P3-9)	①登録するワンタッチボタンを押す ②登録する電話番号を入力する ③手順①で押したワンタッチボタンを押す
ワンタッチ機能ボタン登録 (① ⑤ ②) ワンタッチ機能ボタン登録 サービスボタンを押下して ください	サービスボタンに登録する機能を選択する。(P3-11)	①登録するサービスボタンを押す ②登録する機能を選択する
ワンタッチメモリ全削除 (① ⑤ ③) ワンタッチメモリ全削除 削除しない 削除する	ワンタッチボタンの登録内容をすべて削除する。	①「削除する」を選択する ②決定ボタンを押す

1:電話機毎設定
2:システム一括設定



5:ワンタッチ
6:時計アラーム
7:ドアホン/内線
8:通話



1:時計アラーム(1回)
2:時計アラーム(毎日)

：お買い求め時の設定

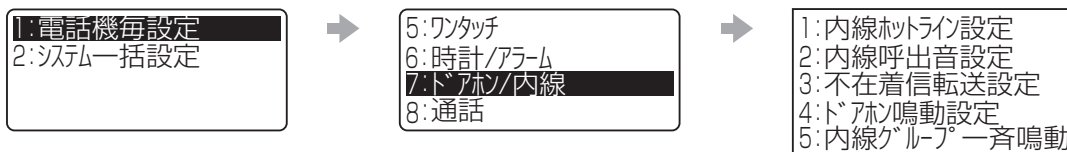
メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
時計アラーム (1回) (1) (6) (1) 	電話機のアラーム (1回のみ) をセットする。	①時刻 (24時間制) を入力する ②決定ボタンを押す
時計アラーム (毎日) (1) (6) (2) 	電話機のアラーム (毎日同時刻に繰り返す) をセットする。	①時刻 (24時間制) を入力する ②決定ボタンを押す



ワンポイント

- アラームを止めるには
アラームが鳴っているときにクリアボタンまたはスピーカボタンを押します。ハンドセットを取りあげても止めることができます。通話中にアラームが鳴ったときは、クリアボタンを押してください。
- アラームを解除するには
メニュー項目を選択してアラームの設定内容を表示させ、クリアボタンを長く押し、続けて決定ボタンを押します。

内線電話機を使って登録・設定するには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
内線ホットライン設定 (① ⑦ ①) 内線ホットライン設定 内線番号?	ハンドセットを取りあげる だけで呼び出せる内線電話 機を設定する。	<設定する場合> ①内線番号を入力する ②決定ボタンを押す <設定を解除する場合> ①クリアボタンを押して内線番号を消去する ②決定ボタンを押す
内線呼出音設定 (① ⑦ ②) 内線呼出音設定 0: トーン 1: 音声	トーン（信号音）／音声の どちらで内線着信するかを 設定する。	①番号を選択する ① トーン ① 音声
不在着信転送設定 (① ⑦ ③) 不在着信転送設定 転送先内線番号?	不在着信のときの転送先内 線番号を設定する。	<設定する場合> ①転送先の内線番号を入力する ②決定ボタンを押す <設定を解除する場合> ①クリアボタンを押して内線番号を消去する ②決定ボタンを押す
ドアホン鳴動設定 (① ⑦ ④) ドアホン鳴動設定 ドアホン番号(1-2)?	ドアホンからのチャイム音 を鳴らすかどうかを、ドア ホン（最大2台）ごとに設 定する。	①ドアホン番号を入力する ②決定ボタンを押す ③番号を選択する ① …鳴動しない ① …鳴動する
内線グループ一斉鳴動 (① ⑦ ⑤) 内線グループ一斉鳴動 0: 昼モード 1: 夜モード 2: 休憩モード	システムモード「昼モード」 ／「夜モード」／「休憩モー ド」／「休日モード」別に、 内線代表一斉呼出時、着信 音を鳴らすかどうかを設定 する。	①設定するモードを選択する ②番号を選択する ① …鳴動しない ① …鳴動する



お知らせ

- 「オフフック外線応答設定」(P4-7) を設定していると、外線着信中は内線ホットラインはご利用できません。

1:電話機毎設定
2:システム一括設定

5:ワンタッチ
6:時計/アラーム
7:ド・アホン/内線
8:通話

1:受話音保持
2:受話増保持
3:ヘッドセット設定

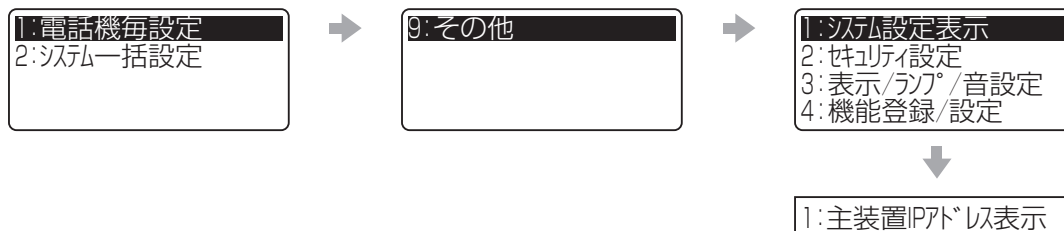
：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
受話音保持 (1 8 1) <input type="checkbox"/> 受話音保持 <input type="checkbox"/> 0:設定しない <input checked="" type="checkbox"/> 1:設定する	受話音量調節後の音量設定状態を、通話終了後も保持するかどうかを設定する。	①番号を選択する <input type="checkbox"/> …設定しない（保持しない） <input checked="" type="checkbox"/> …設定する（保持する）
受話増保持 (1 8 2) <input type="checkbox"/> 受話増保持 <input type="checkbox"/> 0:設定しない <input checked="" type="checkbox"/> 1:設定する	明瞭モード中の音量設定状態を、通話終了後も保持するかどうかを設定する。	①番号を選択する <input type="checkbox"/> …設定しない（保持しない） <input checked="" type="checkbox"/> …設定する（保持する）
ヘッドセット設定 (1 8 3) <input type="checkbox"/> ヘッドセット設定 <input type="checkbox"/> 0:設定しない <input checked="" type="checkbox"/> 1:設定する	ハンドセットの代わりにヘッドセットを使用するかどうかを設定する。	①番号を選択する <input type="checkbox"/> …設定しない（使用しない） <input checked="" type="checkbox"/> …設定する（使用する）

4
いろいろな機能を
登録・設定する

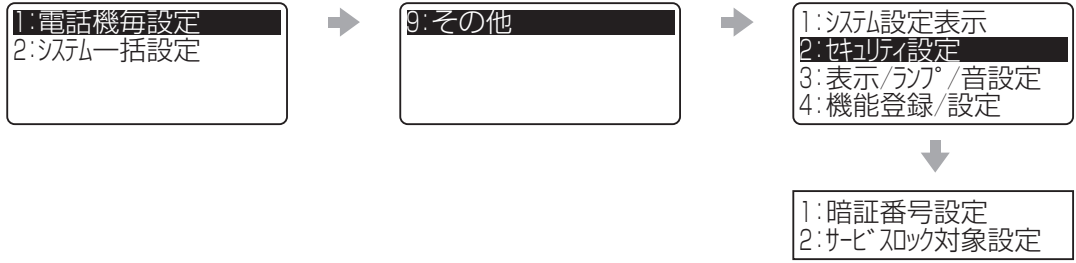
内線電話機を使って登録・設定するには（メニュー設定）

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
主装置IPアドレス表示 (1) (9) (1) (1) 主装置IPアドレス表示 192.168.1.10 ポート:80	主装置のIPアドレスを確認する。	—



：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
暗証番号設定 (1) (9) (2) (1) 暗証番号設定 旧暗証番号?	自動応答サービス、Web 設定、サービスロックを利用 するときなどの、電話機 ごとの暗証番号を登録す る。(4桁以内の数字)	①現在の暗証番号 (「0000」) を入力する ②決定ボタンを押す ③新しい暗証番号を入力する ④決定ボタンを押す ⑤再度新しい暗証番号を入力する ⑥決定ボタンを押す
サービスロック対象設定 (1) (9) (2) (2) サービスロック対象設定 暗証番号?	サービスロックの対象とな る機能を設定する。	①電話機ごとの暗証番号を入力する ②決定ボタンを押す ③機能を選択する ④番号を選択する <input type="radio"/> …対象にしない <input checked="" type="radio"/> …対象にする

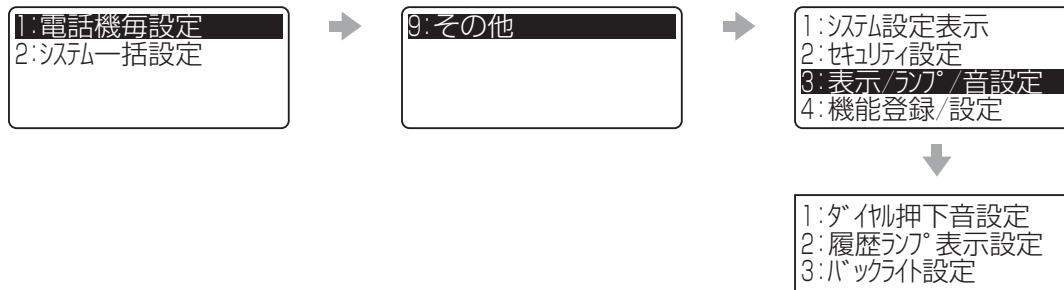
4
 いろいろな機能を
 登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)

お知らせ |||

●暗証番号は「なし」に設定できません。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

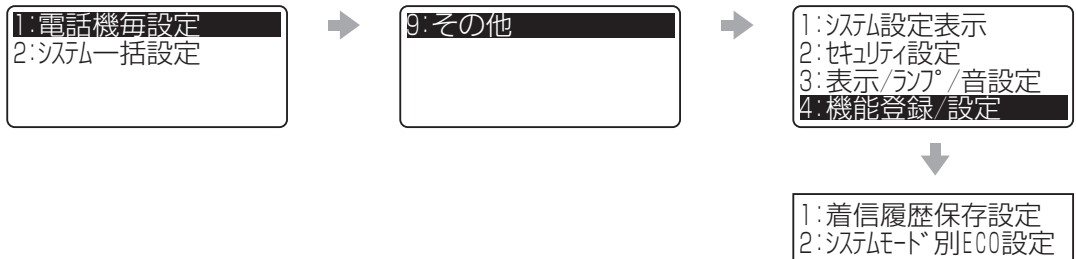


■ : お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
ダイヤル押下音設定 (① ⑨ ③ ①) ダイヤル押下音設定 0: 設定しない 1: 設定する	ダイヤル押下音を鳴らすかどうかを設定する。	①番号を選択する ⑨…設定しない（鳴らない） ①…設定する（鳴る）
履歴ランプ表示設定 (① ⑨ ③ ②) 履歴ランプ表示設定 0: 表示しない 1: 表示する	かかってきた電話に出なかったときに、着信履歴ランプを点滅（周期的に2回点灯）表示させてお知らせするかどうかを設定する。	①番号を選択する ⑨…表示しない ①…表示する
バックライト設定 (① ⑨ ③ ③) バックライト設定 0: 常時点灯 1: 常時点灯 2: 動作時点灯	ディスプレイの照明を点灯させるかどうかを設定する。操作時のみ点灯させる場合には、最後にボタンを押してから何秒後に消灯するかを設定する。	<常に点灯/消灯させる場合> ①「0: 常時点灯」または「1: 常時点灯」を選択する <操作時のみ点灯させる場合> ①「2: 動作時点灯」を選択する ②秒数（1～99）を入力する ③決定ボタンを押す

お知らせ

- 「システム設定」によって省電力モードの起動が設定されている場合は、内線電話機ごとのバックライト設定よりも優先されます。



■ : お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
着信履歴保存設定 (1) (9) (4) (1) 着信履歴保存設定 内/外線ホンを押下し てください	かけてきた方の電話番号や 着信日時などの情報を保存 するかどうかを設定する。	①外線/内線ボタンを押す ②番号を選択する <input type="radio"/> …保存しない <input checked="" type="radio"/> …保存する
システムモード別ECO設定 (1) (9) (4) (2) システムモード別ECOモード <input checked="" type="radio"/> : 昼 1: 夜 2: 休憩	システムモード (昼/夜/ 休憩/休日) 別に、ecoモ ードを設定する。	①システムモードを選択する ②番号を選択する <input type="radio"/> …解除 <input checked="" type="radio"/> …起動

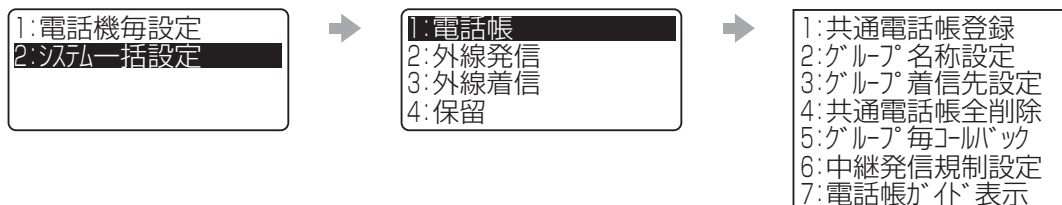
4
いろいろな機能を
登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定をするには (メニュー設定)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）

システム一括設定

システム全体についての設定です。項目を選択して目的のメニュー項目画面を表示させます。
メニューの流れについては、システム一括設定メニュー（P4-3）を参照してください。



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
共通電話帳登録 (2) (1) (1) 	すべての内線電話機で使用する電話帳を登録する。	※操作手順は個別電話帳登録（P4-4）と同様です。また、詳細は「電話帳を登録する」（P3-2）を参照してください。
グループ名称設定 (2) (1) (2) 	電話帳グループに名称を設定する。	①名称設定するグループ（0～9）を選択する ②名称を入力し、決定ボタンを押す
グループ着信先設定 (2) (1) (3) 	電話帳グループ（0～9）ごとに、着信先や応答方法を設定する。	<特に設定をしない場合> ①着信先を設定するグループ（0～9）を選択する ②「0：設定しない」を選択する <特定の内線電話を呼び出す場合> ①着信先を設定するグループ（0～9）を選択する ②「1：指定内線」を選択する ③内線番号を入力し、決定ボタンを押す <モード指定着信を設定する場合> ①着信先を設定するグループ（0～9）を選択する ②「2：モード指定着信」を選択する ③モードを選択する <自動応答サービスを設定する場合> ①着信先を設定するグループ（0～9）を選択する ②「3：自動応答サービス」を選択する ③内線番号を入力し、決定ボタンを押す <他の電話番号へ転送を設定する場合> ①着信先を設定するグループ（0～9）を選択する ②「4：転送電話」を選択する ③転送先リストのリスト番号を入力し、決定ボタンを押す <着信拒否を設定する場合>※ ①着信先を設定するグループ（0～9）を選択する ②「5：着信拒否」を選択する <外部トークでの応答を設定する場合> ①着信先を設定するグループ（0～9）を選択する ②「6：外部トーク」を選択する ③指定する外部トークを選択する ※お買い求め時は、グループ9（着信拒否）に「5：着信拒否」が設定されています。

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
共通電話帳全削除 (2) (1) (4) 共通電話帳全削除 <input type="checkbox"/> 削除しない <input checked="" type="checkbox"/> 削除する	登録されている共通電話帳をすべて削除する。	①「削除する」を選択する ②決定ボタンを押す
グループ毎コールバック (2) (1) (5) グループ 毎コールバック <input type="checkbox"/> 0 指定なし <input type="checkbox"/> 1 グループ 1 <input type="checkbox"/> 2 グループ 2	電話帳グループ (0～9) ごとに、コールバック着信時の動作を設定する。 (P3-26、P3-28)	①コールバックを設定するグループ (0～9) を選択する ②番号を選択する <input type="checkbox"/> 0…設定しない <input type="checkbox"/> 1…システム内線着信 (発信元に自動コールバックして通話する) <input type="checkbox"/> 2…中継発信 (ご自宅やお店 (システム設置所) を中継して発信元から外線発信できるようにする) <input type="checkbox"/> 3…自動応答サービス (リモコン操作により、内線電話機の呼び出しや外線発信などを行う)
中継発信規制設定 (2) (1) (6) 中継発信規制設定 <input type="checkbox"/> 0 指定なし <input type="checkbox"/> 1 グループ 1 <input type="checkbox"/> 2 グループ 2	中継発信の相手先として発信を許可するかどうかを、電話帳グループ (0～9) ごとに設定する。	①設定するグループ (0～9) を選択する ②番号を選択する <input type="checkbox"/> 0…規制しない <input type="checkbox"/> 1…規制する
電話帳ガイド表示 (2) (1) (7) 電話帳ガイド表示 <input type="checkbox"/> 0:ガイド表示しない <input checked="" type="checkbox"/> 1:ガイド表示する	内線電話機で電話帳を利用するときに、画面に操作ガイドを表示するかどうかを設定する。	①番号を選択する <input type="checkbox"/> 0…ガイド表示しない <input checked="" type="checkbox"/> 1…ガイド表示する

 **お知らせ** |||

- グループ着信先設定で、外部トークでの応答を設定するには、オプションの追装が必要です。オプションを追装せずに設定した場合は、トークのメッセージが聞こえず、無音状態になります。
- 中継発信規制設定を有効にするには、中継発信できる相手先を限定するための「システム設定」が必要です。(P4-40)

内線電話機を使って登録・設定するには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
発信可能ダイヤル設定 (2) (2) (1) 発信可能ダイヤル設定 電話番号 (01-40)?	発信を許可する電話番号 (最大10桁) を設定する。 ダイヤルした電話番号に、 登録されている番号と一致 する部分がないと発信でき ない。	①登録番号 (01 ~ 40) を入力する ②決定ボタンを押す ③電話番号を入力する ④決定ボタンを押す
発信規制ダイヤル設定 (2) (2) (2) 発信規制ダイヤル設定 電話番号 (01-40)?	発信を禁止する電話番号 (最大10桁) を設定する。 ダイヤルした電話番号に、 登録されている番号と一致 する部分があると発信でき ない。	①登録番号 (01 ~ 40) を入力する ②決定ボタンを押す ③電話番号を入力する ④決定ボタンを押す
削除ダイヤル設定 (2) (2) (3) 削除ダイヤル設定 電話番号 (01-20)?	発信規制のチェック対象か ら除外する番号 (最大6桁) を登録する。	①登録番号 (01 ~ 20) を入力する ②決定ボタンを押す ③電話番号を入力する ④決定ボタンを押す
事業者識別番号付与 (2) (2) (4) 事業者識別番号付与 0:自動付与しない 1:自動付与する	携帯電話に電話をかけると き、あらかじめ設定された 事業者識別番号の自動付与 をするかどうかを設定す る。	①番号を選択する <input type="radio"/> …自動付与しない <input type="radio"/> …自動付与する



：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
サブアドレス設定 (2) (3) (1) サブアドレス設定 内線 1 - 内線 2 - 内線 3 -	内線電話機にサブアドレスを設定する。	①設定する内線を選択する ②決定ボタンを押す ③サブアドレスを入力する ④決定ボタンを押す
着信未応答警報タイマ (2) (3) (2) 着信未応答警報タイマ (0-255) × 10秒? 0:警報なし	外線着信に対して一定の時間内に応答しなかったときに、着信音が警報音に切り替わるように設定する。	①時間 (0 (警報無し) ~ 255 [単位: × 10秒]) を入力する ②決定ボタンを押す
システム着信メロディ設定 (2) (3) (3) システム着信メロディ設定 0:グリーンスリーブス 1:味の我が家 2:カノン	着信音に使用したいメロディを設定する。 着信メロディを有効にするには、「グループ毎鳴動設定」(P4-5) または、「着信音色設定」(P4-7) で内部音源を選択する。	①着信メロディを選択する 0 … 「グリーンスリーブス」 1 … 「味の我が家」 2 … 「カノン」 3 … 「春の歌」 4 … 「主よ人の望みの喜びよ」 5 … 「メヌエット」 6 … 「JUPITER」 7 … 「アメイジング・グレイス」 8 … 「ドアホンチャイム音」 ②決定ボタンを押す
非通知着信拒否 (2) (3) (4) 非通知着信拒否 0:非通知 1:公衆電話 2:表示圏外	電話番号非通知の着信、公衆電話からの着信、表示圏外からの着信を拒否するかどうかを設定する。(P3-49)	①非通知着信拒否する項目を選択する ②番号を選択する 0 … 拒否しない 1 … 拒否する
着信拒否ガイダンス (2) (3) (5) 着信拒否ガイダンス 1:非通知着信拒否 2:発番号着信拒否	電話番号が非通知の着信または着信拒否する電話番号からの着信に対して、音声ガイダンスを送出するかどうかを設定する。(P3-50)	①「非通知着信拒否」または「発番号着信拒否」を選択する ②番号を選択する 0 … ガイダンス送出不しい 1 … ガイダンス送出手

4 いろいろな機能を登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)

お知らせ

- システム着信メロディ設定の操作でメロディ試聴しているときに着信中の内線電話機があると、その着信メロディも試聴中のメロディに切り替わりますのでご注意ください。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
システム保留音設定 (2) (4) (1) システム保留音設定 0:グリーンスリープス 1:峠の我が家 2:カノン	保留メロディを選択する。	①保留メロディを選択する ①…「グリーンスリープス」 ①…「峠の我が家」 ②…「カノン」 ③…「春の歌」 ④…「主よ人の望みの喜びよ」 ⑤…「メヌエット」 ⑥…「JUPITER」 ⑦…「アメイジング・グレイス」 ⑧…「外部音源」
保留警報音送出タイマ (2) (4) (2) 保留警報音送出タイマ タイマ (0-255) × 10秒? 0:警報なし	保留状態が続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する。	①時間 (0 (警報無し) ~ 255 [単位: × 10秒]) を入力する ②決定ボタンを押す



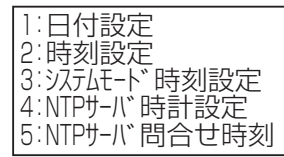
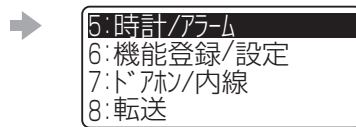
ワンポイント

- 保留メロディを試聴するには
「システム保留音設定」の操作の際には、上下ボタンで曲を選択することにメロディがスピーカから流れて試聴できます。試聴中に決定ボタンを押すと、メロディが止まります。



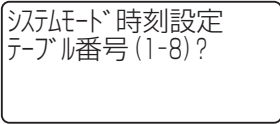
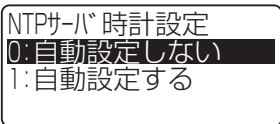
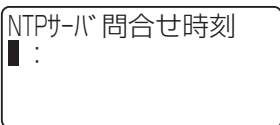


お知らせ

- 「システム保留音設定」の操作で保留メロディを試聴しているときに保留中の内線電話機があると、その保留メロディも試聴中のメロディに切り替わることがありますのでご注意ください。



：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
日付設定 (2) (5) (1) 	時計機能の日付を設定する。(P1-15)	①西暦の下2桁、月、日を入力する ②決定ボタンを押す
時刻設定 (2) (5) (2) 	時計機能の時刻を設定する。(P1-16)	①時刻 (24時間制) を入力する ②決定ボタンを押す
システムモード時刻設定 (2) (5) (3) 	システムモード切替時刻とモードをセットにしたタイムテーブル (最大8つ) を登録する。	①テーブル番号 (1 ~ 8) を入力する ②決定ボタンを押す ③時間帯の登録先 (1 ~ 8) を選択する ④時刻 (24時間制) を入力する ⑤モードを選択する <input type="radio"/> …昼 <input type="radio"/> …夜 <input checked="" type="radio"/> …休憩 <input type="radio"/> …休日 ⑥決定ボタンを押す
NTPサーバ時計設定 (2) (5) (4) 	NTPサーバーを使って日付・時刻を自動設定する。(P1-16)	①番号を選択する <input checked="" type="radio"/> …自動設定しない <input type="radio"/> …自動設定する
NTPサーバ問合せ時刻 (2) (5) (5) 	NTPサーバーへの問合せ時刻を設定する。	①時刻 (24時間制) を入力する ②決定ボタンを押す

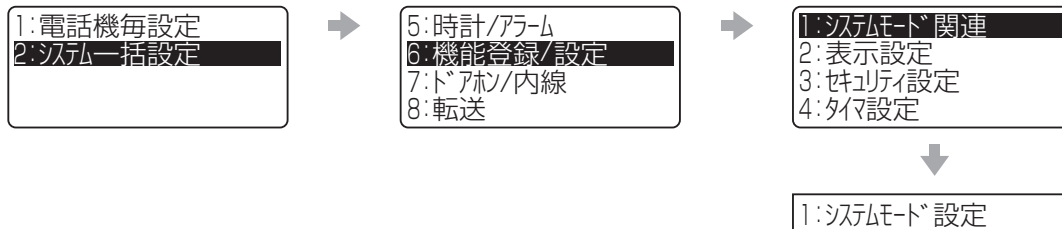
4
いろいろな機能を登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)

 **お知らせ** |||

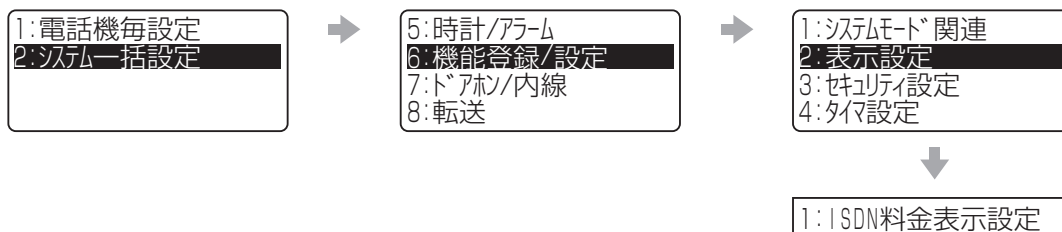
- 「日付設定」と「時刻設定」は、他の人が外線を使用しているときは、設定できません。
- NTPサーバ問合せ時刻は、本商品の設置工事時に日付・時刻を設定すると、00:00 ~ 3:59の間に設定されます。
- NTPサーバの問合せ時刻に外線を使用しているときは、日付・時刻は更新されません。翌日NTPサーバの問合せ時刻に改めて問合せが行われます。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



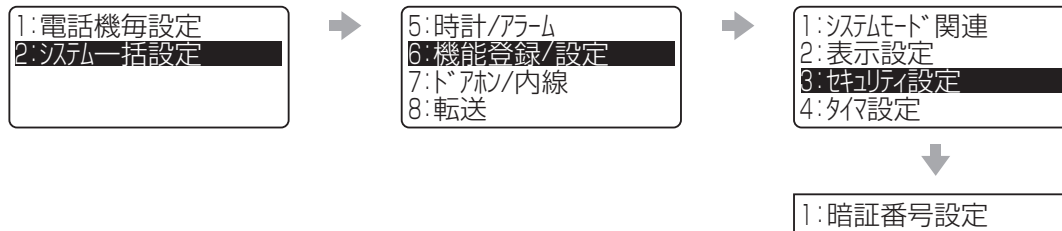
：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
システムモード設定 (2) (6) (1) (1) システムモード設定 0:自動 1:昼モード 2:夜モード	システムモード（昼/夜/休憩/休日）を切り替える。	①システムモードを選択する 0:…自動 1:…昼モード 2:…夜モード 3:…休憩モード 4:…休日モード



：お買い求め時の設定

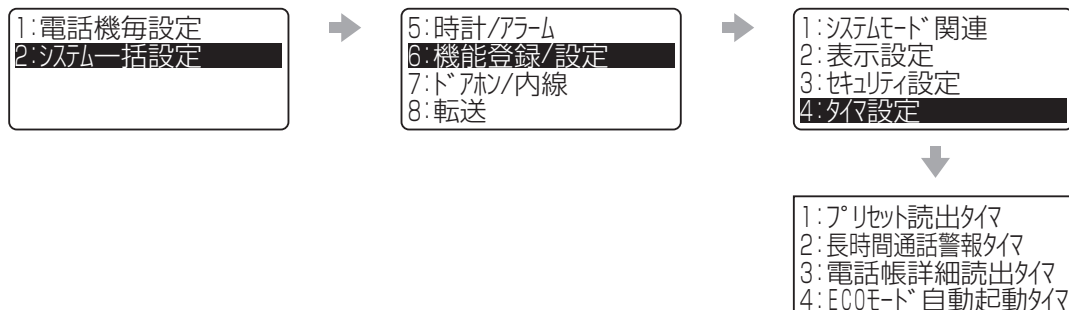
メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
ISDN料金表示設定 (2) (6) (2) (1) ISDN料金表示設定 0:設定しない 1:設定する	INSネット64で電話をかけたときの料金表示の設定を行う。	①番号を選択する 0:…設定しない 1:…設定する



：お買い求め時の設定

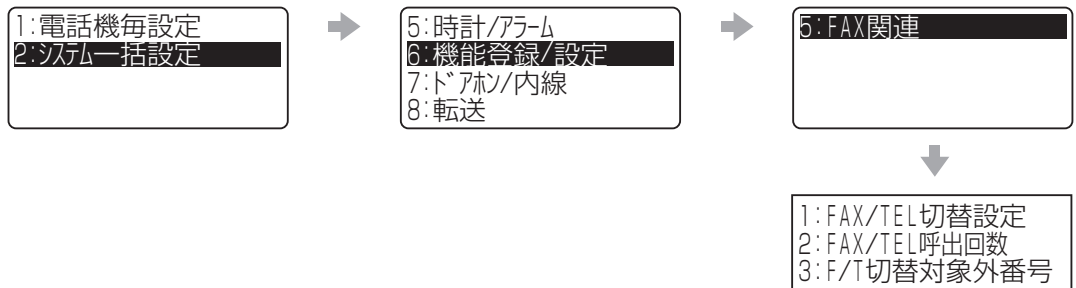
メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
暗証番号設定 (2) (6) (3) (1) 暗証番号設定 旧暗証番号?	外線転送時の暗証番号を設定する。	①現在の暗証番号 (「0000」) を入力する ②決定ボタンを押す ③新しい暗証番号を入力する ④決定ボタンを押す ⑤再度新しい暗証番号を入力する ⑥決定ボタンを押す

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



■ : お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
プリセット読出タイマ (2) (6) (4) (1) プリセット読出タイマ タイマ (1-30) 秒? 6	プリセットダイヤル/電話帳ダイヤル/発信・着信履歴の表示を継続する秒数を設定する。	①秒数（1～30）（ 6秒 ）を入力する ②決定ボタンを押す
長時間通話警報タイマ (2) (6) (4) (2) 長時間通話警報タイマ タイマ (0-255) ×10秒? 0: 警報なし 0	通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する。最初の警報音が鳴ったあとは、3分ごとに警報音が鳴る。	①時間（0（警報無し）～255 [単位：×10秒]）を入力する ②決定ボタンを押す
電話帳詳細読出タイマ (2) (6) (4) (3) 電話帳詳細読出タイマ タイマ (1-30) 秒? 30	電話帳詳細画面の表示を継続する秒数を設定する。	①秒数（1～30）（ 30秒 ）を入力する ②決定ボタンを押す
ECOモード自動起動タイマ (2) (6) (4) (4) ECOモード自動起動タイマ タイマ (1-60) ×10秒? 1	自動起動でecoモード起動中に手でeco解除した場合、再度ecoモードを起動するまでの時間を設定する。	①時間（1～60 [単位：×10秒]）（ 1(10秒) ）を入力する ②決定ボタンを押す



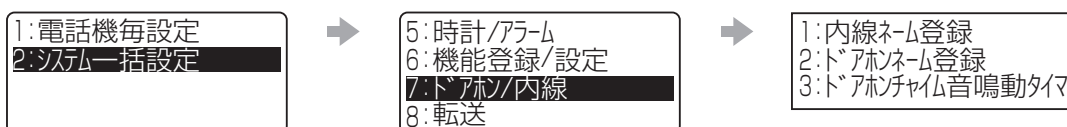
■ : お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
FAX/TEL切替設定 (2) (6) (5) (1) FAX/TEL切替設定 0:設定しない 1:FAX/TEL切替 2:FAX自動転送	ファクスが送られてきたときに、ファクスへの転送を自動的にを行う機能を設定する。	①番号を選択する 0...設定しない 1...FAX/TEL切替 2...FAX自動転送 3...両サービス設定
FAX/TEL呼出回数 (2) (6) (5) (2) FAX/TEL呼出回数 回数 (3-30)? 20	ファクスが応答しなかった場合に自動的に外線を切断するまでの呼び出し回数を設定する。	①呼び出し回数 (3 ~ 30) (20 回) を入力する ②決定ボタンを押す
F/T切替対象外番号 (2) (6) (5) (3) F/T切替対象外番号 電話番号 (01-20)?	FAX/TEL切替をしない電話機を設定する。	①登録番号 (01 ~ 20) を入力する ②決定ボタンを押す ③電話番号または番号帯を入力する ④決定ボタンを押す

4
いろいろな機能を
登録・設定する

内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
内線ネーム登録 (2) (7) (1) 内線ネーム登録 内線番号?	着信履歴などに表示させる内線電話機ごとの名称を登録する。(P3-12)	①内線番号を入力する ②決定ボタンを押す ③名称（内線1～8）を入力する ④決定ボタンを押す
ドアホンネーム登録 (2) (7) (2) ドアホンネーム登録 ドアホン番号(1-2)?	ドアホン着信のときなどに表示させるドアホン名称を登録する。	①ドアホン番号（1～2）を入力する ②決定ボタンを押す ③名称（ドアホン1～2）を入力する ④決定ボタンを押す
ドアホンチャイム音鳴動タイム (2) (7) (3) ドアホンチャイム音鳴動タイム タイム(1-255)秒? <div style="text-align: right;">10</div>	ドアホンのチャイム音が鳴動する時間を設定する。	①秒数（1～255）(10秒)を入力する ②決定ボタンを押す



お知らせ

- 「ドアホンチャイム音鳴動タイム」の設定は、カラーカメラドアホンをご利用の場合は変更しないでください。
- 「ドアホンネーム登録」や「ドアホンチャイム音鳴動タイム」の設定は、オプションのドアホンを接続していない場合は無効です。
- カールコードレス電話機をご利用の場合は、「ドアホンネーム登録」の名称を入力するときに最初の5文字の「ドアホン」を変更しないでください。

1:電話機毎設定
2:システム一括設定



5:時計/アラーム
6:機能登録/設定
7:ド・アホン/内線
8:転送



1:転送先リスト登録
2:転送開始タイマ
3:外線転送先呼出タイマ
4:外線転送方式設定
5:転送元呼出継続設定

：お買い求め時の設定

メニュー項目 (メニュー番号)	概要	登録・設定操作
転送先リスト登録 (2) (8) (1) 転送先リスト登録 リスト番号 (01-20)?	「電話帳グループ転送」や「システムモード転送」の転送先電話番号を登録する。	①リスト番号 (01 ~ 20) を入力する ②決定ボタンを押す ③登録先を選択する ④転送先の電話番号を入力する ⑤決定ボタンを押す
転送開始タイマ (2) (8) (2) 転送開始タイマ 外線ボタンを押下してください	着信から転送を開始するまでの秒数を設定する。	①外線ボタンを押す ②秒数 (0 (即時転送) ~ 255) (5秒) を入力する ③決定ボタンを押す
外線転送先呼出タイマ (2) (8) (3) 外線転送先呼出タイマ 外線ボタンを押下してください	転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定する。	①外線ボタンを押す ②秒数 (6 ~ 100) (30秒) を入力する ③決定ボタンを押す
外線転送方式設定 (2) (8) (4) 外線転送方式設定 0:同時転送 1:順次転送	転送先リストの電話番号への発信を、同時/順次のどちらの方法で行うかを設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> …同時転送 <input checked="" type="radio"/> …順次転送
転送元呼出継続設定 (2) (8) (5) 転送元呼出継続設定 0:設定しない 1:設定する	転送元の呼び出しを、外線転送後も継続するかどうかを設定する。	①番号を選択する <input type="radio"/> …設定しない (継続しない) <input checked="" type="radio"/> …設定する (継続する)

4
いろいろな機能を
登録・設定する

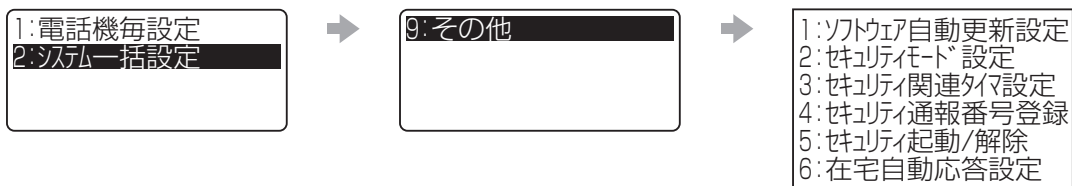
内線電話機を使って登録・設定するには (メニュー設定)



ワンポイント

- 転送先リストの登録内容を消去するには
転送先リスト登録の手順③で内容を消去する転送先リストを選択し、クリアボタンを押して電話番号を消去して決定ボタンを押します。

内線電話機を使って登録・設定をするには（メニュー設定）



：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
ソフトウェア自動更新設定 (2) (9) (11) 主装置ソフトウェア更新設定 0: 自動更新 1: 手動更新 2: 無効	主装置ソフトウェア更新が必要かどうかのチェックや、最新ソフトウェアのダウンロードを自動で行うかどうかを設定する。	①番号を選択する 0: …自動更新 1: …手動更新（最新ファーム通知のみ） 2: …無効（自動では行わない）
セキュリティモード設定 (2) (9) (2) セキュリティモード設定 1: セキュリティ内線発報 2: セキュリティ外線発報 3: セキュリティ内外発報	セキュリティサービスの検知信号を受信したときの動作を設定する。	<検知信号受信時の内線発報を設定する場合> ①「1：セキュリティ内線発報」を選択する ②番号を選択する 0: …しない 1: …する <検知信号受信時の外線発報を設定する場合> ①「2：セキュリティ外線発報」を選択する ②番号を選択する 0: …しない 1: …する <検知信号受信時の内外発報を設定する場合> ①「3：セキュリティ内外発報」を選択する ②番号を選択する 0: …しない 1: …する
セキュリティ関連タイマ設定 (2) (9) (3) セキュリティ関連タイマ設定 1: センサ監視開始タイマ 2: セキュリティ通報開始タイマ 3: 自動威嚇音開始タイマ	セキュリティサービスの各種動作を起動するタイミングを設定する。	<起動から監視開始までの秒数を設定する場合> ①「1：センサ監視開始タイマ」を選択する ②秒数（1～255）（180秒）を入力する ③決定ボタンを押す <検知信号受信から通報開始までの秒数を設定する場合> ①「2：セキュリティ通報開始タイマ」を選択する ②秒数（1～255）（30秒）を入力する ③決定ボタンを押す <検知信号受信から自動威嚇音の送出開始までの秒数を設定する場合> ①「3：自動威嚇音開始タイマ」を選択する ②秒数（1～255）（30秒）を入力する ③決定ボタンを押す



●最新ソフトウェアの更新を行わないと、本来の機能・性能を発揮できない場合があります。

：お買い求め時の設定

メニュー項目（メニュー番号）	概要	登録・設定操作
セキュリティ通報番号登録 (2) (9) (4) セキュリティ通報番号登録 1:電話番号1 2:電話番号2 3:電話番号3	検知信号を受信したときの 通報先電話番号を登録す る。	①登録先を選択する ②通報先の電話番号を入力する ③決定ボタンを押す
セキュリティ起動／解除 (2) (9) (5) セキュリティ起動／解除 0:セキュリティサービス解除 1:セキュリティサービス起動	セキュリティサービスを起 動／解除する。	<解除する場合> ①「0：セキュリティサービス解除」を選択する ②セキュリティ暗証番号を入力する ③決定ボタンを押す <起動する場合> ①「1：セキュリティサービス起動」を選択する
在宅自動応答設定 (2) (9) (6) 在宅自動応答設定 0:自動応答しない 1:自動応答する	外からの電話に50秒間 だれも応答しなかった場 合に、自動応答サービス (P3-31) を利用できる ようにするかどうかを設定 する。	①番号を選択する <input type="radio"/> …自動応答しない <input type="radio"/> …自動応答する

パソコンを使って登録・設定をするには (Web設定)

主装置にLAN接続したパソコンでWebブラウザを起動し、パソコンの画面を見ながらさまざまな項目を登録・設定する「Web設定」が行えます。

Web設定を行うパソコンは、次の条件を満たす必要があります。

条件を満たしていない場合には、正しく動作しないことがありますのでご注意ください。

項目	条件
OS	Windows® 10 / Windows® 11
CPU	OSの推奨スペック 1GHz以上推奨
表示	SVGA (800×600ドット) 以上
LAN	10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T対応のLANカード/ボード
ブラウザ	Chromium版Edge
RAM	128MB以上 (256MB以上推奨)
HDD	100MB以上の空き領域

主装置と接続する

パソコンでブラウザを起動し、ログインID（内線番号）と暗証番号を入力してログインします。

- ① パソコンでChromium版 Edgeを起動する。
- ② [アドレス] ボックスに主装置のIPアドレスを入力し [Enter] を押す。
ログイン画面が表示されます。



- ③ ログインID（内線番号）を入力する。
ここで入力したログインID（内線番号）の電話機についての「電話機毎ユーザデータ設定」と、システム全体についての「システム一括ユーザデータ設定」を行うことができます。
別の電話機について「電話機毎ユーザデータ設定」を行う場合は、別のログインID（内線番号）でログインし直す必要があります。
- ④ 暗証番号を入力する。
お買い求め時の暗証番号は、「0000」に設定されています。

- ⑤ [ログイン] ボタンをクリックする。
画面の左側のエリアに、設定項目（電話機毎ユーザデータ設定、システム一括ユーザデータ設定）が表示されます。初回ログイン時は、暗証番号を初期値から変更する必要があります。（▶P4-33）
- ⑥ 設定項目の左側の「+」をクリックする。
「+」をクリックするとツリーメニュー（設定区分、分類）が展開されます。（▶P4-36、P4-38）
「-」をクリックすると元に戻ります。
- ⑦ 目的の分類をクリックする。
クリックした分類の設定画面が表示されます。画面下には、設定画面の説明が表示されます。
- ⑧ 設定を行う。



ツリーメニュー

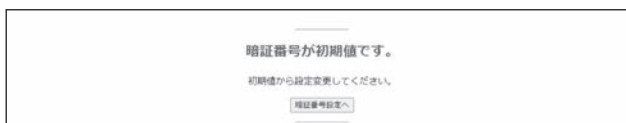
設定画面の説明

- [+] : ツリーメニューを展開
[-] : ツリーメニューを閉じる

初期パスワードを変更する

暗証番号を初期値でログインした場合は、必ず暗証番号の変更を行い、変更した暗証番号で再ログインして、Web設定を行ってください。

暗証番号を初期値でログインすると、以下の画面が表示されます。



① [暗証番号設定へ] ボタンをクリックする。



② 新しい暗証番号（4桁以内の数字）を2回入力し、[設定] ボタンをクリックする。

以下の画面が表示されると、設定完了です。続けてWeb設定を行う場合は、再度ログインしてください。



ワンポイント

●Web設定のデータ編集を中止するには

[元に戻す] ボタンをクリックすると、編集前の設定状態に戻ります。また、[設定] ボタンをクリックする前に次の操作を行った場合には編集結果は反映されません。

- ・他のページへ移動
- ・ブラウザを終了

●Web設定を終了するには

ブラウザを終了します。

●「保守」の項目について

Web設定には「ユーザデータ設定」の他に、機器接続確認など（PING送信、主装置再起動およびソフトウェア更新）を行うための「保守」の操作があります。



お知らせ

- パソコンを主装置とLAN接続するには、販売店へご相談ください。
- お買い求め時の主装置のIPアドレス、サブネットマスクは、下記のように設定されています。
IPアドレス : 192.168.1.10
サブネットマスク: 255.255.255.0
「システム設定」によりお客様のネットワーク環境に合わせて変更することができます。
- ネットワークの状態などにより、ページの読み込みがうまくいかない場合があります。その場合は、もう一度同じ操作をするか、再度ログインし直して作業を続けてください。
- 主装置のIPアドレス/CallHist.html (初期値: 192.168.1.10/CallHist.html) を入力してログインするとWeb通話履歴を表示できます。

ユーザデータ設定項目を登録・設定する

ユーザデータの登録・設定を行います。ここでは、個別電話帳編集とワンタッチダイヤル編集を例に説明します。

個別電話帳編集

共通電話帳も同様の操作で登録・設定できます。

主装置に登録されている電話帳データをテキスト (CSV) ファイルとしてパソコンへ読み出すときにクリックします。

表示する電話帳の範囲をドロップダウンリストから選択します。

主装置から読み出す

主装置へ書き込む

全削除

新規作成

設定画面を隠す

パソコンで編集した電話帳データを主装置に書き込むときにクリックします。

全件削除するときをクリックします。

新たに電話帳を登録するときをクリックします。

設定画面エリア (※ 1) を非表示にするときにクリックします。

メモリ番号	名前	フリガナ	グループ名	ダイヤル/アイコン/発信番号属性	編集	削除
800	田中太郎	タカカ	指定なし	1234567890		
801	鈴木次郎	スズキ	グループ 1	0987654321		
802	加藤三郎	カガタ	グループ 3	1111111111		
803	伊藤四郎	イトウ	グループ 4	2222222222		

すでに登録されている電話帳が表示されます。

1 件単位で削除するときをクリックします。

登録内容を修正するときをクリックします。

チェックマークをつけて [設定] ボタンをクリックすると、電話番号を 1 件単位で削除できます。

[新規作成] または上部エリアの [編集] ボタンをクリックすると表示されます。

編集操作を行ったあと、クリックします。

※ 1

メモリ番号	名前	フリガナ	グループ名	ダイヤル	アイコン	発信番号属性	削除
803	伊藤四郎	イトウ	グループ 4	2222222222	1	一般外線番号	<input type="checkbox"/>
					1	一般外線番号	<input type="checkbox"/>
					1	一般外線番号	<input type="checkbox"/>
					1	一般外線番号	<input type="checkbox"/>

メモリ番号は 800~999 が指定可能です。

設定



ワンポイント

- パソコンを使って電話帳を編集するには
読み出した電話帳データ (テキスト (CSV) ファイル) をパソコンで編集する方法については、「パソコンを使って電話帳を編集するには」を参照してください。
(P6-9)
- 選択できるアイコンは (P3-3)
- 電話帳に登録できる内容は (P3-3)

ワンタッチダイヤル編集

新たなワンタッチダイヤルの登録を開始するときをクリックします。クリックすると【設定画面】が表示されます。

登録されているワンタッチダイヤルをすべて削除するときをクリックします。

【一覧画面】を表示するときをクリックします。

【一覧画面】

ワンタッチダイヤル編集			
ワンタッチキー番号には、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、が指定できます。指定番号以外で設定してもワンタッチダイヤルはご使用になれません。			
ワンタッチキー	ダイヤルキー		
ワンタッチ1	1,2,3,4,5,6,7,8,9	編集	削除
ワンタッチ2	2,5,2,2,2	編集	削除
ワンタッチ3	Cl,St	編集	削除
ワンタッチ4	2,1,3,6,5,4,7,8,9	編集	削除

登録内容を修正するときをクリックします。クリックすると【設定画面】が表示されます。

1件単位で削除するときをクリックします。

【設定画面】

ワンタッチキー	ダイヤルキー				
<input type="text"/>	<input type="text"/>				
設定					
外線1	外線2	ワンタッチ1	ワンタッチ2	ワンタッチ3	ワンタッチ4
ワンタッチ5	ワンタッチ6	ワンタッチ7	ワンタッチ8	ワンタッチ9	ワンタッチ10
ワンタッチ11	ワンタッチ12	ワンタッチ13	ワンタッチ14	ワンタッチ15	フレキシブル16
メニュー		短縮		機能	
	着歴	決定	発歴		
クリア		電話帳		フック	
内線	1	2	3		マイク
	4	5	6		スピーカ
	7	8	9		保留
	*	0	#		

電話機の操作パネル（ボタン部分）が表示されます。登録したいボタンを順にクリックします（最大32操作）。電話番号を登録する場合は、数字を直接入力することもできます（「ダイヤルキー」欄にボタン操作の内容が入力されます）。

ボタン操作の入力が終了したらクリックします。（登録が完了し、続けて登録が行えます。）

電話機毎ユーザデータ設定項目一覧

電話機ごとの設定を行います。

ツリーメニュー		項目名	△：メニュー設定あり ◎：特番操作あり
設定区分	分類		
電話帳	個別電話帳編集	—	△ (P4-4)
	電話帳設定	グループ毎鳴動設定	△ (P4-5) ◎ (P6-6)
		グループ着信ランプ設定	△ (P4-5) ◎ (P6-6)
外線発信	—	ワンタッチ/プリセクション選択	△ (P4-6) ◎ (P6-7)
		優先捕捉回線キー設定	—
		自動捕捉回線キー設定	—
		オフフック外線発信設定	△ (P4-6) ◎ (P6-7)
外線着信	外線着信設定	着信音停止設定	△ (P4-8) ◎ (P6-8)
		自動捕捉回線キー設定	—
		オフフック外線応答設定	△ (P4-7) ◎ (P6-8)
		履歴ランプ表示設定	△ (P4-16) ◎ (P6-8)
		着信履歴保存設定	△ (P4-17)
		外線毎着信拒否設定	△ (P4-7) ◎ (P6-8)
	鳴動設定	外線着信鳴動設定	△ (P4-7)
		着信音色設定	△ (P4-7) ◎ (P6-6)
	曜日毎鳴動モード設定	曜日毎鳴動モード設定	△ (P4-8)
	転送	転送設定	転送先リスト登録
圏外時サービス設定			△ (P4-9)
転送対象回線設定		放送転送対象回線設定	—
		個別転送対象回線設定	—

ツリーメニュー		項目名	△：メニュー設定あり ◎：特番操作あり
設定区分	分類		
ワンタッチ	ワンタッチダイヤル編集	—	△ (P4-10)
	ワンタッチ機能ボタン登録	—	△ (P4-10)
ドアホン／内線	—	内線ホットライン設定	△ (P4-12) ◎ (P6-8)
		内線呼出音設定	△ (P4-12) ◎ (P6-8)
		ドアホン鳴動設定	△ (P4-12) ◎ (P6-6)
		不在着信転送設定	△ (P4-12) ◎ (P6-8)
		内線グループ一斉鳴動	△ (P4-12)
通話	—	受話音保持	△ (P4-13)
		受話増保持	△ (P4-13)
		ヘッドセット設定	△ (P4-13) ◎ (P6-8)
メンテナンス	—	暗証番号設定	△ (P4-15) ◎ (P6-6)
		主装置IPアドレス表示	△ (P4-14)
その他	—	時計アラーム (ワンショット)	△ (P4-11) ◎ (P6-8)
		時計アラーム (デイリー)	△ (P4-11) ◎ (P6-8)
		ダイヤル押下音設定	△ (P4-16) ◎ (P6-7)
		バックライト設定	△ (P4-16)
		サービスロック対象設定	△ (P4-15) ◎ (P6-6)
		システムモード別ECOモード設定	△ (P4-17)

システム一括ユーザデータ設定項目一覧

システムで共通のデータを設定します。

ツリーメニュー		項目名	△：メニュー設定あり ◎：特番操作あり
設定区分	分類		
電話帳	共通電話帳編集	—	△ (P4-18)
	電話帳グループ設定	グループ名称	△ (P4-18)
		グループ着信先	△ (P4-18)
		コールバック設定	△ (P4-19) ◎ (P6-7)
		中継発信規制	△ (P4-19)
電話帳設定	電話帳ガイド表示	△ (P4-19) ◎ (P6-6)	
外線発信	発信可能ダイヤル設定	—	△ (P4-20)
	発信規制ダイヤル設定	—	△ (P4-20)
	削除ダイヤル設定	—	△ (P4-20)
	事業者識別番号付与設定	—	△ (P4-20) ◎ (P6-7)
外線着信	—	自動応答サービス外線発信用暗証番号	—
	—	着信未応答警報タイマ	△ (P4-21)
	—	システム着信メロディ設定	△ (P4-21) ◎ (P6-6)
	—	着信拒否ガイダンス送付設定	△ (P4-21)
	—	非通知着信拒否設定	△ (P4-21) ◎ (P6-6)
	—	サブアドレス設定	△ (P4-21) ◎ (P6-8)
保留	—	システム保留音設定	△ (P4-22) ◎ (P6-8)
	—	保留警報音送付タイマ	△ (P4-22) ◎ (P6-7)
転送	システム一括転送設定	—	△ (P4-29)
	電話機毎転送設定	外線転送方式設定	△ (P4-29) ◎ (P6-7)
		転送元呼出継続設定	△ (P4-29) ◎ (P6-7)
		転送開始タイマ	△ (P4-29) ◎ (P6-7)
		外線転送先呼出タイマ	△ (P4-29) ◎ (P6-7)
ドアホン/内線	—	ドアホンチャイム音鳴動タイマ	△ (P4-28) ◎ (P6-7)
通話	—	ISDN通話料金表示設定	△ (P4-24) ◎ (P6-6)
	—	長時間通話警報タイマ	△ (P4-26) ◎ (P6-7)

ツリーメニュー		項目名	△：メニュー設定あり ◎：特番操作あり
設定区分	分類		
時計・カレンダー	日付・時計設定	日付設定	△ (P4-23) ◎ (P6-6)
		時計設定	△ (P4-23) ◎ (P6-6)
	NTP設定	NTPサーバ時計データ自動設定	△ (P4-23) ◎ (P6-8)
		NTPサーバ問合せ時刻設定	△ (P4-23) ◎ (P6-8)
		NTPサーバURL設定	—
システムモード	システムモード設定	—	△ (P4-24)
	システムモード切替時刻設定	—	△ (P4-23) ◎ (P6-6)
	曜日毎システムモードテーブル設定	—	—
	特定日システムモードテーブル設定	—	—
名称登録	内線ネーム登録	—	△ (P4-28)
	ドアホンネーム登録	—	△ (P4-28)
	回線ネーム登録	—	—
メンテナンス	メンテナンス設定	自IPアドレス設定	—
		サブネットマスク設定	—
		ゲートウェイIPアドレス設定 (LAN)	—
		DNSサーバIPアドレス設定	—
		Web設定用ポート番号設定	—
		ソフトウェア自動更新設定	△ (P4-30)
	暗証番号初期化	内線番号	◎ (P6-5)
センサ起動履歴	—	—	—
その他	—	FAX/TEL切替設定	△ (P4-27) ◎ (P6-7)
		FAX/TEL呼出回数	△ (P4-27) ◎ (P6-7)
		プリセット読出タイム	△ (P4-26) ◎ (P6-7)
		電話帳詳細読出タイム	△ (P4-26)
		在宅自動応答設定	△ (P4-31)
		セキュリティモード設定	△ (P4-30) ◎ (P6-6)
		センサ監視開始タイム	△ (P4-30) ◎ (P6-6)
		セキュリティ通報開始タイム	△ (P4-30) ◎ (P6-6)
		自動威嚇音開始タイム	△ (P4-30) ◎ (P6-6)
		セキュリティ暗証番号	—
		セキュリティ通報番号登録	△ (P4-31) ◎ (P6-6)
		ECOモード自動起動タイム設定	△ (P4-26)

システム設定によりご利用になれる機能

スマートネットコミュニティαZX Home の機能には、お客さまが登録・設定できる機能の他、システムの設置時にあらかじめ「システム設定」で登録・設定しておく機能が多数あります。「システム設定」すると、次の機能をご利用になることができます。「システム設定」を行いたいときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。

発信

■ 中継発信できる相手先を限定する

「システム設定」により、中継発信（☎P3-28）できる相手先を共通電話帳に登録されている電話番号のみに限定することができます。
さらにメニュー設定の「中継発信規制設定」（☎P4-19）を利用して、限定する相手先を電話帳グループごとに分けることができます。

■ 外線と内線電話機をグループ分けする（テナント）

外線と内線電話機を組み合わせるグループに分け、グループに割り当てられた外線以外は使用できないように設定することができます。部門別に外線を割り当ててコスト管理をしたり、特定部門に電話を集中させたくないときなどに便利です。
外からかかってきた電話を他のグループに保留転送する機能も設定できます。グループ間の内線通話は可能です。

■ ダイレクトボタンで内線電話機を呼び出す（内線ダイレクトコール）

フレキシブルボタンに「ダイレクトボタン」を設定することにより、特定の内線電話機をダイレクトボタン1つで呼び出すことができます。たとえば、外線通話中にダイレクトボタンを押すと、通話の保留と特定の内線電話機の呼び出しが一度に行えます。また、ダイレクトボタンのランプの点灯により、相手の内線電話機が使用中であることを確認できます。

通話中	点灯
着信中	点灯
待機状態	消灯

着信・応答

■ 電話がかかってきたとき、外線、内線のどちらを優先するか設定する（着信音優先順位）

複数の着信があったとき、外線、内線のどちらの着信を優先するかを設定できます。

保留・転送

■ グループ内のどの内線電話機でもパーク保留ボタンで保留応答できる (パーク保留)

あらかじめ複数の内線電話機に「パーク保留ボタン」を設定しておく、同じパーク保留グループのどの電話機でも、パーク保留ボタンを押して、保留中の内線／外線に再応答することができます。

その他

■ FAX / 電話を自動的に切り替える機能を設定する (F/T切替送出音源設定、F/T切替サービス設定、F/T切替ダイヤルイン設定)

FAX / 電話の切り替えや、FAX自動転送が行えるように設定できます。

FAX / 電話の切り替えやFAX自動転送は、回線ごと、またはダイヤルイン番号ごとに提供できます。回線ごとに行う場合は「F/T切替サービス外線設定」で、ダイヤルイン番号ごとに行う場合は「F/T切替ダイヤルイン設定」で設定します。

「F/T切替送出音源設定」では、FAX / 電話切り替え応答時に流す信号音または音声ガイダンスを選択できます。

■ ファクスの受信が確認できる内線電話機を設定する (FAX受信表示)

ファクスを受信したことをディスプレイに表示させる内線電話機を設定できます。機能ボタン、クリアボタンの順に押すと、FAX受信表示を消すことができます。

■ セキュリティサービスを利用する

侵入者通報や威嚇音送出など、セキュリティサービスを利用するために内線電話機を設定します。

主装置ソフトウェアを更新するには

スマートネットコミュニティαZX Home のソフトウェア更新が必要かどうかをチェックし、必要な場合にはソフトウェアをダウンロードして更新する機能を利用できます。このサービスをご利用になるには、ひかり電話の接続が必要です。

最新ソフトウェアがあるかどうかを手動でチェックする

1 機能ボタンを押す。

1月11日(月) 午後 3:05
| 内線1
機能



2 最新バージョン問合せの特番 (☎) 1 0 0 [] を押す。

チェックが行われたあと、結果により「最新ソフトウェア有」が表示されます。

1月11日(月) 午後 3:05
| 内線1
機能



1月11日(月) 午後 3:05
| 内線1
最新ソフトウェア有

自動ダウンロードするように設定されている場合、自動ダウンロードの時刻になるとダウンロードが開始されます。

手動ダウンロードに設定されている場合は、必要に応じて「最新ソフトウェアを手動でダウンロードする」(P4-43) の操作を行ってください。



ワンポイント

- **システム起動直後のバージョン問合せについて**
主装置の電源を入れた直後に、最新バージョン問い合わせの特番を押しても表示が切り替わらないときは、5分程度待ってから操作を行ってください。
- **自動ダウンロードするには**
お買い求め時は、最新ソフトウェアを自動でダウンロードするように設定されています。また、ソフトウェアの更新を行うため、主装置は自動的に再起動されます。
- **チェック結果を表示させるには**
お買い求め時は、ソフトウェア更新のチェック結果が表示されません。ソフトウェア更新のチェック結果を表示するには「システム設定」が必要です。
- **チェック結果やダウンロード失敗の表示をクリアするには**
チェックの結果や「ソフトダウンロード失敗」などのお知らせは、すべての内線電話機に表示されます。表示を消すには、機能ボタン、クリアボタンの順に押します。ただし、「ソフトウェアダウンロード中」および「ソフトウェアダウンロード済」の表示を手動で消すことはできません。



お知らせ

- 最新ソフトウェアの有無のチェックやダウンロードを自動で行うかどうかの設定は、メニュー設定やWeb設定で行えます。(P4-30、P4-39)
- 自動更新の機能は、ひかり電話をご使用の場合のみご利用になれます。

最新ソフトウェアを手動でダウンロードする

手動または自動でチェックを行った結果、ディスプレイに「最新ソフトウェア有」と表示されたときは、ソフトウェアのダウンロードおよび更新ができます。

1 機能ボタンを押す。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線1
機能



2 ソフトウェアダウンロード実行の特番 (※) (1) (1) [] を押す。

ダウンロードが実行されます。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線1
機能



1月11日(月) 午後 3:05
1 内線1
ソフトウェアダウンロード中
電源切しないで下さい

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線1
ソフトウェアダウンロード済
電源切/おして下さい

3 主装置の電源を一度切ってから入れ直す。 ソフトウェアの更新が完了します。



ワンポイント

- ソフトウェアダウンロードを表示させるには
お買い求め時は、ソフトウェアダウンロード中であることが表示されません。ソフトウェアダウンロード中であることを表示させるには、「システム設定」が必要です。
- ソフトウェアについて
「ソフトウェア」は、主装置用の最新ソフトウェアです。



お知らせ

- 最新ソフトウェア有無のチェックやダウンロードを自動で行うかどうかの設定は、メニュー設定やWeb設定で行えます。(P4-30、P4-39)
- ソフトウェアのダウンロード中は、主装置の電源を切らないでください。
- 最新ソフトウェアの更新を行わないと、本来の機能・性能を發揮できない場合があります。

MEMO

オプションを使う

5

ご利用になれるオプション装置／ オプションユニット.....	5-2
単体電話機を利用するには	5-5
ドアホンを利用するには	5-9
外部スピーカで一斉放送するには.....	5-11

ご利用になれるオプション装置／オプションユニット

スマートネットコミュニティαZX Home には、オプション装置／オプションユニットとして次のものが用意されています。ご利用になるときは、当社のサービス取扱所へご相談ください。

録音電話機

内線電話機として、録音電話機を増設することができます。標準電話機の機能とともに、ディスプレイを見ながら簡単な操作で留守・録音機能をご利用になれます。詳しくは録音電話機の取扱説明書（操作方法等についてはtypeS/typeM接続の場合）を参照してください。



単体電話機

現在お使いの電話機を接続することができます。種類によっては接続できないものもありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。接続した単体電話機の機能・操作（P5-5）については、単体電話機の取扱説明書を参照してください。



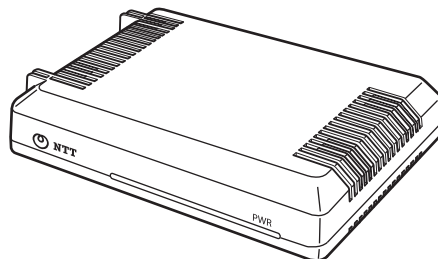
停電用電話機

内線電話機として、停電用電話機を増設することができます。



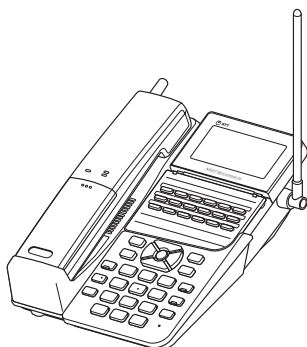
単体電話機アダプタ

単体電話機アダプタを接続すると、現在お使いの単体電話機やファクスを内線電話機としてお使いいただけます。詳しくは単体電話機アダプタの取扱説明書を参照してください。



カールコードレス電話機

内線電話機として、カールコードレス電話機を増設することができます。ベースセットから半径約100 mの範囲で、ハンドセットを自由に持ち運びながらご利用になれます。詳しくはカールコードレス電話機の取扱説明書（操作方法等についてはS/Mタイプ）を参照してください。



録音ジャックユニット

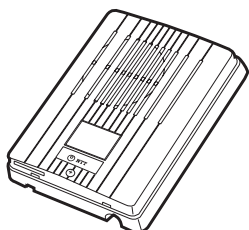
内線電話機に録音ジャックユニットを接続し、その先にアンプ内蔵スピーカ、またはアンプとスピーカを接続することができます。これらを接続することで、外線・内線の着信音や音声呼び出しの声を外部スピーカで聞くことができます。電話機がある場所から離れることが多い場合や、周囲に騒音がある場合などに便利です。

ヘッドセット

内線電話機にヘッドセットを接続すると、ハンドセットを取りあげなくてもお話しすることができます。詳しくはヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

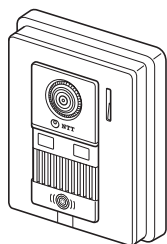
ドアホン

ドアホンを主装置に接続すると、電話機でドアホンからの呼び出しに答えたり、ドアホンの周囲の音を聞くことができます。



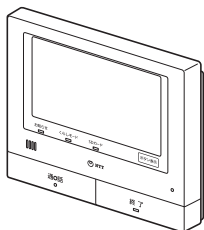
カラーカメラドアホン

設置したカラーカメラドアホンの周囲の映像をカラーカメラドアホン用モニタに映し出し、相手の方の顔を見ながらお話しすることができます。カラーカメラドアホンは2台まで接続できます。映像を映し出すにはカラーカメラドアホン用モニタが必要です。



カラーカメラドアホン用モニタ

カラーディスプレイに来客の方の映像を表示し、相手の方を見ながら内線電話機でお話しをすることができます。



デジタルシステムコードレス 接続装置

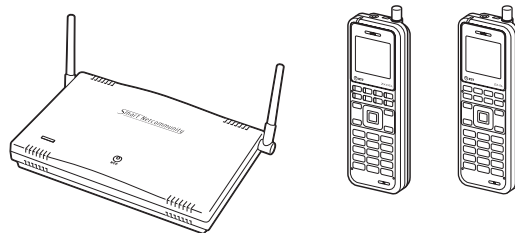
デジタルシステムコードレス 電話機

デジタルシステムコードレス接続装置を収容することにより、デジタルシステムコードレス電話機を収容することができます。

詳しくはデジタルシステムコードレス電話機の取扱説明書（操作方法等についてはαZX-S/Mタイプ）を参照してください。

シングルラインコードレス電話機

内線電話機として、シングルラインコードレス電話機を収容することができます。詳しくはシングルラインコードレス電話機の取扱説明書を参照してください。

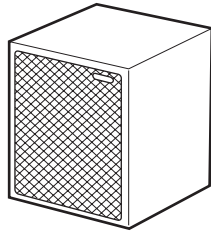


お知らせ

- オプション機器等で、種類によっては接続できないものもありますので、あらかじめ当社のサービス取扱所へご相談ください。

構内放送用設備

構内放送用設備を主装置に接続すると、「システム設定」した内線電話機から構内放送ができます。



DECT方式DIVコードレス 接続装置

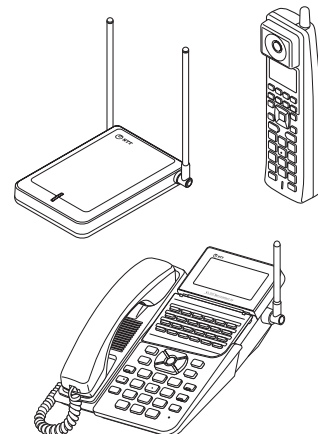
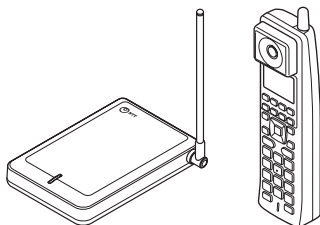
DECT方式DIVコードレス電話機 DECT方式DIV KT形コードレス 電話機

DECT方式DIVコードレス接続装置を収容することにより、DECT方式DIVコードレス電話機を内線電話機として収容することができます。詳しくはDECT方式DIVコードレス電話機の取扱説明書（操作方法等についてはS/Mタイプ）を参照してください。

DECT方式コードレス接続装置

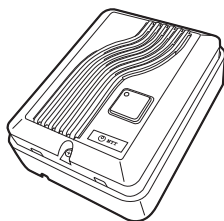
DECT方式コードレス電話機

DECT方式コードレス接続装置を収容することにより、DECT方式コードレス電話機を内線電話機として収容することができます。詳しくはDECT方式コードレス電話機の取扱説明書（操作方法等についてはS/Mタイプ）を参照してください。



スタードアホン

スター配線方式対応のドアホンです。主装置に接続すると、電話機でドアホンからの呼び出しに答えることができます。



外部音源

外部の保留音源装置、トーキ装置、音源を接続できます。接続した音源は、「システム設定」により選択します。外部の保留音源を主装置に接続すると、お好みのメロディやアナウンスを保留音や着信音として使用することができます。

お知らせ

- オプション機器等で、種類によっては接続できないものもありますので、あらかじめ当社のサービス取扱所へご相談ください。

単体電話機を利用するには

スマートネットコミュニティαZX Home に一般の単体電話機を接続してご利用いただくことができます。外へ電話をかけるときは、空いている外線を自動的に選んでかける方法（空き外線自動発信）と、「システム設定」した外線グループから空き外線を選んでかける方法（外線群指定発信）があります。単体電話機を接続するには、オプションの追装が必要です。当社のサービス取扱所へご相談ください。

電話をかける（外線発信）

空いている外線を自動的に選んで電話をかけます（空き外線自動発信）。

- 1 ハンドセットを取りあげる。
「ツーツー…」という音を確認してください。
- 2 外線発信番号（④ []）を押す。
「ツー」という発信音を確認してください。
- 3 電話番号をダイヤルボタンで押す。
- 4 相手の方が出たら、お話しする。
- 5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

●外線グループの中から選んでかけるには（外線群指定発信）

- ①ハンドセットを取りあげる
「ツーツー…」という音を確認してください。
- ②外線群指定発信番号（⑨①①～⑨①⑧ []）
を押す
「ツー」という発信音を確認してください。
- ③電話番号をダイヤルボタンで押す
- ④相手の方が出たらお話しする

■外線グループとは

「システム設定」により、収容されている外線をあらかじめ複数のグループに分けたものです。最大8つのグループに分けることができます。



お知らせ

- 手順2で外線発信番号を押して、空いている外線がないときは、「プープー…」という話中音が聞こえます。ハンドセットを置いて、しばらく待ってからかけ直してください。
 - 手順1でハンドセットを取りあげたとき、またはスピーカボタンを押したときには、オフフック外線発信設定によって次のどちらかの状態になります。
 - ・「ツーツー…」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフフック内線捕捉）
 - ・「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフフック外線自動捕捉）
- オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線発信番号（④ []）を押す必要はありません。ハンドセットを取りあげるだけで外線に電話をかけることができます。
- このときに、ダイヤルボタンを押さずに、フッキング操作を行うと、内線の呼び出しができるようになります。
フッキング操作とは（P5-6）
- すぐに次の電話をかけるときは、ハンドセットを確実に置き、電話が切れていることを確認してください。
 - お使いの単体電話機の種類により、電話機のデザインやボタンの配置、名称が異なります。この取扱説明書では、ハウディ・クローバーホンSⅢを例に説明しています。

ご利用になれるオプション装
置／オプションユニット
単体電話機を利用するには

単体電話機を利用するには

電話を受ける（外線着信）

1 着信音が鳴る。



2 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。



3 お話が終わったら、ハンドセットを置く。

相手の方に待っていただく （保留）

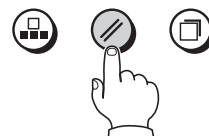
単体電話機で保留にした通話は、他の電話機でとることはできません（個別保留）。

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝える。

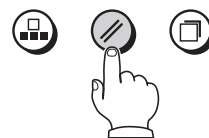


2 (フック) ボタンを押す。または、フッキング操作を行う。

ハンドセットと相手の方に保留メロディが流れます。



3 もう一度お話しするときは、(フック) ボタンを押す。または、フッキング操作を行う。



4 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

●フッキング操作とは

単体電話機のフックスイッチをポンと押します。1秒以上押し続けると電話が切れることがありますのでご注意ください。



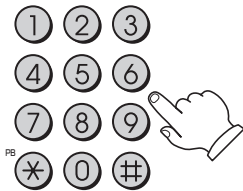
電話帳を使って電話をかける

よくかける相手の方の電話番号をシステムの電話帳に登録しておく（P3-2）と、単体電話機でも、電話帳を使って簡単にダイヤルすることができます。

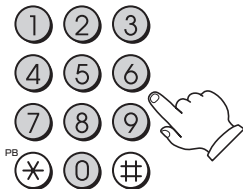
- 1** ハンドセットを取りあげる。
「ツーツー…」という音を確認してください。



- 2** 電話帳発信の特番（⑨⑨ []）を押す。



- 3** メモリ番号をダイヤルボタンで押す。
2桁モード：00～99 3桁モード：000～999



- 4** 相手の方が出たら、お話しする。



ワンポイント

- PBX（構内交換機）に収容されているときは
発信時に、自動的に外線発信番号とポーズ（3秒固定）が入ります（自動ポーズ）。



お知らせ

- お使いの単体電話機個別の電話帳をご利用になるときは、単体電話機の取扱説明書を参照してください。
- 空いている外線がない場合は、「プープー…」という話中音が聞こえます。ハンドセットを置いて、しばらく待つてからかけ直してください。
- 単体電話機からは電話帳を登録することはできません。

その他の操作

■ 内線でお話する（内線通話）

単体電話機から他の内線電話機を呼び出すときは、次のように操作します。

- ① ハンドセットを取りあげる
「ツーツー…」という音が聞こえないときは、④（フック）ボタンを押します。
- ② 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す
- ③ 呼び出し音が終わったら、呼びかける
- ④ 呼び出された方が応答したら、お話する

■ 他の内線電話機に取りつぐ

- ① 相手の方に待っていただくように伝え、④（フック）ボタンを押すかフッキング操作（☛P5-6）を行う
保留音が聞こえないときは、もう一度④（フック）ボタンを押します。
- ② 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す
- ③ 呼び出し音が終わったら、呼びかける
- ④ 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く
応答されなかった場合には、再度④（フック）ボタンを押すと、待っていただいた方とお話できます。

■ キャッチホンサービスを利用する

単体電話機で、アナログ回線をお使いの場合には、次のように操作します。

- ① 「キャッチホン」の信号が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、④（フック）ボタンを押すかフッキング操作（☛P5-6）を行う
- ② フッキング信号送の特番（⑨ ① ① []）を押す
- ③ 2番目に掛けてきた相手の方とお話する
- ④ 最初にお話していた方とお話に戻るときは、もう一度手順①～②を行う

■ 他の外線に転送する

外の相手の方とお話や内線通話を他の外線に転送できるように「システム設定」している場合は、次のように操作します。

- ① 「■他の内線電話機に取りつぐ」（☛左記）の手順①を行う
- ② 外線発信番号（⑩ []）を押す
- ③ 「ツー」という発信音を確認し、電話番号をダイヤルボタンで押す
- ④ 「■他の内線電話機に取りつぐ」（☛左記）の手順④を行う



ワンポイント

● 相手の方の応答を待たずに保留転送するには

呼び出す内線電話機の内線番号を押したあと、ハンドセットを置きます。呼び出された内線電話機で着信音が鳴り、ハンドセットを取りあげるとお話できます。

● PBX/CES回線で、スマートネットコミュニティαZX Home 以外に接続された内線電話機に転送するには

フッキング操作を行ったあとに、フッキング信号送の特番（⑨ ① ① []）、内線番号の順に押します。

☑ 内線の代表グループを呼び出すには（内線代表呼出）

「■内線でお話する（内線通話）」の手順②で内線番号の代わりに「システム設定」した代表グループ番号を押すと、グループ内の待機中の電話機1台を呼び出すことができます。

○ 自動的に特定の相手の方を内線呼び出しするには（内線ホットライン）

内線ホットラインを設定すると、ハンドセットを取りあげるだけで特定の電話機を呼び出すことができます。

● 内線呼び出しに他の単体電話機で応答するには（代理応答）

プッシュホン式電話機であれば代理応答できます。ハンドセットを取りあげ、⑥、グループ番号の順に押すと、指定したグループに属する電話機への電話に応答できます。また、⑥⑥を押すと、かかってきたすべての電話に応答できます。



お知らせ

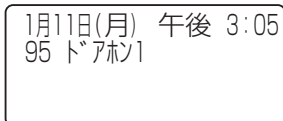
- オフフック外線発信設定を「設定する」にしているとき、または内線ホットラインを設定しているときは、「■内線でお話する（内線通話）」の手順①でハンドセットを取りあげたあと、④（フック）ボタンを押してください。ダイヤルボタンで内線の呼び出しができるようになります。

ドアホンを利用するには

ドアホンを接続しているときは、ドアホンからの呼び出しに应答したり、ドアホンの周囲の音を聞いたりすることができます。
 ドアホンをご利用になるには、オプションの追加が必要です。当社のサービス取扱所へご相談ください。

ドアホンからの呼び出しに应答する

1 ドアホンからの呼び出しがあると、ドアホンのチャイム音が鳴り、内線ランプが点滅する。



2 ハンドセットを取りあげて、お話しする。
 内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

- チャイム音が鳴らない電話機で应答するには
 ハンドセットを取りあげて、ドアホン应答1～2の特番（**#95**～**#96** []）を押すと应答できます。
- 他グループの電話機で应答するには（代理应答）
 内線ボタン、代理应答（統合）の特番（**#9** []）の順に押し、ハンドセットを取りあげて应答することができます。
- ドアホンから呼び出されるときは
 単体電話機には、内線着信音で知らされます。



お知らせ

- チャイム音が鳴る時間は「システム設定」することができます。
 設定時間を過ぎると、チャイム音が鳴りやみ、内線ランプのみ点滅し続けます。ただし、単体電話機、デジタルシステムコードレス電話機では、設定時間が過ぎても鳴り続けます。
- ドアホンからの呼び出しに应答するときは、内線ランプが点滅している間に行ってください。この時間を超えると、ハンドセットを取りあげても应答することはできません。内線ランプが点滅している時間は「システム設定」することができます。
- 「システム設定」で、チャイム音が鳴るように設定した電話機が通話中のときは、チャイム音の代わりに「ププ」という確認音でドアホンからの呼び出しをお知らせすることができます。
- 単体電話機、シングルラインコードレス電話機で通話中のときは、「ププ」という確認音は鳴りません。
- チャイム音が鳴る電話機は「システム設定」で変更できます。
- ドアホンからの呼び出しに应答したときの確認音の有無を「システム設定」することができます。
- 単体電話機、シングルラインコードレス電話機が鳴動しているときは、ドアホンから呼び出されません。
- ドアホンからの呼び出しでは着信ランプは点滅しません。
- スタードアホンからの呼び出しは、ハンドセットを取りあげて、点滅しているフレキシブルボタンを押すと应答できます。

単体電話機を利用するには
 ドアホンを利用するには

ドアホンを利用するには

ドアホンの周囲の音を聞く (ドアホンを呼び出す)

- 1** 内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

1月11日(月) 午後 3:05
内線



- 2** ドアホン番号 (9 5 ~ 9 6 []) を押す。

ドアホンの周囲の音が聞こえます。ハンドセットを取りあげてドアホン側の方とお話することもできます。

1月11日(月) 午後 3:05
95 ドアホン



ドアホン 1 : 9 5

ドアホン 2 : 9 6

- 3** 聞き終わったら、スピーカボタンを押す。
スピーカランプ、内線ランプが消えます。

1月11日(月) 午後 3:05
1 内線



お知らせ

- 手順1で、プリセレクトサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。
- スタードアホンを呼び出す場合、手順2でスタードアホンの内線番号を押してください。

外部スピーカで一斉放送するには

「システム設定」した特定の内線電話機から、構内放送用スピーカで一斉放送ができます。
内線の一斉呼び出しと同時に一斉放送することもできます。

外部スピーカで一斉放送する

- 1** 内線ボタンを押す。
「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

1月11日(月) 午後 3:05
内線



- 2** 一斉放送(スピーカ)の特番(9) (4) (9) [] を押す。

一斉放送
#91



- 3** ハンドセットを取りあげて、お話しする。



- 4** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

外部スピーカで一斉放送するには
ドアホンを利用するには



ワンポイント

- 電話機で応答するには
内線ボタン、外部スピーカ応答の特番 (9) (4) (9) [] の順に押し、ハンドセットを取りあげます。
- 他グループの電話機で応答するには (代理応答)
内線ボタン、代理応答 (統合) の特番 (9) (4) [] の順に押し、ハンドセットを取りあげて応答することができます。

☎ 電話がかかってきたときは

「システム設定」により、収容している外線のうち、特定の外線にかかってきた着信音を構内放送用のスピーカから確認音として聞けるように設定できます。昼、夜、休憩、休日モードで別々に設定できます。



お知らせ

- 手順1で、プリセクションサービスを利用されている場合は、内線ボタンに続いてスピーカボタンを押してください。

MEMO

ご参考に

6

特番を使って操作するには	6-2
パソコンを使って電話帳を編集するには	6-9
設置と接続について	6-12
付属品などをご利用になるには.....	6-13
主装置の電源を入れる／切るには.....	6-16
停電になったときは	6-17
電池交換が必要になったときは.....	6-18
こんな音がしたら	6-19
故障かな？と思ったら	6-20
Q&A.....	6-21
用語の説明	6-27
索引	6-30
仕様	6-36
保守サービスのご案内	6-37

特番一覧

■ ダイヤル中特番

特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合は[]に記入してください。

名 称	機 能	特 番	参照先 (メニュー項目)
外線発信番号	空いている外線を選んで発信する	00 []	■P2-14、P5-5
フッキング信号送出番号	フッキング信号を送出する（※単体電話機、シングルラインコードレス電話機のみで有効）	9 00 []	■P5-8
外線群指定発信	外線グループ（1～8）の中から空き外線を選んで発信する	9 01 [] ～ 9 08 []	■P2-15、P5-5
パーク保留応答	パーク保留に応答する	9 2 []	—
パーク保留	通話をパーク保留する	9 3 []	—
モード切替（自動）	システムモードを自動モードに設定する	9 4 0 []	■P3-36、P4-24 (システムモード 設定) ※1
モード切替（昼）	システムモードを昼モードに設定する	9 4 1 []	
モード切替（夜）	システムモードを夜モードに設定する	9 4 2 []	
モード切替（休憩）	システムモードを休憩モードに設定する	9 4 3 []	
モード切替（休日）	システムモードを休日モードに設定する	9 4 4 []	
サービスロック起動／解除	サービスロックを起動／解除する	9 4 5 []	■P3-41
一斉放送／呼出	スピーカと電話機を同時に呼び出す	9 4 8 []	—
一斉放送（スピーカ1）	スピーカ1で一斉放送する	9 4 9 []	■P5-11
ドアホン呼出	ドアホン側の方とお話しをしたり、ドアホンの周囲の音を聞いたりする	9 5 ～ 9 6 []	■P5-10
留守番電話起動 ※2	リモコン操作で留守番電話を起動する	9 7 0 []	—
転送電話起動	リモコン操作で転送電話を起動する	9 7 1 []	—
転送留守解除	リモコン操作で転送電話・留守番電話を解除する（両方起動している場合は両方解除）	9 7 2 []	—
転送先リスト登録	電話機ごとの転送先リストを登録する	9 7 3 []	■P4-9 (転送先リスト登録)
転送先リスト削除	リモコン操作で電話機ごとの転送先リストを削除する	9 7 4 []	—

名 称	機 能	特 番	参照先 (メニュー項目)
システム一括転送先リスト登録	システム共通の転送先リストを登録する	⑨ ⑦ ⑥ []	—
システム一括転送先リスト削除	リモコン操作でシステム共通の転送先リストを削除する	⑨ ⑦ ⑦ []	—
圏外時サービス設定	内線電話機（コードレス電話機など）が圏外になったときの動作を設定する	⑨ ⑦ ⑧ []	■P4-9 (圏外時サービス設定)
セキュリティ起動/解除	セキュリティサービスを起動/解除する	⑨ ⑦ ⑨ []	■P4-31 (セキュリティ起動/解除)
電話帳発信	電話帳（メモリ番号検索）を使って電話をかける	⑨ ⑨ []	■P5-7
一斉・グループ呼出	グループの全電話機を一斉に呼び出す	ⓧ ⑩ ~ ⓧ ⑨ []	■P2-21
コールバックシステム内線着信	コールバック中継発信時に、内線着信させる	ⓧ # []	■P3-29
代理応答	自グループの電話機への着信に代理応答する	# ⑩ []	■P2-21、P2-26
	指定した他グループの電話機への着信に代理応答する	# ① ~ # ⑥ []	■P2-21、P2-26、 P5-8
	全グループの電話機への着信に代理応答する	# # []	■P2-21、P2-26、 P5-8、P5-9、 P5-11
一斉・グループ呼出応答	グループの全電話機の一斉呼び出しに応答する	# ⑧ ⑩ ~ # ⑧ ⑨ []	■P2-21
一斉放送/呼出応答	スピーカと電話機の一斉放送/呼出に応答する	# ⑨ ⑩ []	—
一斉放送応答	外部スピーカでの一斉放送に応答する	# ⑨ ① []	■P5-11
ドアホン応答	チャイム音の鳴らない電話機でドアホン1～2に応答する	# ⑨ ⑤ ~ # ⑨ ⑥ []	■P5-9

※1：特番でのLCD表示とメニュー項目でのLCD表示が異なります。

※2：留守番電話の機能をご利用になるには、別途オプションの録音電話機が必要です。

特番を使って操作するには



ワンポイント

☑ 外出先からリモコン操作を行うには

「システム設定」により自動応答サービスを利用できるように設定している場合は、外出先から特番（PB信号）を使ってリモコン操作が行えます。

	操 作	使用する特番操作例
転送電話、留守番電話の操作（※1）	留守番電話のセット	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ⑦ ① []
	転送電話のセット	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ⑦ ② []
	転送電話、留守番電話の解除（※2）	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ⑦ ③ []
	電話機起動転送先リストの登録	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ⑦ ④ [] + ① ~ ③ # + 転送先電話番号 #
	電話機起動転送先リストの削除	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ⑦ ⑤ [] + ① ~ ③ #
	システム共通の転送先リストの登録	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ⑦ ⑥ [] + ① ~ ③ # + ① ~ ③ # + 転送先電話番号 #
	システム共通の転送先リストの削除	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ⑦ ⑦ [] + ① ~ ③ # + ① ~ ③ #
	圏外時外線転送のセット/解除	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ⑦ ⑧ [] + ① # (解除) + ② # (転送電話)
システムモードの切り替え	システムモードの解除 (自動モードへの切り替え)	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ④ ① []
	昼モードへの切り替え	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ④ ② []
	夜モードへの切り替え	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ④ ③ []
	休憩モードへの切り替え	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ④ ④ []
	休日モードへの切り替え	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ④ ⑤ []
セキュリティサービスの操作	起動	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ⑦ ⑨ [] + ① #
	解除	③ + 内線番号 + 暗証番号 # + ⑨ ⑦ ⑨ [] + ② # + セキュリティ暗証番号 + #

※1：留守番電話の機能をご利用になるには、別途オプションの録音電話機が必要です。

※2：転送電話と留守番電話の両方をセットしている場合は、どちらも解除されます。

機能特番

機能ボタンを押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合には [] に記入してください。

名 称	機 能	特 番	参照先 (メニュー項目)
バックアップデータ復元	バックアップデータの復元を行う	①② []	▶P1-3
会議 (内/外線ダイヤル招集)	通話中に他の内線/外線を呼び出して会議通話を行う	① []	▶P3-22
口頭招集会議	通話中に口頭で他の内線を呼び、会議通話を行う	② []	▶P3-20
外線転送割込み	外の相手の方との通話を他の外線に転送したあとで、通話に割り込む	⑤② [] ※	▶P2-27
主装置ソフトバージョン表示	主装置ソフトのタイプとバージョンを表示する	⑦① []	—
ブロードバンドルーターユニットIPアドレス表示	IPアドレスとサブネットマスクを表示する (※一部の電話機ではサブネットマスクが表示できません)	⑦① []	—
秘話解除 (通話モニタ)	通話中に、他の内線電話機に通話モニタを許可する	⑦⑦ []	▶P2-18
暗証番号初期化	暗証番号をお買い求め時の状態 (0000) に戻す	⑧① [] ※	—
ブロードバンドルーターユニットのパスワード初期化	ブロードバンドルーターユニットのパスワード等を初期化する	⑧② [] ※	—
通信中転送機能	フレックスホンの通信中転送機能を利用する	⑨② []	—
三者通話機能 (ミキシングモード)	フレックスホンの三者通話機能 (ミキシングモード) を利用する	⑨③ []	—
着信転送機能起動/解除	フレックスホンの着信転送機能を利用するために、着信転送モードを設定/解除する	⑨⑤ [] ※	—
通信中着信通知一時停止設定/解除	通信中着信通知の機能を一時的に停止/一時停止を解除する	⑨⑧ [] ※	—
発信専用制御設定/解除	発信専用制御を設定/解除する	⑨⑨ [] ※	▶P3-53
最新バージョン問合せ	ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックする	ⓧ①① []	▶P4-42
ソフトウェアダウンロード実行	最新のソフトウェアをダウンロードする	ⓧ①① []	▶P4-43
通話中PB信号送出停止	外線通話中、一時的にダイヤル送出を停止する	ⓧ⑨ []	—
キーパッドモード切替	通話中 (ISDN回線) にキーパッドの送出モードを切り替える	ⓧⓧ []	—

※：スピーカボタンを押したあと、機能ボタンを押し、特番を押して操作してください。

特番を使って操作するには

■ 設定特番

内線ボタンを押して、決定ボタンを押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

特番は「システム設定」によって変更できます。変更した場合には [] に記入してください。

名 称	機 能	特 番	参照先 (メニュー項目)
日付設定	日付を設定する	00 01 []	■P1-15
時刻設定	時刻を設定する	00 02 []	■P1-16
システムモード時刻設定	システムモードを自動的に切り替える時刻を設定する	00 03 []	■P4-23 (システムモード時刻設定)
セキュリティモード設定	セキュリティサービスの通報先を、内線、外線、またはその両方に設定する	00 05 []	■P4-30 (セキュリティモード設定)
セキュリティ関連 タイマ設定	セキュリティサービスの各種動作のタイミングを設定する	00 06 []	■P4-30 (セキュリティ関連タイマ設定)
セキュリティ通報番号登録	セキュリティサービスの通報先電話番号を登録する	00 07 []	■P4-31 (セキュリティ通報番号登録)
電話帳ガイド表示	電話帳画面のガイド表示を設定する	01 00 []	■P4-19 (電話帳ガイド表示)
暗証番号設定	電話機ごとの暗証番号を登録する	01 02 []	■P4-15 (暗証番号設定)
システム着信メロディ設定	着信音に使用するメロディを選択する	02 00 []	■P4-21 (システム着信メロディ設定)
着信音色設定	外線・内線の着信音を設定する	02 01 []	■P4-7 (着信音色設定)
非通知着信拒否設定	電話番号非通知の着信、公衆電話からの着信、表示圏外からの着信を拒否するかどうかを設定する	02 02 []	■P3-49
サービスロック対象設定	サービスロックの対象を設定する	02 03 []	■P3-40
グループ毎鳴動設定	電話帳グループごとの着信音を設定する	02 04 []	■P4-5 (グループ毎鳴動設定)
グループ着信ランプ設定	電話帳グループごとの着信ランプの点滅色を設定する	02 05 []	■P4-5 (グループ着信ランプ設定)
ドアホン鳴動設定	ドアホンごとにチャイム音を鳴らすかを設定する	02 06 []	■P4-12 (ドアホン鳴動設定)
ISDN料金表示設定	INSネット64で電話をかけたときの料金表示を行うかどうかを設定する	02 07 []	■P4-24 (ISDN料金表示設定)

名 称	機 能	特 番	参照先 (メニュー項目)
ダイヤル押下音設定	ダイヤルボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを設定する	②⑧ []	■P4-16 (ダイヤル押下音設定)
事業者識別番号付与	携帯電話に電話をかけるとき、あらかじめ設定された事業者識別番号の自動付与をするかどうかを設定する	②⑨ []	■P4-20 (事業者識別番号付与)
転送開始タイマ	着信から転送を開始するまでの秒数を設定する	③⑩ []	■P4-29 (転送開始タイマ)
外線転送先呼出タイマ	転送先リストの電話番号へ順次転送を行う間隔を設定する	③⑪ []	■P4-29 (外線転送先呼出タイマ)
グループ毎コールバック	電話帳グループごとに、コールバック着信があったときの動作を設定する	③⑫ []	■P4-19 (グループ毎コールバック)
外線転送方式設定	転送先リストの電話番号への発信を、同時／順次のどちらの方法で行うかを設定する	③⑬ []	■P4-29 (外線転送方式設定)
転送元呼出継続設定	転送元の呼び出しを、外線転送後も継続するかどうかを設定する	③⑭ []	■P4-29 (転送元呼出継続設定)
FAX/TEL呼出回数	ファクスが応答しなかった場合に自動的に外線を切断するまでの呼び出し回数を設定する	③⑮ []	■P4-27 (FAX/TEL呼出回数)
FAX/TEL切替設定	ファクスが送られてきたときにファクスへの切り替えを行う機能を設定する	③⑯ []	■P4-27 (FAX/TEL切替設定)
プリセット読出タイマ	プリセットダイヤルの表示を継続する秒数を設定する	④⑰ []	■P4-26 (プリセット読出タイマ)
保留警報音送出タイマ	保留状態が続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する	④⑱ []	■P4-22 (保留警報音送出タイマ)
長時間通話警報タイマ	通話が長時間続いていることを知らせる警報音を鳴らすまでの時間を設定する	④⑲ []	■P4-26 (長時間通話警報タイマ)
ドアホンチャイム音鳴動タイマ	ドアホンからの呼び出しに鳴動する時間を設定する	④⑳ []	■P4-28 (ドアホンチャイム音鳴動タイマ)
ワンタッチ／プリセクション選択	発信時の動作をワンタッチ／プリセクションのどちらにするかを設定する	⑤⑰ []	■P4-6 (ワンタッチ／プリセクション)
オフフック外線発信設定	オフフックにより、「システム設定」で設定された内線／外線を捕捉する機能を設定する	⑤⑱ []	■P4-6 (オフフック外線発信設定)

特番を使って操作するには

名 称	機 能	特 番	参照先 (メニュー項目)
オフフック外線応答設定	外線ボタンを押さなくても、ハンドセットを取りあげるだけで着信に応答できる機能を設定する	⑤② []	■P4-7 (オフフック外線応答設定)
着信音停止設定	着信音を鳴らさないようにする	⑤③ []	■P4-8 (着信音停止設定)
内線呼出音設定	内線からの呼び出しをトーン(信号音)呼び出しとするか音声呼び出しとするかを設定する	⑤④ []	■P4-12 (内線呼出音設定)
内線ホットライン設定	ハンドセットを取りあげるだけで呼び出せる内線番号を登録する	⑤⑤ []	■P4-12 (内線ホットライン設定)
システム保留音設定	保留メロディを設定する	⑤⑥ []	■P4-22 (システム保留音設定)
不在着信設定	不在着信転送を設定/解除する	⑤⑦ []	—
外線毎着信拒否設定	ダイヤルイングループボタン(NK/NKG)を、一時的に着信拒否する	⑤⑧ []	■P4-7 (外線毎着信拒否設定)※
履歴ランプ表示設定	かかってきた電話に出なかったときに、着信履歴ランプを点滅(周期的に2回点灯)表示させてお知らせするかどうかを設定する	⑤⑨ []	■P4-16 (履歴ランプ表示設定)
時計アラーム(1回)	電話機のアラーム(1回のみ)をセットする	⑥⑩ []	■P4-11 (時計アラーム(1回))
時計アラーム(毎日)	電話機のアラーム(毎日同時刻に繰り返す)をセットする	⑥⑪ []	■P4-11 (時計アラーム(毎日))
ヘッドセット設定	ヘッドセットを使用するかどうかを設定する	⑧① []	■P4-13 (ヘッドセット設定)
NTPサーバ時計設定	NTPサーバーを使って、日付・時刻を自動的に設定するかどうかを設定する	⑧⑧ []	■P4-23 (NTPサーバ時計設定)
NTPサーバ問合せ時刻	NTPサーバーへの問合せ時刻を設定する	⑧⑨ []	■P4-23 (NTPサーバ問合せ時刻)
サブアドレス設定	内線電話機にサブアドレスを設定する	⑨① []	■P4-21 (サブアドレス設定)
着信転送(転送先番号の登録)	フレックスホンの着信転送機能を利用するために、転送先電話番号を登録する	⑨⑥ []	—
システムモード別ECOモード	システムモード(昼/夜/休憩/休日)別に、ecoモードを設定する	⑨⑦ []	■P4-17 (システムモード別ECO設定)
ECOモード自動起動タイマ	自動起動でecoモード起動中に手動でeco解除した場合、再度ecoモードを起動するまでの時間を設定する	⑨⑧ []	■P4-26 (ECOモード自動起動タイマ)

※：特番でのLCD表示とメニュー項目でのLCD表示が異なります。

パソコンを使って電話帳を編集するには

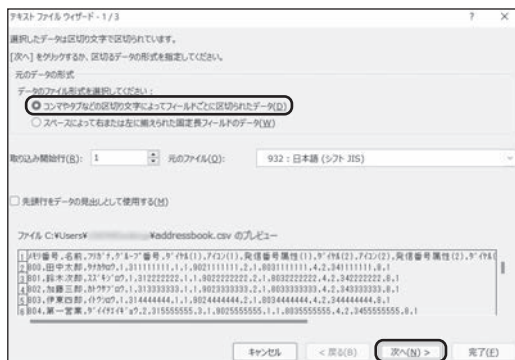
主装置から読み出した電話帳データは、テキスト（CSV）ファイルとしてパソコンに保存されます。データの参照や追加、修正などは、Excelを使って行います。

※ここでは、Windows 11でOffice 2021を使って操作する場合について説明しています。

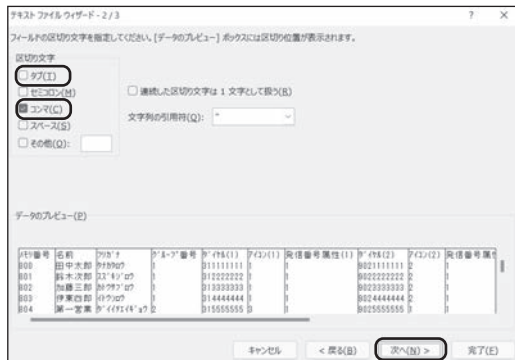
その他のバージョンでは、画面表示や操作方法などが異なる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

電話帳データをExcelに取り込む

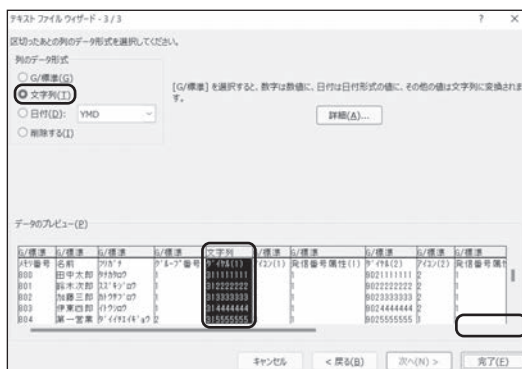
- 1 Excelを起動する。
- 2 [データ] タブ [データの取得] をクリックし、[従来のウィザード] の [テキストから (レガシ)] を選択する。
- 3 [テキストファイルのインポート] ダイアログボックスで、読み出した電話帳データを選択し、[インポート] ボタンをクリックする。
電話帳データは、「addressbook.csv」で保存されています。(お客様でファイル名の変更が可能です)
- 4 [元のデータの形式] の [コマやタブなどの区切り文字] によってフィールドごとに区切られたデータをクリックし、[次へ] ボタンをクリックする。



- 5 [区切り文字] の [タブ] のチェックを外し、[コマ] のみにチェックをつけて [次へ] ボタンをクリックする。



- 6 [データのプレビュー] で [ダイヤル (1)] が表示されている列をクリックし、[列のデータ形式] の [文字列] をクリックする。
- 7 「ダイヤル (2)」 ~ 「ダイヤル (4)」 の列についても手順6と同様の操作をし、[完了] ボタンをクリックする。



- 8 [データの取り込み] ダイアログボックスで、[既存のワークシート] が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする。

Excelのシートに、電話帳データが表示されます。



タイトル行は削除しないでください。



ワンポイント

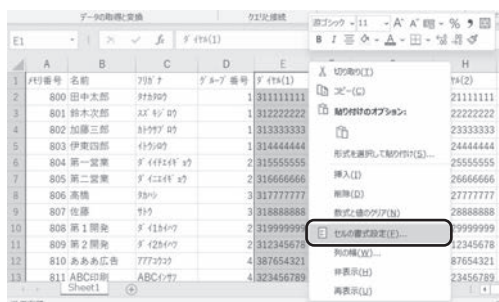
- [従来のウィザード] が表示されない場合は
手順2で [従来のウィザード] が表示されない場合は、以下の操作を行って、Excelのオプションを設定してください。
 - ① [ファイル] メニューから [オプション] をクリック [Excelのオプション] ダイアログボックスが表示されます。
 - ② [データ] タブをクリック
 - ③ [レガシ データ インポート ウィザードの表示] の [テキストから (レガシ)] にチェックマークをつける
 - ④ [OK] をクリック

パソコンを使って電話帳を編集するには
特番を使って操作するには

電話帳データを編集するときは

Excelに取り込んだ電話帳データを編集する場合は、必ず最初に以下の操作を行ってください。この操作を行わないと、電話番号の最初の「0」がExcelで正しく認識されません。

- 1 「ダイヤル (1)」が入力されている列を選択し、マウスを右クリックし、ショートカットメニューの「セルの書式設定」をクリックする。



- 2 [表示形式] タブの [分類] で [文字列] をクリックし、[OK] ボタンをクリックする。



- 3 「ダイヤル (2)」～「ダイヤル (4)」の列についても手順1～2と同様の操作をする。

このあと、電話帳データの編集を行ってください。



ワンポイント

●電話帳データを編集するときの注意点

「メモリ番号」、「名前」などのタイトル行は、削除しないでください。また、列を削除したり挿入したりしないでください。

●電話帳データ編集上の規定

各項目に使用できる文字や文字数などは以下の通りです。

項目	規定
メモリ番号	共通電話帳は000～799（「システム設定」によっては00～79） 個別電話帳は800～999（「システム設定」によっては80～99）
名前	全角最大10文字。漢字／ひらがな（全角）、カナ／英字／数字（半角）
フリガナ	半角最大12文字。カナ／英字／数字（半角）
ダイヤル	電話帳1件につき「ダイヤル (1)」～「ダイヤル (4)」の4つ。 半角最大32桁。0～9、*、#、-（ポーズ）が有効。
グループ番号	0～9（半角）
アイコン	電話帳1件につき「アイコン (1)」～「アイコン (4)」の4つ。 1～8（半角）のみ有効。（P3-3）
発信番号属性	電話帳1件につき「発信番号属性 (1)」～「発信番号属性 (4)」の4つ。1～2（半角）のみ有効。 1：一般の電話番号 2：PBXの内線番号

電話帳データを保存する

Excelで編集したデータを、主装置から読み出したデータと同じ形式で保存します。

1 [ファイル] メニューをクリックし、[名前を付けて保存] を選択する。

2 保存先を指定する。
ファイル名を変更して保存する場合は、[ファイル名] に新しいファイル名を入力します。

3 [ファイルの種類] ドロップダウンリストから「CSV (コンマ区切り)」を選択する。

4 [保存] ボタンをクリックする。
すでに同じファイル名のファイルが保存されている場合は、既存のファイルを置き換えるかどうかのメッセージが表示されます。
上書きする場合は[はい]をクリックします。別のファイルとして保存する場合は [いいえ] をクリックしてファイル名を変更し、[保存] ボタンをクリックします。
「このブックをコンマ区切り (.csv) 形式で保存すると、一部の機能が失われる可能性があります。機能が失われないようにするには、Excelファイル形式で保存してください。」というメッセージが表示されますが、そのまま保存して問題ありません。

5 「選択したファイルの種類は複数のシートを含むブックをサポートしていません。」というメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックする。

指定した場所に電話帳データが保存されます。
保存したデータは、電話帳編集画面 (P4-34) の [主装置へ書き込む] ボタンを使って主装置にコピーすることができます。



ワンポイント

●電話帳データをパソコンから主装置に書き込むと

メモリ番号が同じ電話帳データは、パソコンから書き込んだ電話帳データに書き換わります。パソコンから書き込んだ電話帳データに含まれないメモリ番号の電話帳が主装置にあった場合、その電話帳は削除されずに残ります。

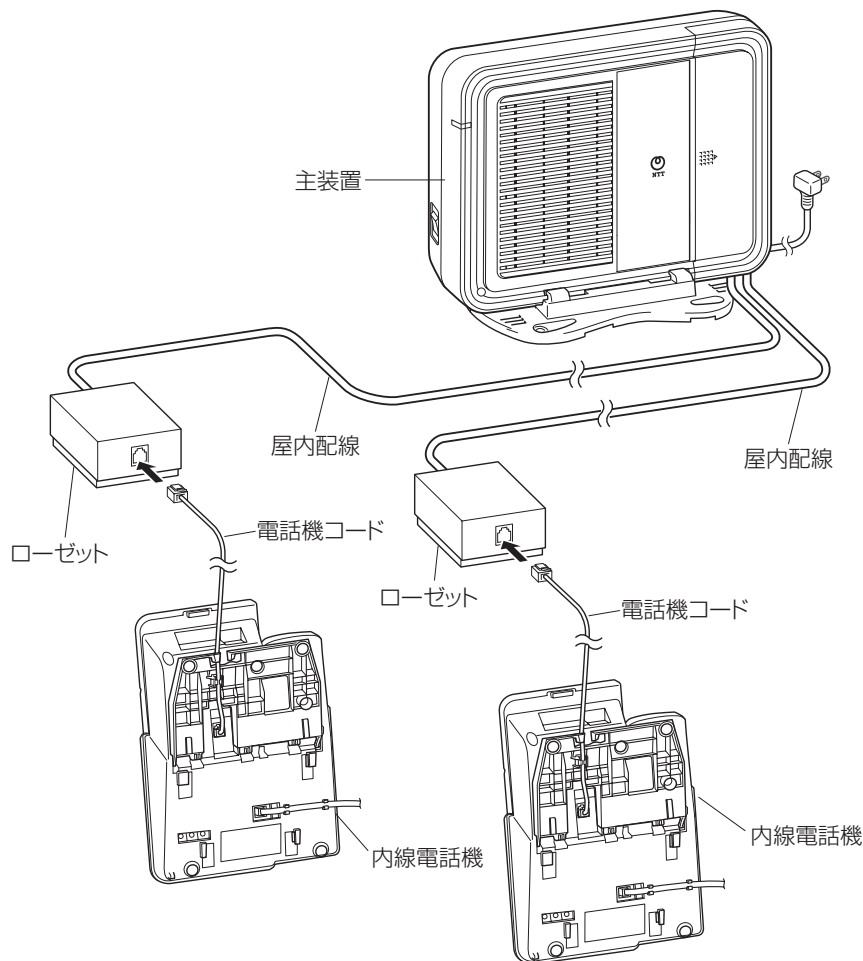
●主装置の電話帳データを削除するには

電話帳編集画面 (P4-34) を使うと、電話帳データを簡単に削除できます。1件単位で削除するときは、[削除] ボタンを使います。全件削除するときは [全削除] ボタンを使います。

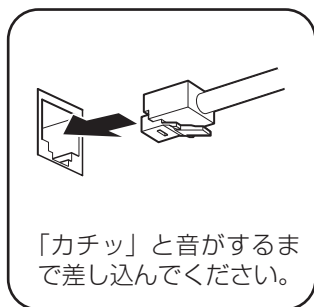
設置と接続について

最初に設置される場合、内線電話機を増設されたり移設される場合は、お買い求めになった販売店へご相談ください。

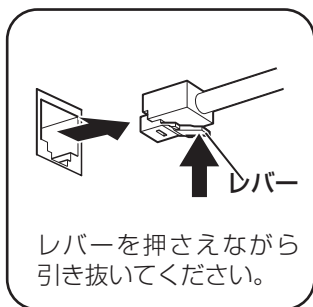
内線電話機とローゼットは、電話機コードで接続されています。お手入れするときなど、コードを外して再度接続する場合には、間違えないようにご注意ください。



● ハンドセットコードや電話機コードを差し込むとき



● ハンドセットコードや電話機コードを引き抜くとき



お知らせ

- 接続する場合、電話機コードを差し込んでから主装置の電源を入れてください。また、接続し直すときも同様の手順で接続してください。
- 実際の接続方法は使用する機器や設定する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、本図と異なる場合があります。

STOP お願い

- 工事設定したスイッチは、設定変更しないでください。



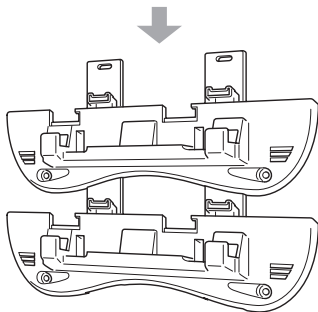
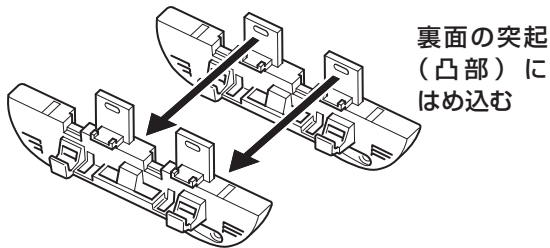
ワンポイント

- 内線番号を変更するときは
当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- 現在お使いの電話機などを接続するには
現在お使いの一般の電話機、コードレス電話機、留守番電話機、ファクス、モデムなどの接続については、必ず当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

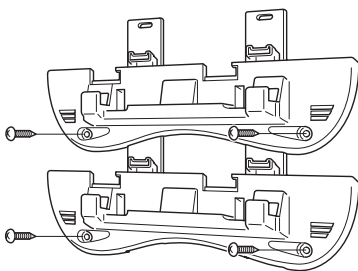
付属品などをご利用になるには

主装置を壁に取り付けて使う

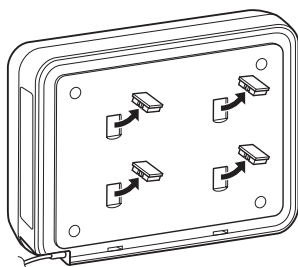
- 1 壁掛け卓上脚の片方の凹部と、もう一方の壁掛け卓上脚の凸部を合わせて接続する。



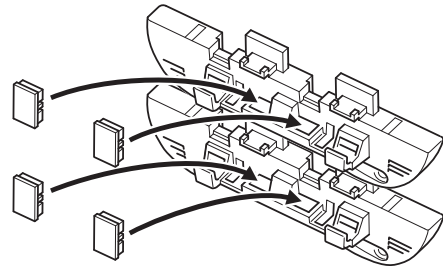
- 2 つなげた壁掛け卓上脚をネジで壁に取り付ける。



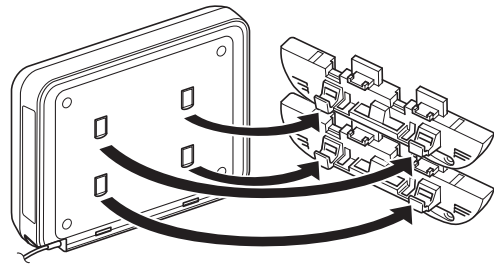
- 3 背面の凹部カバーを外す。



- 4 凹部カバーを壁掛け卓上脚のポケットに収納する。



- 5 壁に取り付けた壁掛け卓上脚に主装置を取り付ける。



付属品などをご利用になるには
設置と接続については

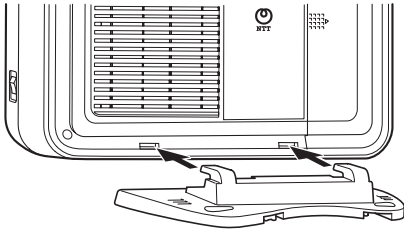
! 注意

主装置を取り付ける前に、壁掛け卓上脚が壁に確実に取り付けられているか確認してください。薄いベニヤ板や柔らかい壁などに取付けると、重みでネジが抜けて主装置が落下し、故障やけがの原因となることがあります。

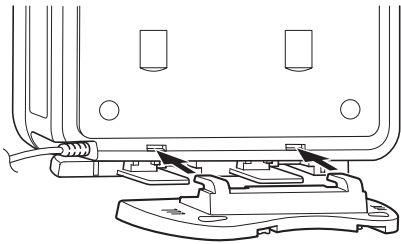
付属品などをご利用になるには

主装置を立てて使う

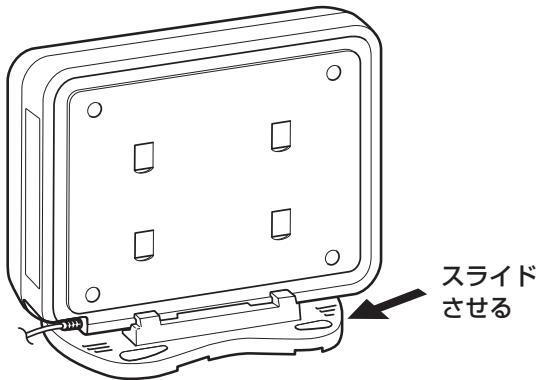
- 1 主装置に、壁掛け卓上脚の片方を取り付ける。



- 2 主装置の反対側の面に、もう一方の壁掛け卓上脚を取り付ける。



- 3 図のようにスライドさせて2つの壁掛け卓上脚がみ合うように固定する。

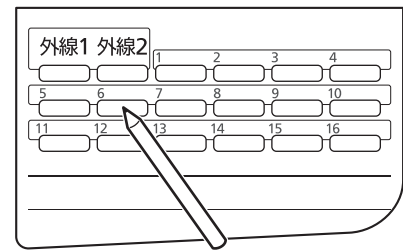


ワンタッチダイヤルカードを使う

- 1 電話機パネルの右上のくぼみに指をかけ、上に引き上げる。



- 2 ワンタッチダイヤルカードを取り出し、ワンタッチボタンに登録した相手先を記入する。



- 3 ワンタッチダイヤルカードをセットして、電話機パネルの左側のツメを電話機に差し込む。



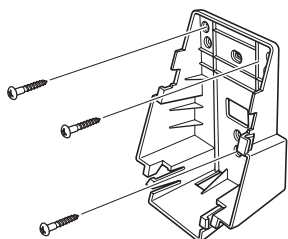
- 4 電話機パネルの右側のツメを電話機に差し込む。



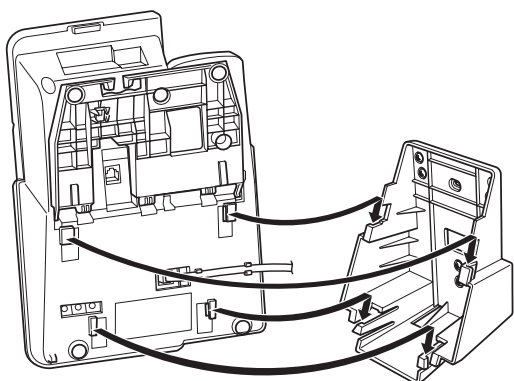
電話機を壁に取り付ける (オプション)

壁掛け用品を利用して、電話機を壁にかけてお使いになります。

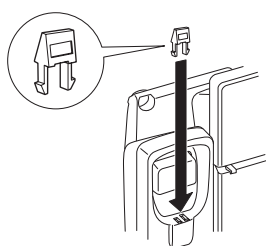
- 1** 壁掛け用品をネジで壁に取り付ける。



- 2** 電話機を壁掛け用品に取り付ける。
上側のツメをはじめに差し込み、次に下のツメを指で上にたわませながら差し込みます。



- 3** 壁掛け用品に添付されているハンドセット受けを電話機に取り付ける。

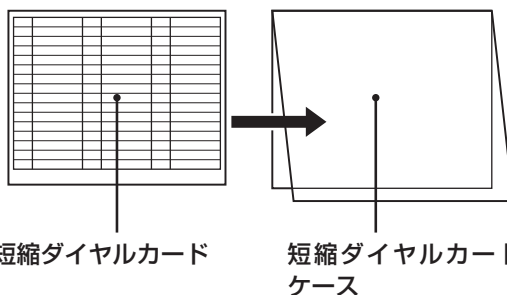


⚠ 注意

電話機を取り付ける前に、壁掛け用品が壁に確実に取り付けられているか確認してください。薄いベニヤ板や柔らかい壁などに取り付けると、重みでネジが抜けて電話機が落下し、故障やけがの原因となることがあります。

短縮ダイヤルカード (オプション) を使う

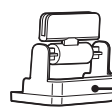
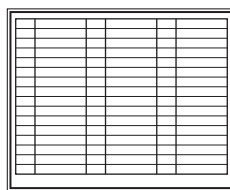
- 1** 短縮ダイヤルカードに登録した相手先を記入し、短縮ダイヤルカードケースに入れる。



短縮ダイヤルカード

短縮ダイヤルカード
ケース

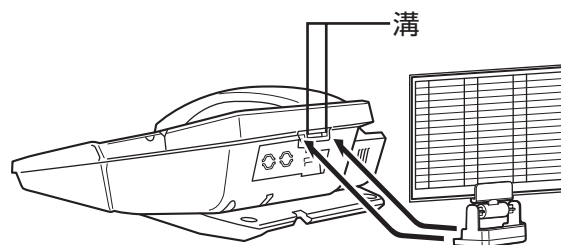
- 2** 短縮ダイヤルカードケースを短縮ダイヤルカードケースホルダに入れる。



短縮ダイヤルカードケース
ホルダ

- 3** 短縮ダイヤルカードケースホルダのツメを、電話機背面の溝に入れる。

短縮ダイヤルカードケースホルダを取り外すときは、両側のツメを押さえながら、溝から引き抜きます。



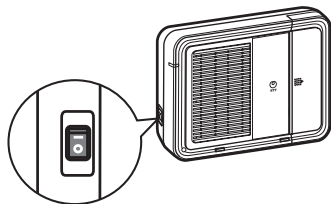
溝

主装置の電源を入れる／切るには

消防点検等で電源の入／切が必要になったときは、下記のように行ってください。

主装置の電源を入れる

- 1 主装置に接続されている電源プラグを電源コンセントにさす。
- 2 主装置 (P1-7) の左側にある電源スイッチを ONにする。

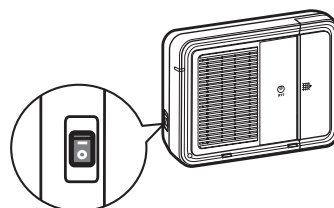


- 3 電話機が起動するのを待つ。



主装置の電源を切る

- 1 電源を切る前に、必ず次のことを確認する。
 - ・他の方が電話機を使用していないか
 - ・ソフトウェアの更新中 (P4-43) でないか
 - ・データの復元中 (P1-3) でないか
- 2 主装置 (P1-7) の左側にある電源スイッチを OFFにする。



- 3 電源コンセントから主装置に接続されている電源プラグを抜く。

STOP お願い

- 電源を切る前には、必ず、次のことを確認してから行ってください。
 - ・他の方が電話機を使用していないこと
 - ・ソフトウェアの更新中でないこと
 - ・データの復元中でないこと

停電になったときは

通話中に停電になると、電話が切れてしまいます。

停電中に電話をかけたり、受けたりするには、オプションの停電用電話機をお使いください。

停電中に停電用電話機で電話をかけるときは、ダイヤルボタン以外のボタンを押しても利用することはできません。

●停電時には以下の点にご注意ください

停電用電話機	電話をかけるには	ハンドセットを取りあげて、ダイヤルボタンを押してかけてください
	電話がかかってきたときは	ハンドセットを取りあげてお話しください
	内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません
停電用電話機以外の内線電話機	電話をかけるには	電話はかけられません
	電話がかかってきたときは	着信音が鳴らず、電話は受けられません
	内線やドアホンとのお話しは	内線やドアホンとのお話しはできません

●お知らせ

- 停電時には、次のような状態になります
 - ・停電用電話機のディスプレイ表示は消えますが、設定内容はそのまま保持されます。
 - ・停電用電話機では電話を受けることができますが、通常時とは異なる着信音が鳴ります。
 - ・停電用電話機がISDN電話機の場合は、プッシュホンサービスは利用できません（通話中PB送出手はできません）。
 - ・セキュリティサービス機能は利用できません。
 - ・ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用したすべての機能は利用できません。応答時に「ビュッ」という音が聞こえることがあります。この場合は一度電話を切って、再度着信音が聞こえてから応答すると、相手の方とお話しができます。
- 停電が復旧すると自動的に通常の状態に戻ります。停電用電話機でお話し中の通話は切れてしまいます。いったん電話を切って、再度おかけ直してください。アナログ停電電話機でお話し中の通話は切れない場合があります。この場合、お話しを継続することができ、お話しが終わってから通常の状態に戻ります。
- 通常の状態ですべての機能による通話中に停電になった場合は、お話し中の通話は切れてしまいます。いったん電話を切って、再度おかけ直してください。アナログ停電電話機でお話し中の通話は切れない場合があります。
- 停電状態になった直後や停電が復旧した直後は、ISDN停電電話機およびISDN回線がすぐには使用できないことがあります。この場合はハンドセットを戻し、数分間お待ちください。



ワンポイント

- ダイヤルインサービスをご利用のときは
停電時に外から電話がかかってきたとき、ダイヤルイン着信では正常に電話を受けることができません。
- メモリ保持電池の交換について (P6-18)

●メモリ保持電池の交換について

主装置の設定などのメモリを保持するために、リチウム電池が使用されています。

すべての内線電話機のディスプレイに次のように表示された場合は、お早めに電池交換をお願いいたします。

リチウム電池無し状態で電源を切ると、メモリ内容が保持できずにお買い求め時の値に戻ります。

交換時期の目安は約5年です。電池の交換は、当社のサービス取扱所へご依頼ください。

<電池交換が必要になった場合>

1月11日(月) 午後 3:05

リチウム電池無し

●こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける／受ける	ツーツー… (内線発信音)	ハンドセットを取りあげたとき または内線ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出せませ
	ツー (外線発信音)	外線ボタンを押したとき	電話をかけられます
	ブルルル… (呼出音)	外線または内線で相手の方を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています
	プープー… (話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき または他の内線電話機が使用中のとき	お話し中です
	ピッピッ・ピッピッ… (通信中着信通知音)	INSネット64の通信中着信通知サービスをご利用時、外線でお話し中に、さらに別の相手の方からの電話がかかってきたとき	別の相手の方から電話がかかってきました
登録完了	ツツツ… (設定登録音)	決定ボタンを押したとき	設定を開始します
	ピッピッ (登録確認音)	設定・登録の操作が終わったとき	正しく設定・登録されました
	ピーピー (登録確認音)		
	ピピピピピピ (登録拒否音)	無効な入力やボタン操作を行ったとき	正しく設定・登録できません
その他	ピピ・ピピ (アラーム音)	アラームの設定時刻になったとき	アラームの設定時刻になりました
	ピッ (ダイヤル押下音)	ダイヤルボタンを押したとき	ダイヤルボタンが押されました
	保留メロディ (保留音) ※	電話を保留したとき	電話が保留されています
	ピンポーン (チャイム音)	ドアホンから呼び出されたとき	ドアホンから呼び出されています
	プブブ (確認音)	通話中にドアホンから呼び出されたとき	ドアホンから呼び出されています

※ 設定により保留メロディを切り替えることができます。(▶P4-22)

電池交換が必要になったときは

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
全部の内線電話機が使えない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	—
	主装置の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	—
一部の内線電話機が使えない	内線電話機の電話機コードが抜けている	内線電話機の電話機コードを正しく接続してください	—
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかりと置き、しばらく待ってから電話をかけてください	—
着信音が鳴らない	着信音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	■P4-8
	着信音量が小さくなっている	着信音量を大きくしてください	■P1-17
	システムモードが夜／休日モードになっている	故障ではありません	■P4-24
「ツー」という発信音が聞こえない	決定ランプが点滅している	しばらく待ってからかけ直してください	—
	ハンドセットのコードが抜けている	ハンドセットのコードを正しく接続してください	—
	ハンドセットが浮いている	ハンドセットをしっかりと置き、しばらく待ってから電話をかけてください	—
こちらの声が相手に聞こえない	送話カットが設定されている	サービスボタン（送話カット）を押して赤いランプを消灯し、送話カットを解除してください	■P6-24
	スピーカ受話になっている	マイクボタンを押すか、ハンドセットを取りあげてお話しください	—
内線で呼び出すと「ブーブー…」という音が聞こえ、呼び出せない	相手の電話機が通話中	故障ではありません	—
	内線番号が違う	内線番号を確認してください	—
内線で呼び出すと他の内線電話機の着信音が鳴る	内線番号が違う	内線番号を確認してください	—
会議通話ができない	他の内線電話機で会議通話を行っている	他の内線電話機の会議通話が終了するまでお待ちください	—
外出先からのリモコン操作ができない	プッシュ信号を送れない電話機から操作している	プッシュ信号を送れる電話機から操作してください	■P3-32
	ガイダンスが聞こえている間に操作した	携帯電話などから操作する場合は、ガイダンスが終了してから操作してください	■P3-32
ドアホンからのチャイム音が鳴らない	着信音量が小さくなっている	着信音量を大きくしてください	■P1-17
	ドアホンのチャイム音が鳴らないように設定されている	故障ではありません	■P4-12
ダイヤルが終わっても呼び出し音が聞こえるまで時間がかかる	相手の方がナンバー・ディスプレイや発信者番号表示をご利用の場合は、呼び出し音が聞こえるまでの時間が長くなることもある	故障ではありません	—
ディスプレイに「リチウム電池無し」と表示される	メモリ保持電池の交換が必要な時期が近づいた	リチウム電池を交換してください	■P6-18

「こんなことがしたい」などといった場合にお役にたつ便利な操作や、操作中の注意点などをテーマ別に質問形式でまとめています。

登録・設定

Q 登録・設定操作を中止するときは？

A 待機中表示に戻るには、クリアボタンを長く押しします。オフックなどによっても中止できます。登録・設定操作を中止するときは、クリアボタンを長く押しすと待機中表示に戻れます（文字や数字の入力中を除く）。また、操作の途中でボタン操作を行わないまま約2分間経過すると、自動的に待機中表示に戻ります。操作の途中でハンドセットを取りあげたり、外線ボタン、内線ボタン、スピーカボタンのいずれかを押し、登録・設定が中止されます。（ワンタッチ登録中は、クリアボタン、外線ボタン、フレキシブルボタン、内線ボタン、スピーカボタンを押しとボタンの登録になり、中止できません。）
通話中にメニュー設定を行っていた場合は、操作の途中で通話を終了すると、登録・設定が中止されます。

Q 電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには？

A ポーズを入れたいところでフックボタンを押します。ワンタッチボタンや電話帳に登録する電話番号にポーズを入れたいときは、フックボタンを押します。フックボタンを1回押しごとに約3秒のポーズが入ります。ポーズも1桁と数えられ、ディスプレイには「-（ハイフン）」と表示されます。

電話帳

Q 電話帳を登録するには？

A 電話帳ボタンを使う方法の他にも、いろいろな登録方法があります。共通電話帳や個別電話帳を登録するには、次のような方法があります。

- 電話帳ボタンを長く押しして登録操作を開始する（P3-2）
- メニュー設定で登録する（P4-4、P4-18）
- Web設定で登録する（P4-32）
- 発信履歴や着信履歴を利用して登録する（P2-13）
- 電話帳メニューを利用し、共通電話帳を個別電話帳に登録、または個別電話帳を共通電話帳に登録する（P2-9）

Q 電話帳を登録するときの必須項目は？

A 電話番号とメモリ番号です。電話帳には名称、フリガナ、電話番号（最大32桁）、グループ、アイコン、PBX情報の各項目とメモリ番号が登録できます。電話番号とメモリ番号を登録すれば、名称やグループなどは省略することもできます。

Q 登録されている電話帳を編集／削除するには？**A**

電話帳の一覧画面または詳細画面から操作します。

<電話帳の一覧画面から編集／削除する>

- ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する
(▶P2-6～)
- ②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択する
- ③メニューボタンを押す
- ④**1** か **2** を押すか、上下ボタンで「1：編集」または「2：削除」を選択し、決定ボタンを押す
- ⑤編集する場合は、「電話帳を登録する」(▶P3-2)と同様の操作で内容を登録し直す
- ⑥削除する場合は、上下ボタンで「1：はい」を選択し、決定ボタンを押す

<電話帳の詳細画面から編集／削除する>

- ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する
(▶P2-6～)
- ②上下左右ボタンで確認したい電話帳を選択し、決定ボタンを押す
- ③メニューボタンを押す
- ④**3** か **4** を押すか、上下ボタンで「3：編集」または「4：削除」を選択し、決定ボタンを押す
- ⑤編集する場合は、「電話帳を登録する」(▶P3-2)と同様の操作で内容を登録し直す
- ⑥削除する場合は、上下ボタンで「1：はい」を選択し、決定ボタンを押す

Q 電話帳が登録できないときは？**A**

すでに登録がいっぱいのときには、不要な電話帳を削除してください。また、Web設定で登録するときは、正しく操作しているかどうかを確認してください。

- ディスプレイに「メモリがいっぱいです」と表示されたとき
すでに登録件数がいっぱい、登録できません。不要な電話帳を削除してください。
- Web設定の項目に「電話帳編集」／「電話帳削除」が表示されないとき
個々の電話機の個別電話帳を登録するには、ユーザIDとして目的の電話機の内線番号を入力し、電話機ごとの電話機暗証番号を入力してログインする必要があります。

回 線

Q INSネット64をご利用になるには？

A 発信時、着信時のディスプレイの表示や操作方法が異なります。

＜電話をかけるとき＞

- 外に電話をかけるときは、ディスプレイに「ISDN」と表示されます。
- 「ISDN料金表示設定」(P4-24)が「設定する」のときには、通話終了後、ディスプレイに通話料金が表示されます。
- 外線ボタンを押して「ツー」という音を確認し、電話番号を押したあと、通常はダイヤルが開始されるまでに約6秒かかります。電話帳や着信履歴などを使って電話をかけるときも同様です。この場合、[#]を押すと、すぐにダイヤルが開始されます。

＜電話がかかってきたとき＞

- 電話番号の通知があるときは、ランプが点滅している外線ボタンを押したときに、相手の方の電話番号(最大40桁)が表示されます。21桁以上のときは、クリアボタンを押すと残りの桁が確認できます。
- 応答後、一定時間が経過すると、電話番号表示が通話時間表示に切り替わりますが、通話中(会議通話中を除く)にもクリアボタンを押すことにより、表示の切替が行えます。
- 相手の方の電話番号が表示されずに、その理由を示す表示が表示される場合があります。(P3-48)

Q VoIP回線／ひかり電話をご利用になるには？

A 発信時、着信時のディスプレイの表示や操作方法が異なります。

＜電話をかけるとき＞

- ひかり電話が割り当てられている外線ボタンを押して外に電話をかけるときは、ディスプレイに「VoIP」と表示されます。
- VoIP回線／ひかり電話をご利用時、110番、118番、119番などに電話をかけるときは、自動的に一般加入電話回線に切り替えて発信されることがあります。また、このときには通常の通話料金が発生します。
- 外線ボタンを押して「ツー」という音を確認し、電話番号を押したあと、通常はダイヤルが開始されるまでに約6秒かかります。電話帳や着信履歴などを使って電話をかけるときも同様です。この場合、[#]を押すと、すぐにダイヤルが開始されます。
- ひかり電話でご利用できない電話番号に電話をかけると、「ブブッ、ブブッ…」という音が聞こえる場合があります。このときは他の外線でかけ直してください。

＜電話がかかってきたとき＞

- 通常どおりに電話を受けることができます。通話中はディスプレイに「VoIP」と表示されます。

保留／内線通話／保留転送

Q 保留／保留転送中に電話機のスピーカから警報音が鳴ったら？

A 保留状態が長時間続いていることをお知らせする警報音です。保留中の電話に出ると、警報音が止まります。
保留にしてから保留警報音を鳴らすまでの秒数や、保留警報音が鳴らないようにする設定は、メニュー設定やWeb設定、「システム設定」で変更できます。(P4-22、P4-38)
また、保留警報音を一定時間鳴らしたあと、自動的に電話を切るように設定することもできます。

Q 内線呼び出しのときに、音声でなく、トーン（信号音）で呼び出すには？

A 内線呼び出し中に **(0)** を押します。
(0) を押すごとに、呼び出し方法を音声からトーン（信号音）、またはトーン（信号音）から音声に切り替えることができます。

通 話

Q お話しをスピーカで聞くには？（スピーカ受話）

A ハンドセットでお話し中にスピーカボタンを押します。
ハンドセットで通話中にスピーカボタンを押すと、スピーカから相手の方の声が聞こえます。こちらの声は、相手の方には聞こえません。また、スピーカ受話のときにハンドセットを置いて電話は切れません。ハンドセットを取りあげると、ハンドセットでのお話しに戻ります。

Q 一時的にこちらの音声相手に聞こえないようにするには？（送話カット）

A サービスボタン（送話カット）を押します。
あらかじめサービスボタンに「送話カット」の機能を割り当てておきます。(P3-11) 通話中にこのボタンを押すと、サービスボタン（送話カット）のランプが赤く点灯し、一方的に相手の音声だけが聞こえる状態になります。お話しできる状態に戻すときは、もう一度このボタンを押します。
通話中だけでなく、待機中でも送話カットの設定／解除が行えます。また、送話カット状態で通話を終了した場合は、送話カットが設定されたままとなりますのでご注意ください。

Q 内線または外線でお話し中にドアホンからの呼び出しに应答するには？

A 内線または外線のお話しを終えてハンドセットを置き、もう一度ハンドセットを取りあげると应答できます。(スタードアホンでは、さらにランプが点滅しているフレキシブルボタンを押してください。)
お買い求め時には、通話中はドアホンの呼び出し音が聞こえるように設定されています。通話中にハンドセットまたはスピーカから確認音が聞こえたら、内線または外線のお話しを終え、いったんハンドセットを置き（ハンズフリー通話のときはスピーカボタンを押す）、もう一度ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押す（スタードアホンでは、点滅しているフレキシブルボタンを押す）と、ドアホンに应答できます。

表示

Q 「夜間モード」／「休憩モード」／「休日モード」と表示されているときは？

A システムモードが夜／休憩／休日モードに切り替えられています。
システムモードが夜／休憩／休日モードに切り替わっているときには、それぞれのモードがディスプレイに表示されます。昼モードのときにはモードは表示されません。システムモードは、メニュー設定またはWeb設定により切り替えることができます。(■P4-24、P4-39) また、時間帯によって自動的に切り替わるように設定することもできます。(■P4-23、P4-39)

Q 「FAX受信しました」と表示されているときは？

A 内線に接続されているファクス端末でファクスを受信したことをお知らせしています。
機能ボタン、クリアボタンの順に押すと、表示を消すことができます。

Q ディスプレイの表示やランプ表示が消えているときは？

A 省電力モードが設定されています。
「システム設定」によって省電力モードの起動が設定されていると、一定時間待機中表示が続いたときに自動的に省電力モードに切り替わります。省電力モードに切り替わると、ディスプレイの表示は消えます。また、他の内線電話機の使用状況を示す外線ランプや不在着信をお知らせする履歴ランプも消灯します。ディスプレイのバックライトを点灯させている場合には、バックライトも消灯します。
ハンドセットを取りあげたりボタン操作を行ったりすると、省電力モードは解除されます。また、着信があったときにも解除されます。

その他

Q 長い電話番号をかけるときには？ (追加ダイヤル)

A 追加ダイヤルでかけると便利です。
電話帳やワンタッチダイヤル、発信／着信履歴にダイヤルを追加して電話をかけることができます。

- 登録／記録されている内容のあとにダイヤルを追加するとき
登録／記録されている電話番号を使った発信操作に続けてダイヤルボタンを押します。電話帳を使うときは次のように操作します。
 - ①外線ボタンを押す
 - ②短縮ボタンを押す
 - ③メモリ番号をダイヤルボタンで押す
 - ④追加する番号をダイヤルボタンで押す
- ワンタッチダイヤルを使うとき：手順②～③の代わりにワンタッチボタンを押す
- 最後に電話をかけた相手の方に向け直すとき：手順②～③の代わりに発信履歴ボタンを押す

- 登録／記録されている内容の前にダイヤルを追加するとき
追加する番号をダイヤルボタンで押してから、登録／記録されている電話番号を使った発信操作を行います。電話帳を使うときは次のように操作します。
 - ①外線ボタンを押す
 - ②追加する番号をダイヤルボタンで押す
 - ③短縮ボタンを押す
 - ④メモリ番号をダイヤルボタンで押す
- ワンタッチダイヤルを使うとき：手順③～④の代わりにワンタッチボタンを押す
ただし、手順③～④の代わりに発信／着信履歴を用いてダイヤルすることはできません。
- プリセットダイヤルで電話をかけるとき
目的の電話帳やワンタッチダイヤル、発信／着信履歴を表示させてからダイヤルボタンで番号を追加し、発信操作を行うことができます。電話帳を使うときは次のように操作します。
 - ①目的の電話帳を検索する (一覧画面で目的の電話帳を選択、または詳細画面を表示)
 - ②追加する番号をダイヤルボタンで押す
 - ③外線ボタンを押す
- 発信／着信履歴を使うとき：手順①の代わりに目的の発信／着信履歴を検索する
- ワンタッチダイヤルを使うとき：手順①の代わりにワンタッチボタンを押す

Q 転送電話ができないときは？**A** 登録や設定に間違いがないかを確認してください。

- 転送先リストに電話番号が登録されていますか？
転送電話をセットしても、転送先リストに正しく電話番号が登録されていないと転送できません。転送先リストを登録してください。(▶P3-15)
- 転送電話に必要な操作はすべて完了していますか？
転送電話に必要な登録やセット操作が正しく行われているかどうかを確認してください。(▶P3-15 ~ P3-19)
- 転送先リストに登録した電話からかけていませんか？
転送先リストに登録した電話番号からの電話は、転送電話の対象になりません。

Q 迷惑電話を着信拒否するには？**A** ナンバー・ディスプレイをご利用になっているか確認してください。

- アナログ回線、VoIP回線、またはひかり電話をご利用の場合、着信拒否の機能をご利用になるにはナンバー・ディスプレイのご契約（有料）が必要です。(▶P3-46)
- 通話中にサービスボタン（着信拒否）を押します。
あらかじめサービスボタンに「着信拒否」の機能を割り当てておきます。(▶P3-11)
通話中にこのボタンを押すと、通話相手の方の電話番号を共通電話帳の着信拒否が設定されているグループに登録することができます。また、通話終了後でも着信履歴から着信拒否登録することができます。(▶P3-7)

Q コールバックができないときは？**A** 次のことを確認してください。

- アナログ回線をご利用ではありませんか？
アナログ回線では、コールバックを利用できません。
- コールバックの対象としたい電話番号は、正しく登録されていますか？
コールバックの対象としたい電話番号は、あらかじめ共通電話帳に登録しておく必要があります。個別電話帳に登録しても無効となります。
また、同じ電話番号を共通電話帳に重複して登録しないようにご注意ください。重複していると、コールバックが行われません。
- 呼び出し音が聞こえたあとすぐに電話を切りましたか？
「コールバック着信」と判定されるのは、着信後すぐ（お買い求め時：6秒）に切れた着信のみです。この時間を経過してから電話を切った場合、コールバックは行われません。
- 内線電話機側の方は、設定されている時間内に応答しましたか？（システム内線着信の場合）
携帯電話を切ったあと、内線電話機側の方が呼び出されている間（お買い求め時：30秒）に応答しなかったときは、システム内線着信のコールバックが行われません。
- 内線電話機側からかかってきた電話にすぐに携帯電話で応答しましたか？
システム設置所からのコールバックが正しく行われても、設定されている時間内（お買い求め時：120秒）に応答操作をしなかったときや携帯電話が圏外だったときは、電話が切れます。

アルファベット

- DP回線 …………… ダイアル回線（パルス回線）のことです。
- FAX/TEL切替 …………… 外線からの着信に主装置が応答し、FAX信号を検出すると自動的にファクスを呼び出すことができる機能のことです。
- FAX自動転送 …………… 電話機が外線着信に応答したとき、相手がファクスであった場合は自動的にファクスに転送する機能のことです。
- INSネット64 …………… INSネットサービスの中で、1回線で情報チャンネル（B）2本、信号チャンネル（D）1本を同時に利用できるサービスです。
- PB回線 …………… プッシュ回線（トーン回線）のことです。
- VoIP …………… IP網を利用して提供する音声電話サービスです。
- Web設定 …………… LANで主装置と接続したパソコンを使って、個々の電話機やシステムについての登録・設定を行うことです。

五十音

【ア行】

- 空き外線 …………… 使用していない外線で、発信・着信できる外線のことです。
- オフフック …………… ハンドセットを取り上げることです。
- オンフック …………… ハンドセットを置くことです。
- オンフックダイヤル …… ハンドセットを置いたまま、スピーカボタンを押し、ダイヤルボタンを押すことです。

【カ行】

- 外線グループ …………… 「システム設定」により、收容されている外線をいくつかのグループに分けたものです。
- 外線捕捉 …………… 「ツー」という外線発信音が聞こえる状態を外線捕捉の状態といいます。この状態のときに外へ電話をかけることができます。
- 簡易自動再発信 …………… 外線発信時に、相手の方がお話し中や応答しないときにセットすると、相手の方が応答するまで自動的に再ダイヤルする機能のことです。
- キーパッド …………… INSネット64に送出するデータのことです。

【サ行】

- システム設定 …………… スマートネットコミュニティαZX Home の設置時にあらかじめ登録・設定しておくもので、システムの基本的な機能・動作を決めるものです。設置以後の設定内容の変更については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。（☞P4-40）
- システムモード …………… スマートネットコミュニティαZX Home を、時間帯に応じて動作させるための動作形態区分です。昼、夜、休憩、休日の4つに区分できます。
- 自動応答サービス …………… 外線からの着信にシステムが自動的に応答する機能を利用して、外出先からリモコン操作を行うことです。
- 主装置ソフトウェア …… スマートネットコミュニティαZX Home を動作させるプログラムのことです。ソフトウェアを最新のものに更新することにより、快適に動作させることができます。

- ステップコール …………… 内線個別呼び出しをしたとき、相手の方がお話し中などの場合、代わりに自グループ内の他の電話機を呼び出すことです。
- スピーカ受話 …………… スピーカで相手の声を聞くことです。

【タ行】

- ダイヤルイングループ
ボタン (NK/NKG) …… ダイヤルイン番号または、i・ナンバーを割り当てて、当該ボタンのあるすべての電話機に発着信させるためのボタンです。複数の電話機で、発着信グループなどを運用する場合に利用します。
- ダイヤルインサービス… 外線から直接内線電話機を呼び出すサービスです。
- 代理応答 …………… 他の端末への着信に応答できる機能のことです。
- 着信音 …………… 電話がかかってきたときに鳴る呼び出し音のことです。
- 中継発信 …………… 外出先から主装置を経由して他の相手へ発信することです。スマートネットコミュニティαZX Homeでは、コールバック(中継発信、自動応答サービス)、リモコン操作(自動応答サービスを利用した外線への転送)など、いろいろな中継発信が行えます。
- 追加ダイヤル …………… 再ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳などにおいて、ダイヤルをさらに追加して発信する機能のことです。
- テナント …………… 電話機グループと外線グループから構成されるグループのことです。
- 転送電話 …………… かかってきた電話を、あらかじめ登録されている電話番号に転送させる機能です。外出するときなどに手動でセットする転送電話(「電話機起動転送」)の他、常時セットしておく「電話帳グループ転送」「システムモード転送」があります。
- 電話機グループ …………… 電話機(端末など)から構成されるグループのことです。

【ナ行】

- 内線代表呼出 …………… 内線番号の代わりに「システム設定」した代表番号を押すと、そのグループ内の待機中の電話機を1台呼び出す機能です。
- 内線ダイレクトコール… 電話機のフレキシブルボタンに内線番号を設定し、フレキシブルボタンを押すことによりワンタッチで内線電話機を呼び出すことです。
- 内線ホットライン …… 電話機ごとに呼び出し先の内線番号を設定し、ハンドセットを取りあげるだけで内線を呼び出すことです。

【ハ行】

- パーク保留 …………… 通話中にパーク保留ボタンを押すことにより、通話相手を保留し、同じパーク保留グループとして設定した電話機のみから保留解除できるようにする機能です。
- ハンズフリー …………… ハンドセットを使わないで、内蔵マイクによりお話しができる状態のことです。ハンズフリー応答、ハンズフリー通話などがあります。
- 不在着信転送 …………… かかってきた電話を他の内線電話機に自動的に転送させる機能です。席を離れるときなどに便利です。
- プリセットダイヤル …… ハンドセットを置いたままダイヤルしたあとに、外線捕捉または内線捕捉をして発信する機能のことです。
- プリセレクション …… ハンドセットを置いたまま、外線ボタンまたは内線ボタンを押して、ハンドセットを取りあげるかスピーカボタンを押すと、回線が捕捉できる機能です。

【マ行】

メニュー設定 …………… 電話機のディスプレイを見ながらメニュー操作を行うことにより、各種の登録・設定を行うことです。メニューは内線電話機ごとに設定する「電話機毎設定」と、システム全体に関する「システム一括設定」に分かれています。

【ワ行】**ワンタッチオンフック**

サービス …………… 空いている外線ボタンまたは内線ボタンを押すだけで、スピーカボタンを押さなくてもオンフックダイヤルの操作ができる機能です。

アルファベット

DECT方式DIV KT形コードレス電話機	5-4
DECT方式DIVコードレス接続装置	5-4
DECT方式DIVコードレス電話機	5-4
DECT方式コードレス接続装置	5-4
DECT方式コードレス電話機	5-4
DP→PB切替	3-52
DP回線	6-27
ecoモード	3-38
ECOモード自動起動タイマ	4-26
FAX/TEL切替	6-27
FAX/TEL切替設定	4-27
FAX/TEL呼出回数	4-27
FAX自動転送	4-27, 4-41, 6-27
FAX受信表示	4-41
F/T切替サービス設定	4-41
F/T切替送出音源設定	4-41
F/T切替対象外番号	4-27
F/T切替ダイヤルイン設定	4-41
INSネット64	3-43, 6-23, 6-27
ISDN料金表示設定	4-24
i・ナンバーサービス	3-54
PB回線	6-27
VoIP	6-23, 6-27
Web設定	4-32, 6-27
終了する	4-33
中止する	4-33
電話帳を編集する	6-9
Web設定項目一覧	
システム一括ユーザデータ設定項目	
一覧	4-38
電話機毎ユーザデータ設定項目一覧	4-36

五十音

【ア行】

空き外線	6-27
空き外線自動発信	2-14
暗証番号設定	4-15, 4-25
一斉・グループ呼出	2-21
一斉放送	5-11
音	
こんな音がしたら	6-19
オプション装置	1-4, 5-2
オフフック	6-27
オフフック外線応答設定	4-7
オフフック外線自動捕捉	2-2
オフフック外線発信設定	4-6
オフフック内線捕捉	2-2
お待たせメッセージ	3-24
オンフック	6-27
オンフックダイヤル	2-3, 6-27
音量調節ボタン	1-8
音量の調節	
スピーカ音量	1-17
着信音量	1-17
ハンドセット受話音量	1-18

【カ行】

カールコードレス電話機	5-2
会議通話	3-20
外線グループ	2-15, 5-5, 6-27
外線群指定発信	2-15, 5-5
外線毎着信拒否設定	4-7
外線着信	2-17, 5-6
外線着信鳴動設定	4-7
外線転送先呼出タイマ	4-29
外線転送方式設定	4-29
外線発信	2-2, 5-5
外線捕捉	6-27
外線ボタン	1-8
回線名称	2-4
外線ランプ	1-11

外部音源	5-4
外部スピーカ	5-11
角度調節足	1-9, 1-10
壁掛け卓上脚	1-6, 1-7, 6-13, 6-14
壁掛け用穴	1-7, 1-9, 6-13, 6-15
カラーカメラドアホン	5-3
カラーカメラドアホン用モニター	5-3
簡易自動再発信	2-13, 6-27
キーパッド	6-27
機能特番	6-5
機能ボタン	1-8
キャッチホンサービス	3-51, 5-8
休憩モード	6-25
休日モード	6-25
行検索	2-10
共通電話帳	3-2
共通電話帳全削除	4-19
共通電話帳登録	4-18
共通保留	2-23
クリアボタン	1-8
グループ検索	2-10
グループ毎コールバック	4-19
グループ毎鳴動設定	4-5
グループ着信先設定	4-18
グループ着信ランプ設定	4-5
グループ名称設定	4-18
決定ボタン	1-8
決定ランプ	1-11
圏外時外線転送	3-19
圏外時サービス設定	4-9
工事者設定用スイッチ	1-9
構成図	1-4
口頭転送	2-26
コールバック	3-26
コールバックができないとき	6-26
故障	
お問い合わせ	6-37
故障かな?と思ったら	6-20
個別電話帳	3-2
個別電話帳全削除	4-4
個別電話帳登録	4-4
個別保留	2-23

【サ行】

サービス番号/リモート番号	3-35
サービスボタン	3-11
サービスロック	3-40
サービスロック対象設定	4-15
在宅自動応答設定	4-31
削除ダイヤル設定	4-20
サブアドレス設定	4-21
三者会議通話	2-27
事業者識別番号付与	4-20
時刻設定	1-16, 4-23
システム一括設定(メニュー設定)	4-3
システム一括ユーザデータ設定	4-38
システム設定	4-40, 6-27
システム着信メロディ設定	4-21
システム内線着信	3-26
システムモード	3-36, 6-27
システムモード別に外線着信音の鳴動を 設定する	3-37
利用する	3-36
システムモード時刻設定	4-23
システムモード設定	4-24
システムモード転送	3-19
システムモード別ECO設定	4-17
自動応答サービス	3-31, 6-27
主装置	1-6, 1-7
主装置IPアドレス表示	4-14
主装置キャビネット	1-7
主装置ソフトウェア	4-42, 6-27
手動でダウンロードする	4-43
手動でチェックする	4-42
受話音保持	4-13
受話口	1-8
受話増保持	4-13
順次転送	3-18
仕様	6-36
上下左右ボタン	1-8
省電力モード	6-25
シングルラインコードレス電話機	5-3
スタードアホン	5-4
ステップコール	2-21, 2-26, 6-28

- スピーカ 1-8
 - スピーカ音量 1-17
 - スピーカ受話 2-4, 6-24, 6-28
 - スピーカボタン 1-8
 - スピーカランプ 1-11
 - セキュリティ関連タイマ設定 4-30
 - セキュリティ起動／解除 4-31
 - セキュリティ通報番号登録 4-31
 - セキュリティモード設定 4-30
 - 接続 6-12
 - 設置 6-12
 - 設定特番 6-6
 - 送話カット 6-24
 - 送話口 1-8
 - 即時転送 3-18, 4-29
 - ソフトウェア自動更新設定 4-30
- 【タ行】**
- 待機中表示 1-12
 - ダイヤルイングループボタン
（NK/NKG） 6-28
 - ダイヤルインサービス 3-54, 6-28
 - ダイヤル押下音設定 4-16
 - ダイヤル中特番 6-2
 - ダイヤル発信中表示 1-12
 - ダイヤルボタン 1-8
 - 代理応答 2-21, 2-26, 5-8, 5-9, 5-11, 6-28
 - 短縮ダイヤルカード 6-15
 - 短縮ボタン 1-8
 - 単体電話機 5-2
 - 単体電話機アダプタ 5-2
 - 着信音 6-28
 - 着信音停止設定 4-8
 - 着信音優先順位 4-40
 - 着信音量 1-17
 - 着信拒否 3-46
 - 着信拒否登録 3-7
 - 着信拒否ガイダンス 3-50, 4-21
 - 着信転送機能 3-43
 - 着信音色設定 4-7
 - 着信未応答警報 2-18
 - 着信未応答警報タイマ 4-21
 - 着信ランプ 1-11
 - 着信履歴
 - 着信履歴一覧画面 2-13
 - 着信履歴詳細画面 2-13
 - 履歴を使って電話をかける 2-12
 - 着信履歴発信 2-12
 - 着信履歴保存設定 4-17
 - 着信履歴ボタン 1-8
 - 着信履歴ランプ 1-11
 - 注意シール 1-7
 - 中継発信 6-28
 - コールバックを利用して外線発信する 3-28
 - 中継発信できる相手先を限定する 4-40
 - 中継発信規制設定 4-19
 - 長時間通話警報タイマ 4-26
 - 追加ダイヤル 6-25, 6-28
 - 通信中着信通知 3-43
 - 通信中転送機能 3-43
 - 通風孔 1-7
 - 通話時間表示 1-12
 - 通話中着信 2-18
 - 通話モニタ 2-18
 - デジタルシステムコードレス接続装置 5-3
 - デジタルシステムコードレス電話機 5-3
 - ディスプレイ 1-8
 - ディスプレイの見かた 1-12
 - 停電 6-17
 - 停電用電話機 5-2
 - テナント 4-40, 6-28
 - 電源コード 1-7
 - 電源スイッチ 1-7
 - 電源プラグ 1-7
 - 電源ランプ 1-7
 - 転送 3-13, 3-14, 3-15
 - 圏外になったときにかかってきた電話を
転送させる 3-19
 - システムモードに応じた転送を行う 3-19
 - 順次転送と同時転送の違い 3-18
 - 転送電話機能の設定を変更する 3-18
 - 転送電話の対象とする回線を設定する 3-16
 - 転送電話の転送先リストを登録する 3-15

転送電話をセットする	3-17
特定の相手先からの電話を転送する	3-19
不在着信転送を登録する	3-13
転送開始タイマ	4-29
転送先リスト登録	4-9, 4-29
転送電話	6-28
転送元呼出継続設定	4-29
電池交換	6-18
添付品	1-6
電話機起動転送	3-15
電話機グループ	6-28
電話機コード差込口	1-9
電話機毎設定 (メニュー設定)	4-2
電話機毎ユーザーデータ設定	4-36
電話帳	2-6, 3-2, 6-21
外線通話中に内容を確認する	2-7
詳細を確認する	2-7
電話をかける	2-6
登録する	3-2
登録できないとき	6-22
登録できる内容	3-3
登録内容を変更する	6-22
パソコンで編集する	6-9
文字を入力する	3-5
電話帳ガイド表示	4-19
電話帳グループ転送	3-19
電話帳検索	4-4
電話帳詳細読出タイマ	4-26
電話帳ダイヤル	2-6
電話帳鳴り分け	3-46
電話帳ボタン	1-8
電話帳メニュー	2-9
電話を受ける	2-17, 2-19
単体電話機で受ける	5-6
通話中に電話がかかってきたとき	2-18
続けてかかってきた電話に応答する	2-18
内線で呼び出されたとき	2-20
ハンズフリーで受ける	2-19
ハンズフリーで内線通話をする	2-22
電話をかける	
最後にかけた相手の方に向け直す	2-13

自動発信可能な外線の中から選んで かける	2-14
単体電話機でかける	5-5
単体電話機で電話帳を使ってかける	5-7
電話帳ダイヤルでかける	2-6
電話番号を確認してからかける	2-5
内線番号で呼び出す	2-20
ハンズフリーでかける	2-16
ハンズフリーで内線通話をする	2-22
ハンドセットを置いたままかける	2-3
履歴を使って電話をかける	2-12
ワンタッチボタンでかける	2-11
ドアホン	5-3, 5-9, 5-10
ドアホンチャイム音鳴動タイマ	4-28
ドアホンネーム登録	4-28
ドアホン鳴動設定	4-12
同時転送	3-18
特長	1-5
特番一覧	6-2
時計アラーム (1回)	4-11
時計アラーム (毎日)	4-11
トリオホン	3-42

【ナ行】

内線グループ一斉鳴動	4-12
内線代表呼出	5-8, 6-28
内線ダイレクトコール	4-40, 6-28
内線通話	2-20, 5-8
ハンドセットを置いたままお話しする	2-22
内線ネーム登録	3-12, 4-28
内線ハンズフリー応答	2-22
内線ボタン	1-8
内線ホットライン	5-8, 6-28
内線ホットライン設定	4-12
内線呼出音設定	4-12
内線ランプ	1-11
ナンバー・ディスプレイ	3-46
入力モード	3-5
ネットワークサービス	3-42

【ハ行】

パーク保留	2-24, 4-41, 6-28
バックアップ	1-2
バックライト	1-13, 4-16
発信可能ダイヤル設定	4-20
発信規制ダイヤル設定	4-20
発信専用制御サービス	3-53
発信者番号表示	3-46
発信／着信履歴発信	2-12
発信履歴	
発信履歴一覧画面	2-13
発信履歴詳細画面	2-13
履歴を使って電話をかける	2-12
発信履歴発信	2-12
発信履歴ボタン	1-8
発信番号ダイヤルイン	3-46
ハンズフリー	6-28
電話をかける	2-16
ハンドセット	1-8
ハンドセットコード	1-8
ハンドセットコード差込口	1-9
ハンドセット受話音量	1-18
非通知着信拒否	3-46, 3-49, 4-21
非通知着信拒否サービス	3-49
日付設定	1-15, 4-23
標準電話機	1-6, 1-8
復元	1-3
不在着信転送	3-13, 6-28
不在着信転送設定	4-12
付属品	1-6, 6-13
フッキング操作	5-6
フックスイッチ	1-8
フックボタン	1-8
プッシュホンサービス	3-52
フリガナ検索	2-7
プリセットダイヤル	2-5, 6-28
プリセット読出タイマ	4-26
プリセクション	6-28
フレキシブルボタン	1-8
ヘッドセット	4-13, 5-3
ボイスワープ	3-55

ポーズ（待ち時間）	6-21
保守サービス	6-37
保留	2-23, 5-6
保留警報音	2-24
保留警報音送出タイマ	4-22
保留転送	
他の外線に転送する	2-27
他の内線電話機に転送する	2-25
単体電話機で電話を外線に転送する	5-8
単体電話機で電話を取りつぐ	5-8
保留ボタン	1-8

【マ行】

マイク	1-8
マイクボタン	1-8
マイクランプ	1-11
未応答転送	3-18
ミキシングモード	3-43
無条件転送	3-55
明瞭モード	1-18
メニュー設定	1-14, 4-2, 6-29
システム全体の登録・設定	4-3, 4-18
内線電話機ごとの登録・設定	4-2, 4-4
メニューボタン	1-8
メモリ番号	2-9
メモリ番号検索	2-8
メモリ保持電池	6-18
文字入力	3-5

【ヤ行】

夜間モード	6-25
用語の説明	6-27
曜日毎鳴動モード設定	3-37, 4-8

【ラ行】

ランプ表示	1-11
リチウム電池	6-18
リモート番号	3-35

リモコン操作	3-31, 6-4
履歴メニュー	2-13
履歴ランプ表示設定	4-16
録音ジャックユニット	5-2
録音電話機	5-2

【ワ行】

ワンタッチオンフックサービス	6-29
ワンタッチ機能ボタン登録	4-10
ワンタッチダイヤルカード	6-14
ワンタッチダイヤル登録	4-10
ワンタッチ／プリセクション	2-4, 4-6
ワンタッチボタン	1-8
サービスボタンの機能を変更する	3-11
登録する	3-9
登録できるボタン操作	3-10
内線番号を登録する	3-10
ワンタッチボタンが割り当てられている	
ボタン	3-10
ワンタッチボタンで電話をかける	2-11
ワンタッチメモリ全削除	4-10

■ 仕 様

使用回線*	アナログ回線（DP回線／PB回線）、CES回線、PBX内線、ISDN回線（INSネット64）、VoIP回線、ひかり電話	
選択信号種別	PB回線またはDP回線（10 PPS、20 PPS）	
外線容量	最大4ch	
最大内線端末数	8台	
配線方式	スター配線	
呼出方式	トーンリングおよびランプ	
内線線路長	最大200 m	
寸法・質量	主装置	幅約 343 mm×奥行約 270 mm×高さ約 64.4 mm・約 1.7 kg
	標準電話機	幅約 189 mm×奥行約 265 mm×高さ約 96 mm・18キー：約 960 g
使用電源	商用電源AC100±10 V、50/60 Hz	
消費電力	最大時約 52 W	
電磁波妨害	VCCI基準クラスAに適合	
使用環境	温度：5℃～35℃ 湿度：45%～85%（結露のないこと）	
時間精度	平均月差±30秒以内	

※：使用回線によっては、主装置にオプションの追装が必要になります。当社のサービス取扱所へご相談ください。

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障に関するお問い合わせ

局番無しの113番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話・PHSからは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。

受付時間：24時間（午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります）

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。



当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<https://web116.jp/ced/>

<https://www.ntt-west.co.jp/smb/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： **0120-970413**

※携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： **0120-248995**

受付時間 9：00～17：00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2023 NTTEAST・NTTWEST



本 3480-3(2023.6)
ZXH-ME トリセツ - <2>